

ネットワークカメラ
ユーザーマニュアル Sシリーズ
フィッシュアイカメラ

目次

第1章 序章	3
1.1 著作権声明	3
1.2 カナダ産業省 ICES-003 準拠	3
1.3 安全指導	3
1.4 EU 適合性声明	4
1.5 改訂履歴	4
第2章 製品の説明	5
2.1 製品の概要	5
2.2 主な機能	5
2.3 システム要求	7
第3章 設定フロー	8
第4章 ネットワーク接続	10
4.1 LAN 経由でのカメラの設定	10
4.1.1 カメラを PC に直接接続する	10
4.1.2 スイッチまたはルーターを介して接続する	10
4.2 動的 IP 接続	10
第5章 ネットワークカメラへのアクセス	12
5.1 IP アドレスの割り当て	12
5.1.1 Tools を使用した IP アドレスの割り当て	12
5.1.2 ブラウザを介して IP アドレスを割り当てる	15
5.2 Web ブラウザからのアクセス	17
5.3 バックエンドソフトウェアからのアクセス	18
5.3.1 NVR (ネットワークビデオレコーダー) からのアクセス	18
5.3.2 CMS (センター管理システム) からのアクセス	18
5.3.3 VMS Enterprise からのアクセス (ビデオ管理システム)	19
第6章 ライブビュー	20
6.1 フィッシュアイモード	20
表 2. ディスプレイコントロールボタンの説明	21
表 3. ボタンの説明	23
表 4. ボタンの説明	25
表 5. パトロール設定の説明	29
第7章 再生	31
第8章 設定	35
8.2 メディア	35
8.2 ネットワーク	52
8.4 イベント	75
8.5 フィッシュアイ	116
8.6 システム	119

第1章 序章

1.1 著作権声明

本マニュアルは、翻訳や変換など、派生物を作成するためのいかなる形式や手段によっても、複製してはなりません。

1.2 カナダ産業省ICES-003準拠

本クラスBデジタル機器は、カナダのICES-003に準拠しています。

1.3 安全指導

これらの指示は、危険や財産の損失を回避してユーザーが製品を正しく使用できるようにするものです。注意事項は、「警告」と「注意」に分けられます。

警告：これらの警告のいずれかを無視した場合、重傷または死亡に至る可能性があります。

- ・設置は有資格のサービス担当者が行い、現地の電気安全規制に厳密に準拠する必要があります。
- ・火災や感電の危険を防止するため、設置する前に製品を雨や湿気から遠ざけてください。
- ・ヒートシンク、電源レギュレータ、プロセッサなど、高温になる可能性がある部品には触れないでください。
- ・電源：DC 12VまたはPoE
- ・プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていることを確認してください。
- ・本製品を壁や天井に取り付ける場合は、装置をしっかりと固定してください。
- ・製品が正しく動作しない場合は、販売店にご連絡ください。絶対に自分でカメラを分解しようとししないでください。

注意：これらの注意のいずれかを無視した場合、怪我や機器の損傷が発生する可能性があります。

- ・カメラを使用する前に、電源電圧が正しいことを確認してください。
- ・極端に高温または低温の場所、ほこりの多い場所、または湿気の多い場所で装置を保管または設置したり、強い電磁波にさらしたりしないでください。
- ・メーカーが推奨するコンポーネントおよび部品のみを使用してください。
- ・カメラを落としたりカメラに衝撃を与えたりしないでください。
- ・熱の蓄積を防止するため、カメラ周辺の空気の循環を妨げないでください。
- ・レーザービームがイメージセンサーを損傷する可能性があります。イメージセンサーの

- 表面をレーザービーム装置が使用されている場所に暴露しないでください。
- ・ブローアを使ってレンズカバーのほこりを取り除いてください。
- ・柔らかい乾いた布でカメラの表面を拭いてください。頑固な汚れは、少量の洗剤溶液を含ませた柔らかい布で拭き取ることができます。その後、乾拭きしてください。
- ・アルコール、ベンゼン、シンナーなどの揮発性のものは表面の仕上げを傷めるので使用しないでください。
- ・将来輸送する際に輸送用コンテナーとして利用できるように、パッケージを保管してください。

1.4 EU適合性声明

2012/19/EU (WEEE(電機電子廃棄物)指令) : この記号の付いた製品は、分別されていない自治体の廃棄物として欧州連合内で処分することはできません。適切にリサイクルするために、同等の新しい機器を購入したとき、この製品を最寄りのサプライヤーに返却するか、指定された収集場所で処分してください。詳細についてはwww.recyclethis.infoを参照してください。

2006/66/EC (電池指令) : この製品には、分別されていない自治体の廃棄物として欧州連合内で処分できない電池が含まれています。特定の電池情報については、製品資料を参照してください。バッテリーにはこの記号が付いています。記号には、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、または水銀 (Hg) を示す文字が含まれている場合があります。適切にリサイクルするために、電池をサプライヤーまたは指定された収集場所に返却してください。詳細についてはwww.recyclethis.infoを参照してください。

1.5 改訂履歴

バージョン	改訂内容	リリース日
23. 08. Y. 01	初回リリース	2023年8月
23. 08. H. 02	画像差し替え 文字校正	2023年9月

第2章 製品の説明

2.1 製品の概要

費用対効果が高く信頼性の高い、一貫した範囲のネットワークカメラを提供するこの製品は、お客様の要件を完全に満たすことができます。組み込みLinuxオペレーティングシステムに基づき、ネットワークカメラはローカルまたはリモートで簡単かつ確実にアクセスおよび管理ができます。また、高性能DSPビデオ処理モジュールを内蔵したこのカメラは、低消費電力と高安定性を誇ります。最新のH. 265/ H. 264/MJPEGビデオ圧縮アルゴリズムと、業界をリードするHDデュアルストリームテクノロジーをサポートし、限られたネットワークリソースで最高レベルのビデオ画質を実現します。完全に機能的なこのカメラは、柔軟で包括的なアラームリンケージメカニズム、デイ/ナイト自動スイッチ、プライバシーマスキングなどをサポートしています。

実際のアプリケーションでは、ネットワークカメラはLAN内で独立して動作するか、強力な安全監視システムを形成するためにネットワーク化されます。金融、教育、工業生産、民間防衛、ヘルスケアなどの分野で安全のために幅広く利用されています。

2.2 主な機能

システム

- 内蔵WEBサーバー、IE/Firefox/Chrome/Safariブラウザをサポート
- 高い信頼性のLinuxOSベース
- プラグインフリーモードをサポート
- カメラのセキュリティ保護用の質問のアクティブ化と設定をサポート
- ONVIFプロファイルG&Q&S&Tをサポート
- 柔軟な管理のための3つのユーザー特権レベル
- マイクロSD/SDHC/SDXCカードのローカルストレージサポート、エッジストレージの拡張

画像

- 0.005Lux超低照度
- スマートIR IIテクノロジー
- 4Kビデオ視聴体験
- HLCをサポート
- BLCをサポート
- 自動切り替え付きICRフィルターにより、高品質の昼夜監視を保証

ビデオ

- ・H. 265/H. 264/MJPEGビデオ圧縮機能
- ・10レベルの調整可能なH. 265+ビデオ圧縮技術によって70%~80%の帯域幅が節約
- ・プライマリストリーム/セカンダリストリーム/ターシャリストリームをサポート
- ・スマートストリームをサポート
- ・リアルタイムビデオ信号増幅

オーディオ

- ・G. 711/AACオーディオ圧縮機能
- ・オーディオI/Oをサポート

通信網

- ・カメラの管理を容易にするUPnPプロトコル
- ・DDNSをサポート
- ・FTPアップロード、SMTPアップロード、SDカード録画およびSIP電話

高度な機能

- ・モーション検出、プライバシーマスク、ネットワーク障害検出、ROI
- ・AIビデオコンテンツ分析をサポート
- ・人数カウント機能のサポート
- ・ヒートマップ機能をサポート

ハードウェア

- ・電源用のPoEをサポート
- ・アラームI/Oをサポート
- ・内蔵マイク
- ・IK10定格の耐衝撃保護等級、およびIP67定格の防水防塵保護等級

フィッシュアイ

- ・最大30fps@4000×3000
- ・ハードウェア側の歪み補正とソフトウェア側の歪み補正をサポート
- ・自動追尾機能をサポート
- ・さまざまなニーズに対応する11個の表示モード
- ・オーディオI/OとアラームI/Oを装備
- ・IK10定格の耐衝撃保護等級、およびIP67定格の防水防塵保護等級
- ・合理化されたデザインと絶妙な外観
- ・設置環境に溶け込みやすい

2.3 システム要求

オペレーティングシステム : Windows XP/Vista/7/8/10/Server 2000/Server 2008

CPU : 1.66GHz以上

RAM : 1G以上

グラフィックメモリ : 128MB以上

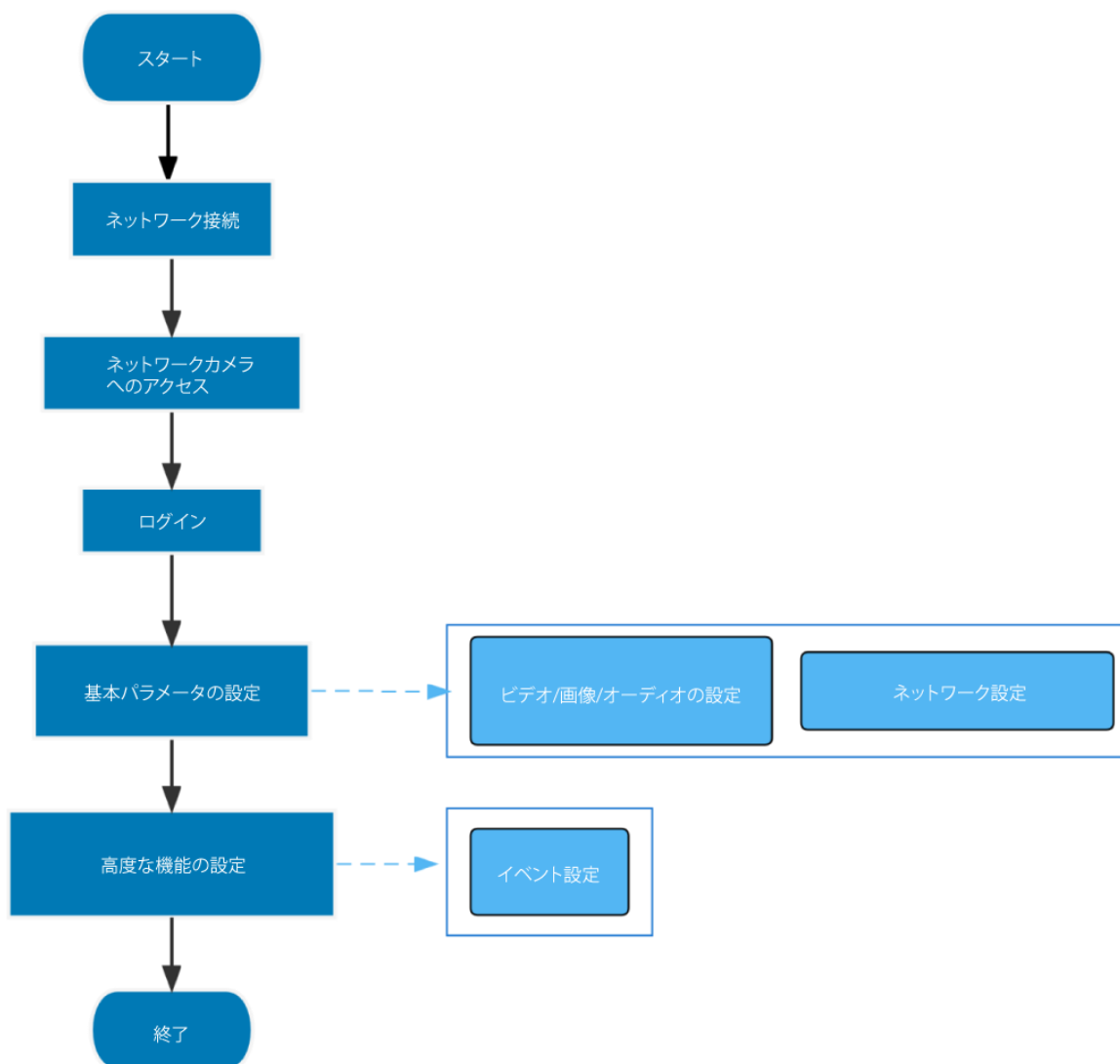
インターネットプロトコル : TCP/IP (IPv4/IPv6)

Webブラウザ : Internet Explorer 8.0以降のバージョン、Mozilla Firefox、Google Chrome、およびSafari

第3章 設定フロー

カメラの設定フローを次の図に示します。

注意：設定は、さまざまなモデルの実際の状況に基づく必要があります。



次の表に、設定の詳細を示します。

表1. フローの説明

設定	説明	参照
ネットワーク接続	ネットワークカメラを接続します。 LANまたは動的IP接続を介してカメラを設定できます。	4.1 LAN経由でのカメラの設定
ネットワークカメラへのアクセス	IPアドレス、Webブラウザ、バックエンドソフトウェアからのアクセスが可能です。	5.1 IPアドレスの割り当て
基本パラメータの設定	カメラにログインした後、必要に応じてビデオ/画像/オーディオ/ネットワークのパラメータを調整できます。	8.1 メディア 8.2 ネットワーク
高度な機能の設定	VCAや人数カウントなどの高度な機能を設定します。	8.4 イベント

第4章 ネットワーク接続

4.1 LAN経由でのカメラの設定

カメラをスイッチまたはルーターに接続するのが最も一般的な接続方法です。カメラには、LANと互換性のあるIPアドレスを割り当てる必要があります。

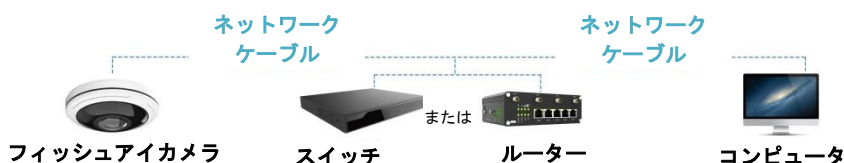
4.1.1 カメラをPCに直接接続する

この方法では、カメラに接続されているコンピューターのみがカメラを表示できます。カメラには、互換性のあるIPアドレスをコンピューターに割り当てる必要があります。詳細を下図に示します。



4.1.2 スイッチまたはルーターを介して接続する

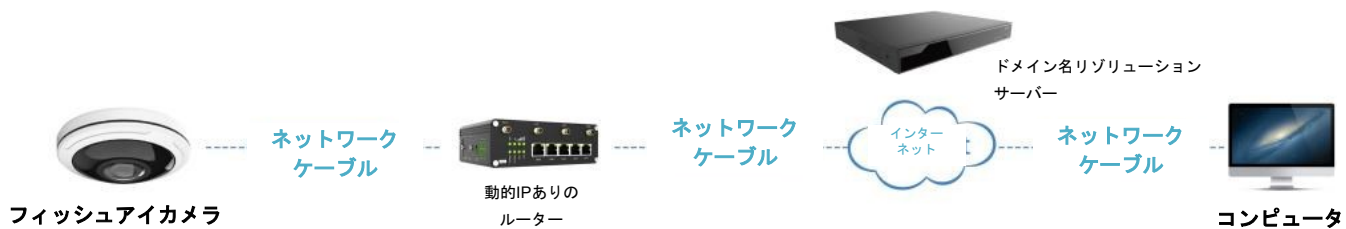
次の図を参照して、スイッチまたはルーターを介してLAN経由でネットワークカメラを設定します。



4.2 動的IP接続

- ステップ1: ネットワークカメラをルーターに接続します。
- ステップ2: カメラで、LAN IPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを割り当てます。
- ステップ3: ルーターで、ポート転送を設定して下さい（例えば80、8000および554ポート）。ポート転送の手順はルーターによって異なりますので、ポート転送の方法については、ルーターのユーザーマニュアルを参照してください。
- ステップ4: ドメイン名のプロバイダーから提供されたドメイン名を使用してください。

- ステップ5: ルーターの設定画面でDDNS設定を行います。
ステップ6: ドメイン名でカメラにアクセスしてください。



第5章 ネットワークカメラへのアクセス

5.1 IPアドレスの割り当て

ネットワークカメラにアクセスするには、IPアドレスを割り当てる必要があります。ネットワークカメラのデフォルトのIPアドレスは192.168.5.190です。

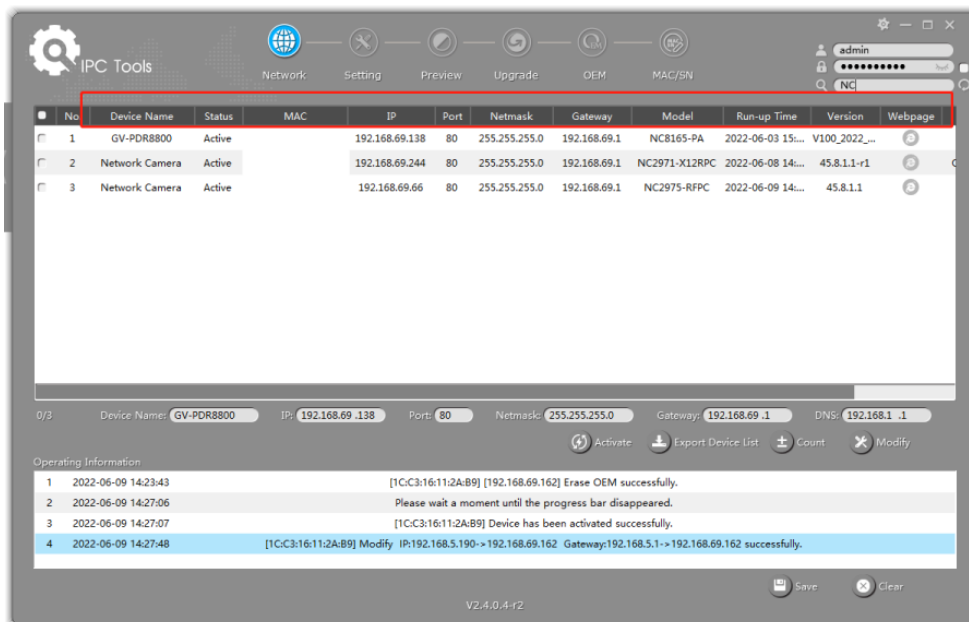
Toolsまたはブラウザを使用して、カメラのIPアドレスを変更できます。お使いのパソコンと同じLANにカメラを接続してください。

5.1.1 Toolsを使用したIPアドレスの割り当て

Toolsは、LAN内の複数のオンラインネットワークカメラを自動的に検出し、IPアドレスを設定し、ファームウェアのアップグレードを管理できるソフトウェアツールです。複数のカメラにIPアドレスを割り当てる場合に使用することをお勧めします。

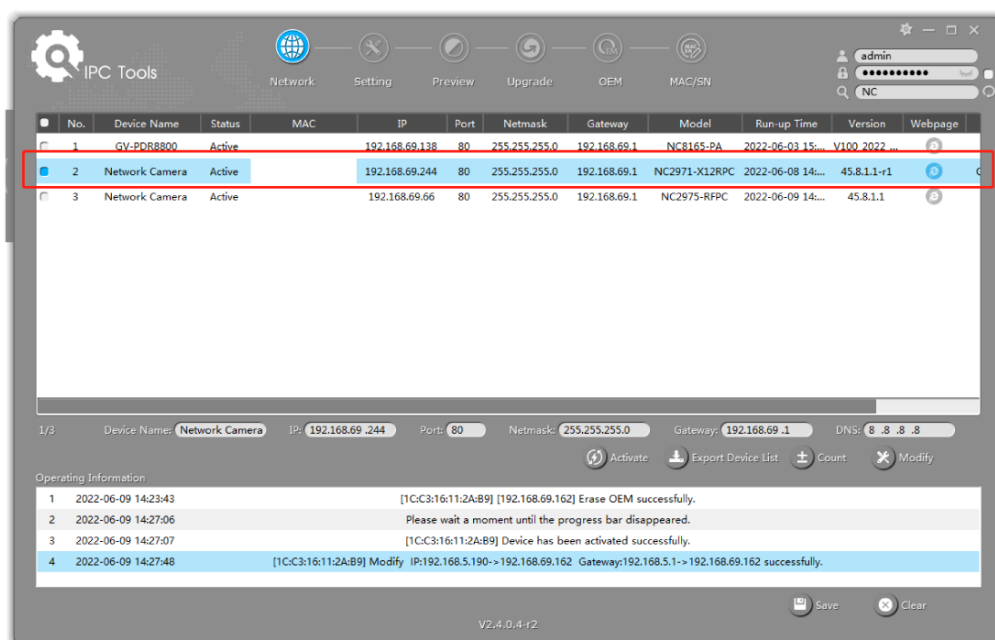
ステップ1: Toolsをインストールします（ソフトウェアは当社のWebサイトからダウンロードできます）。

ステップ2: Toolsを起動し、[IPCTools]ページをボタンをクリックし、IPアドレス、MACアドレス、ステータス、ポート番号、ネットマスク、ゲートウェイなどのデバイス情報を入力すると、同じネットワーク内の関連するすべてのネットワークカメラが表示されます。詳細は下図のようになります。

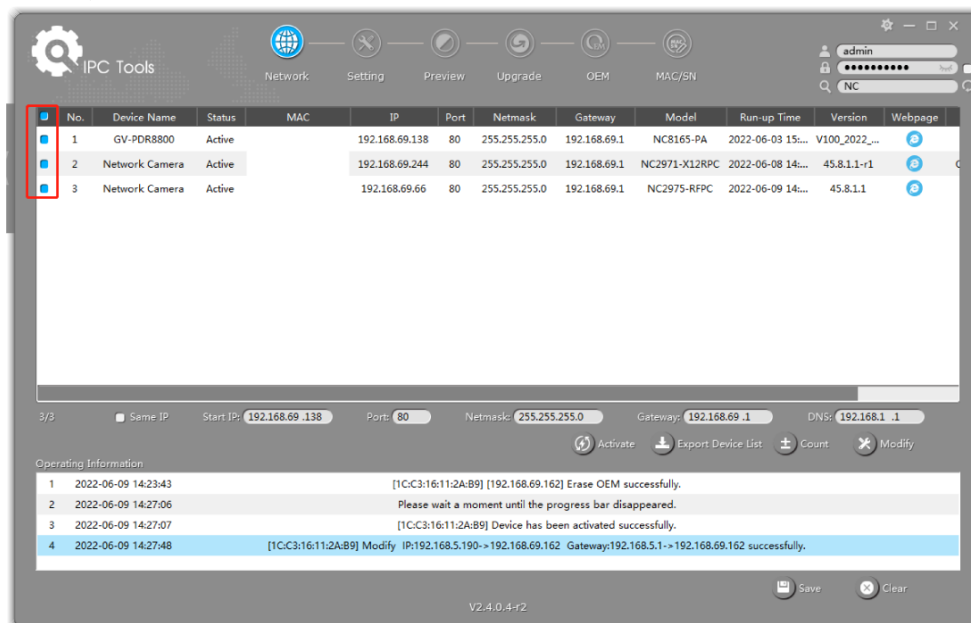


ステップ3 : MACアドレスに従って1台または複数のカメラを表示します。

単一のカメラを表示:



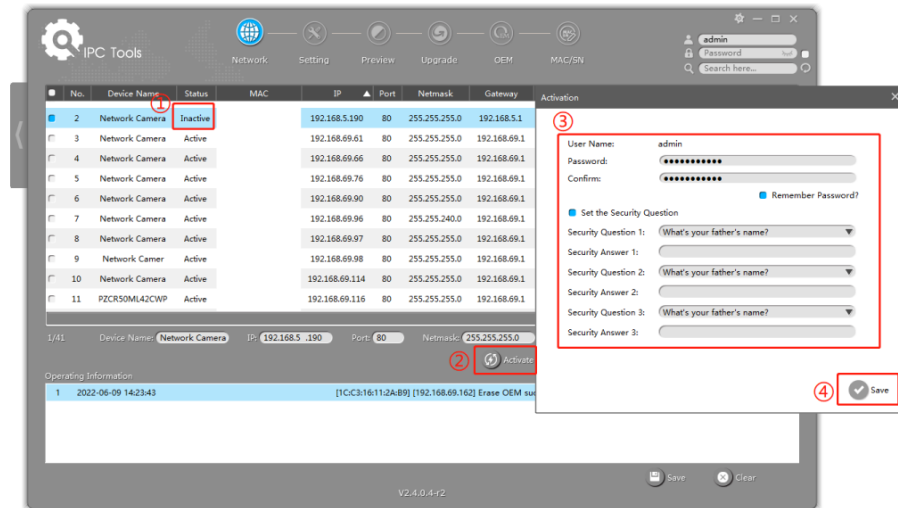
複数のカメラを表示:



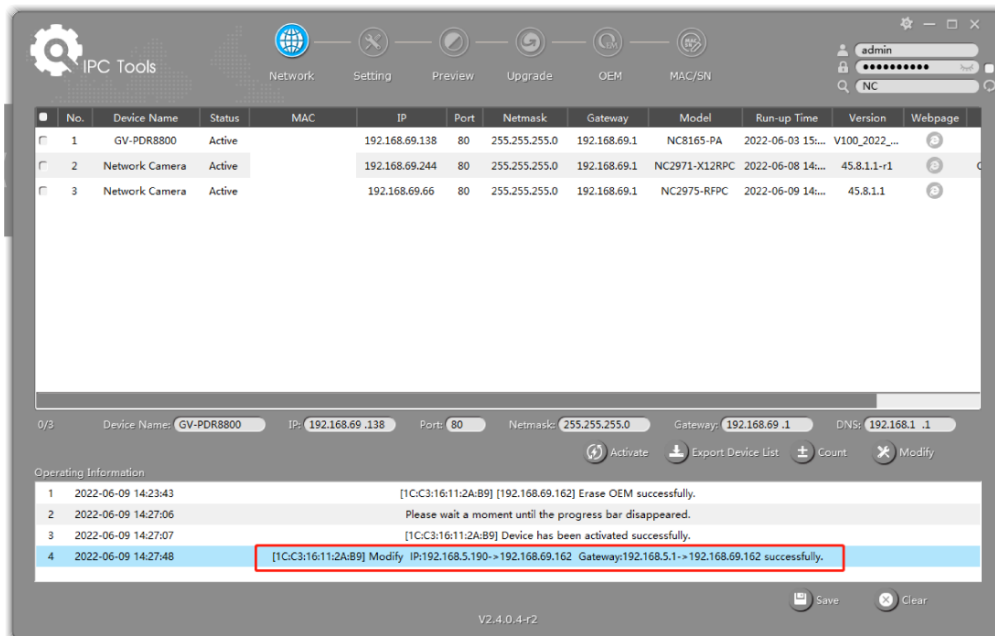
ステップ4 : 表示したカメラのステータスバーに「非アクティブ」と表示されている場合は、「有効化」ボタンを、初めて使用するときにパスワードを設定します。パスワードを忘れた場合に備えて、カメラをアクティブ化するときセキュリティの質問を設定することもできます（3つのセキュリティの質問に正しく答えることでパスワードをリセットできます）。[保存]をクリックすると、アクティベーションが成功したことが示されます。

注意：

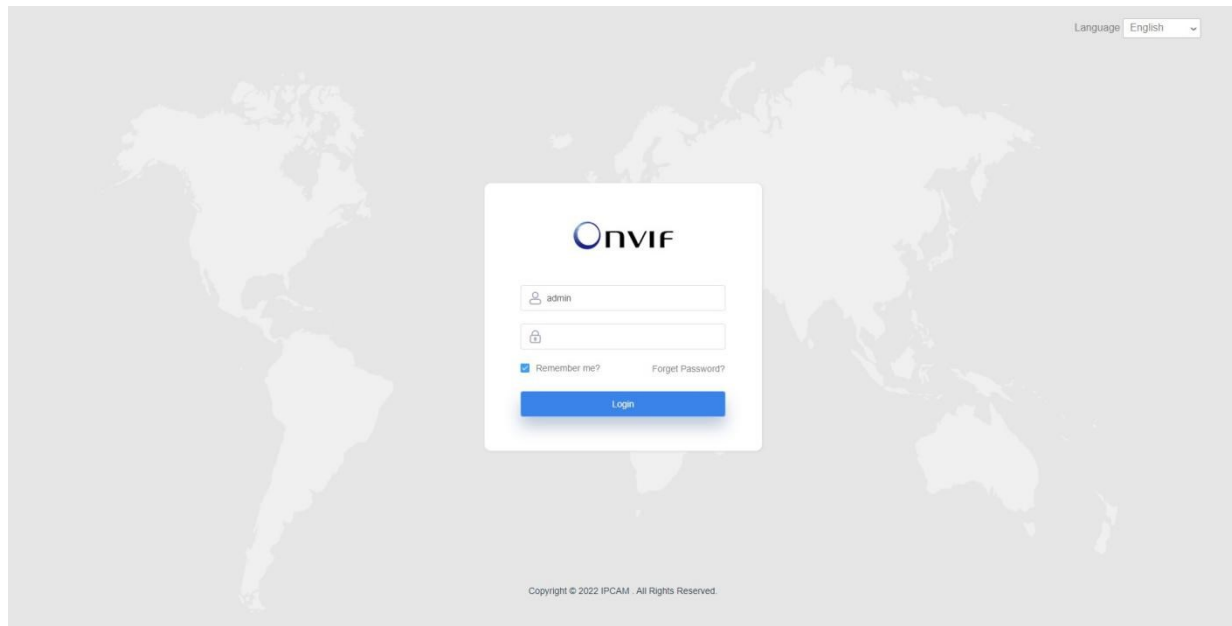
- ・パスワードは8～32文字で、少なくとも1つの数字と1つの文字が含まれている必要があります。
- ・カメラをアクティブにするには、ToolsのバージョンをV2.4.0.1以降にアップグレードする必要があります。



ステップ5： アクティベーション後、IPアドレスやその他のネットワーク値を変更し、「変更」ボタンをクリックすることができます。



ステップ6： 表示したカメラまたは目的のカメラのブラウザをダブルクリックすると、Webブラウザから直接カメラにアクセスできます。Internet Explorerウィンドウがポップアップ表示されます。



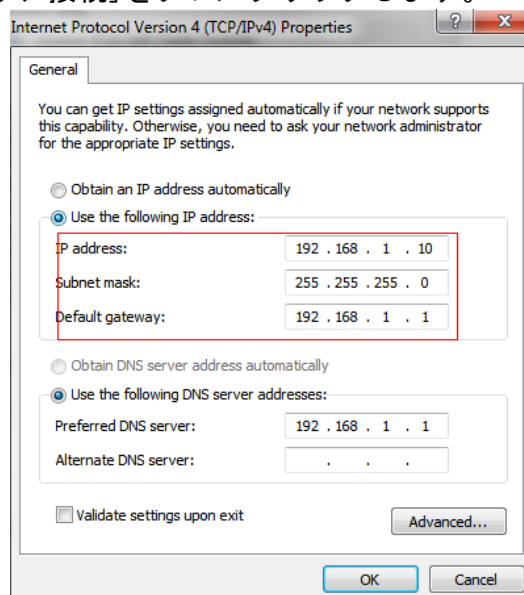
Toolsのその他の使用方法については、Toolsのユーザーマニュアルを参照してください。

5.1.2 ブラウザを介してIPアドレスを割り当てる

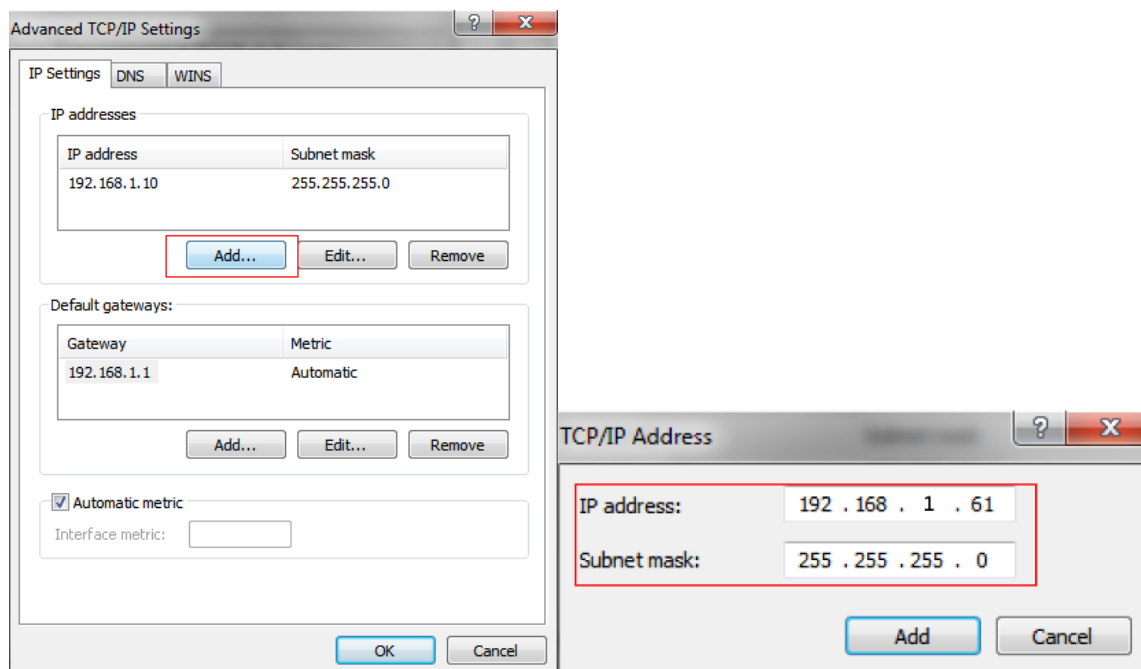
コンピュータのネットワークセグメントとカメラのネットワークセグメントが異なる場合は、次の手順に従ってIPアドレスを変更してください。

ステップ1: コンピュータのIPアドレスを192.168.1.0セグメントに変更します。以下の2つの方法があります。

a. [スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット]→[ネットワーク接続]→[ローカルエリア接続]をダブルクリックします。



b. 「詳細」をクリックし、「IP設定」→「IPアドレス」→「追加」をクリックします。ポップアップウィンドウで、ネットワークカメラと同じセグメントにあるIPアドレスを入力します（例：192.168.1.10。ただし、このIPアドレスは既存のネットワークのIPアドレスと競合しないことに注意してください）。



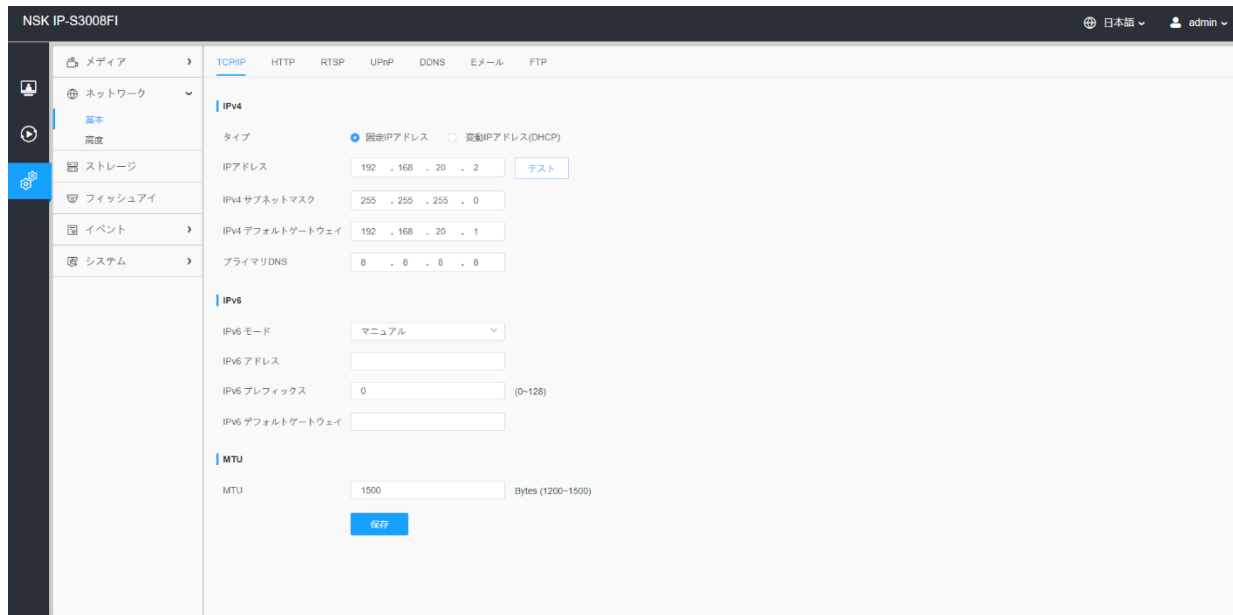
ステップ2：ブラウザを起動します。アドレスバーに、カメラのデフォルトのIPアドレスを入力します。<http://192.168.1.108>；

ステップ3：初めて使用する場合は、最初にパスワードを設定する必要があります。また、アクティベーション後にデバイスに3つのセキュリティの質問を設定することもできます。次に、ユーザー名（admin）とカスタムパスワードを使用してカメラにログインできます。

注意：

- パスワードは8～32文字で、少なくとも1つの数字と1つの文字が含まれている必要があります。
- 事前にセキュリティ保護用の質問を設定しておけば、ログインページの「パスワードを忘れた場合」を、パスワードを忘れたときに3つのセキュリティ保護用の質問に答えることでパスワードをリセットできます。

ステップ4：ログイン後、「設定」→「ネットワーク」→「基本」→「TCP/IP」を表示してください。[ネットワーク設定]ページが表示されます（下の図を参照）。



ステップ5: IPアドレスまたはその他のネットワーク値を変更します。次に、「保存」ボタンをクリックします。

ステップ6: デフォルトIPアドレスの変更が完了しました。

5.2 Webブラウザからのアクセス

このカメラは、最も標準的なオペレーティングシステムとブラウザで使用できます。そして、カメラはプラグインフリーモードをサポートするようにアップグレードされました。プラグインフリーモードでは、プラグインなしでブラウザでビデオをプレビューできます。現在、プラグインフリーモードは、Windowsシステム、MACシステム、iOSシステム、AndroidシステムのFirefox、Google Chrome、Safari、Edgeブラウザでサポートされています。

H. 265とH. 264の両方のビデオコーデックは、カメラのプラグインフリーモードでサポートされており、デフォルトでセカンダリストリームを再生します。

注意:

- ・ V4x. 7. 0. 74より前のファームウェアの場合は、ネットワークカメラをV4x. 7. 0. 74以降にアップグレードしてください（ブラウザを最新バージョンにアップグレードしてください）。
- ・ V4x. 7. 0. 74以降では、ブラウザを設定しなくてもプラグインフリーモードを利用できます（ブラウザを最新バージョンにアップグレードしてください）。

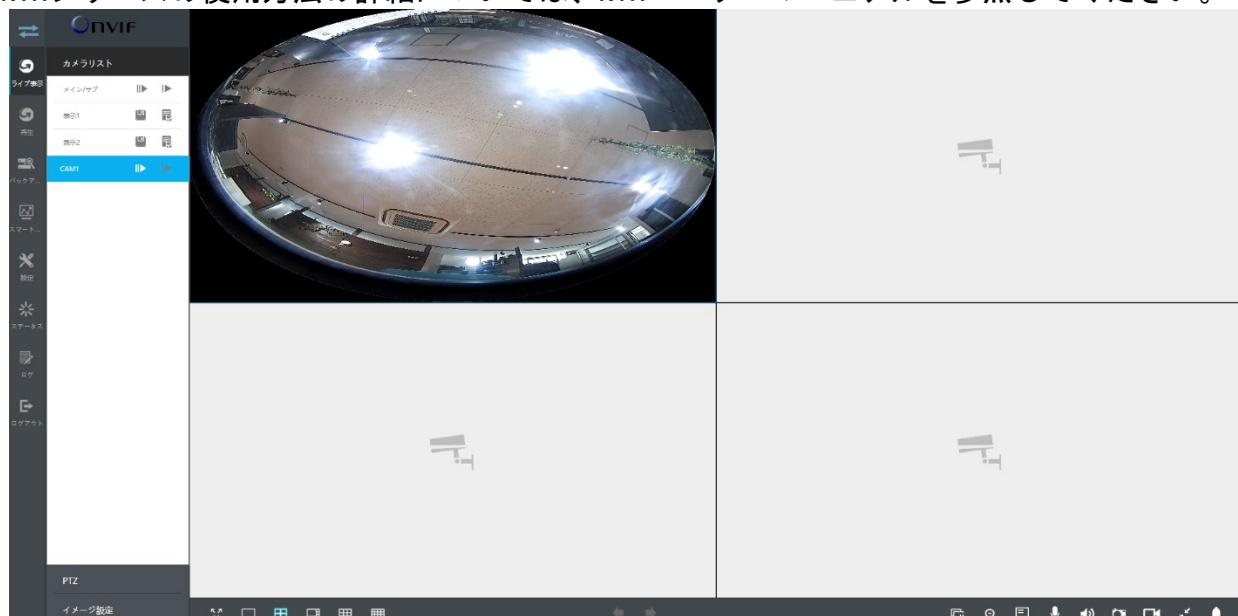
5.3 バックエンドソフトウェアからのアクセス

5.3.1 NVR（ネットワークビデオレコーダー）からのアクセス

NVRシリーズはネットワークカメラで動作します。組み込みLinuxオペレーティングシステムに基づいて、NVRシリーズはHDビデオデータを管理および保存します。マルチディスク管理システム、フロントエンドHDデバイス管理システム、HDビデオ分析システム、およびビデオ用の大容量システムを所有しています。

また、マルチチャンネルビデオデコーディングを備えた大流量データネットワーク送受信の技術を採用し、インテリジェントな管理、安全なストレージ、HDデコーディングなどの機能を実現します。

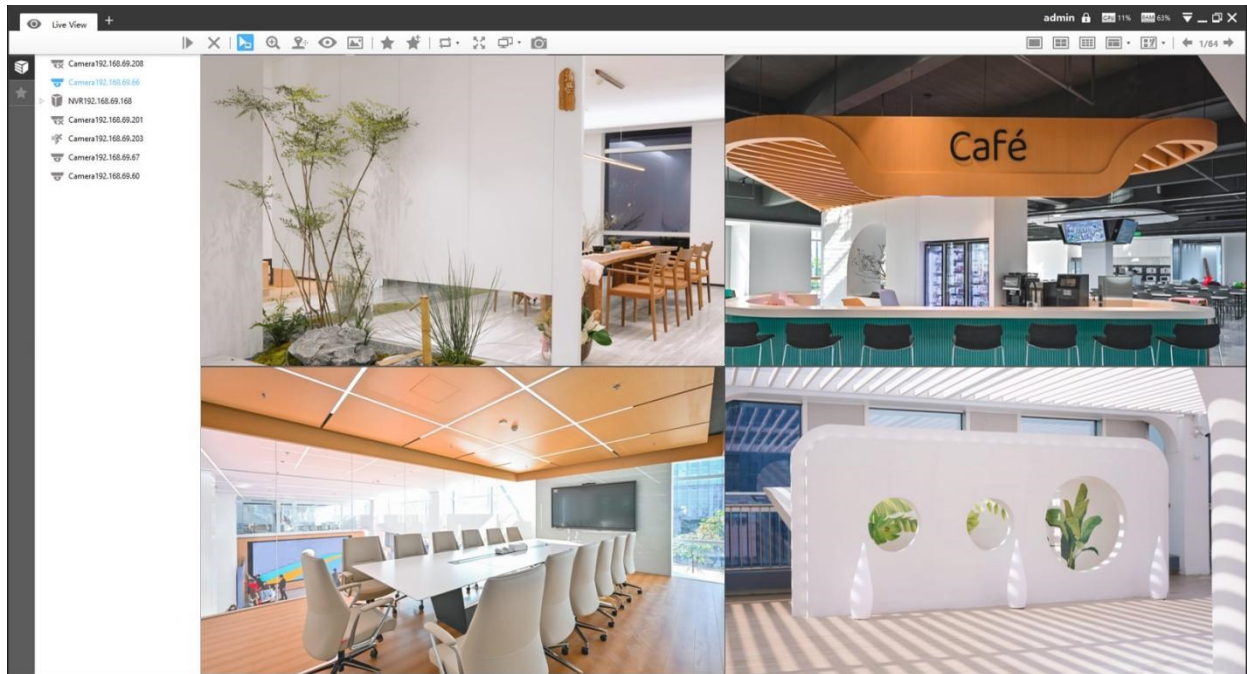
NVRシリーズの使用方法の詳細については、NVRユーザーマニュアルを参照してください。



5.3.2 CMSからのアクセス

CMSは、ネットワーク・カメラと NVR のための中央管理システムです。最大256台のデバイスを制御し、より便利にリモート・プレビューと再生を行うためのインテリジェントな監視ソリューションです。高い効率的な管理性能により、CMSソフトウェアは集中型システムで優れた管理体験をユーザーに提供します。フレンドリーなUIデザインで、インテリジェントなビデオ管理システムCMSは、すべてのレベルのユーザーが簡単にソリューションを設定し、展開することができます。さらに、E-map機能は、デバイスの空間分布を表示するためのスマートな方法をユーザーに提供します。

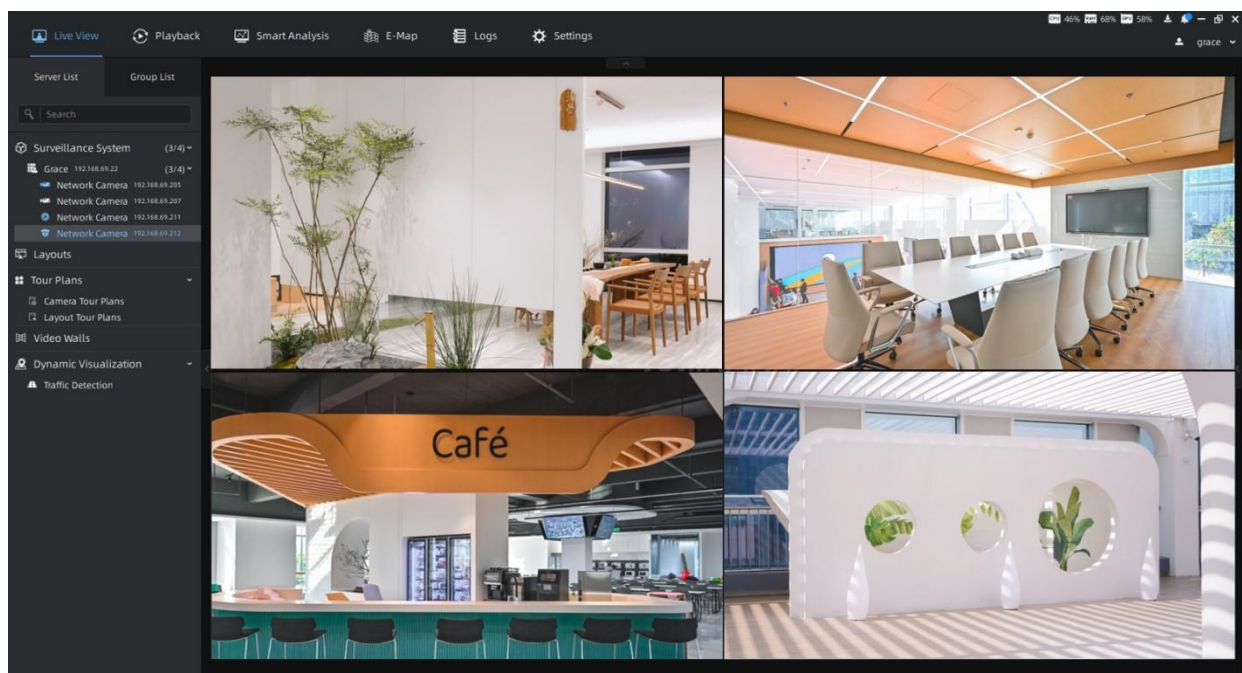
CMSをインストールし、プログラムを起動し、カメラをチャンネルリストに追加してください。詳しい使い方は、CMSのユーザーマニュアルをご覧ください。



5.3.3 VMSからのアクセス（ビデオ管理システム）

VMSは、企業向けのプロフェッショナルでインテリジェントなビデオ管理ソフトウェアです。高度なC/Sアーキテクチャにより、ライブビュー、録画、Eマップ、イベントアラーム、スマート分析などの豊富なコア機能により、お客様の要求と期待に応えます。

VMSをインストールしてください。次に、プログラムを起動してカメラをチャンネルリストに追加します。ソフトウェアの使用の詳細については、VMSユーザーマニュアルを参照してください。



第6章 ライブビュー

6.1 フィッシュアイモード

ネットワークカメラのWebブラウザに正常にログインすると、ユーザーは次のようにライブビデオを表示できます。

ライブビューインターフェイス：



6.1.1 ライブビューページでの操作

【ディスプレイコントロール】

ディスプレイコントロールを使用すると、インストールタイプ、表示モード、ウィンドウ画面、およびライブビューのチャンネルを表示できます。

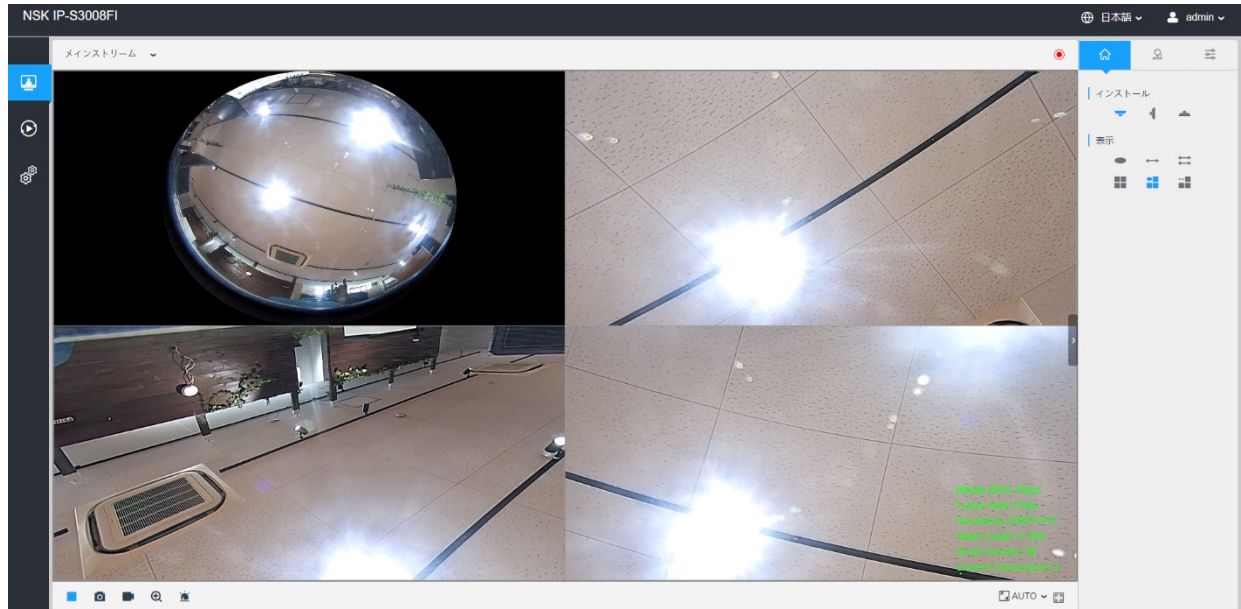













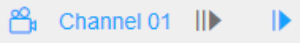

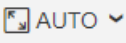





表2. ディスプレイコントロールボタンの説明 ※対応していない機器もございます。

アイテム	パラメータ	説明
歪み補正ルール	 オンボードデワーピング	ハードウェア側の歪み補正モードを表示します。
	 クライアント側の歪み補正	ソフトウェア側の歪み補正モードを表示します。
取付	 天井取り付け	天井取り付けを表示します。
	 壁取り付け	壁取り付けを表示します。
	 フラットマウント	フラットマウントを表示します。
	 10	元のフィッシュアイビューのライブビューを表示します。
	 1P	360度パノラマビューのライブビューを表示します。

表示モード	 2P	2つの180度パノラマビューのライブビューを2画面表示します。
	 4R	リージョナルビューのライブビューを表示します。
	 103R	フィッシュアイビュー1画面と3つのリージョナルビュー3画面のライブビューを表示します。
	 1P3R (ハードウェアデワーピングのみ)	360度パノラマビュー1画面と3つのリージョナルビュー3画面のライブビューを表示します。
	 101P3R (ハードウェアデワーピングのマルチチャンネルモードの場合のみ)	1つの元のフィッシュアイビュー、1つの360度パノラマビュー、および3つのリージョナルビューのライブビューを表示します。
	 1P1R (ソフトウェアデワーピングのみ)	1つの360度パノラマビューと1つのリージョナルビューのライブビューを表示します。
	 1P4R (ソフトウェアデワーピングのみ)	1つの360度パノラマビューと4つのリージョナルビューのライブビューを表示します。
	 1P6R (ソフトウェアデワーピングのみ)	1つの360度パノラマビューと6つのリージョナルビューのライブビューを表示します。
	 108R (ソフトウェアデワーピングのみ)	1つの元のフィッシュアイビューと8つのリージョナルビューのライブビューを表示します。

チャンネル	 (マルチチャンネルモードのみ)	ライブビューの任意のウィンドウでこのチャンネルを再生します。
ウィンドウ	 ウィンドウレイアウト (マルチチャンネルモードのみ)	ウィンドウレイアウトを「1*1」/「2*2」に設定します。
	 ウィンドウサイズ	クリックすると、画像がウィンドウサイズで表示されます。
	 実際のサイズ	クリックすると、画像が実際のサイズで表示されます。
	 全画面	クリックすると、画像が全画面で表示されます。

 **注意：**

- 元のフィッシュアイビュー：フィッシュアイカメラの広角ビュー全体が表示されます。
- パノラマビュー：特定のキャリブレーション方法により、丸いフィッシュアイ画像が長方形の画像に変換されます。
- リージョナルビュー：元のフィッシュアイビューまたはパノラマビューで定義されたエリアのクローズアップビューということです。
- インストール、表示モード、および最も適切なウィンドウレイアウトを順番に表示します。

[ライブビューウィンドウ]

ウィンドウにライブビデオを表示します。











 **注意：** デフォルトでは、最初のチャンネルの画像をキャプチャしてビデオを録画します。指定したチャンネルの画像をキャプチャしてビデオを手動で録画することもできます。

表3. ボタンの説明

No.	パラメータ	説明
1	 ライブ映像	ライブビューページにアクセスします。


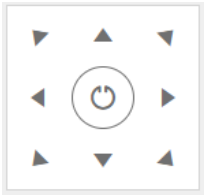
2	 再生	再生ページにアクセスします。
3	 設定	設定ページにアクセスします。
4		システム言語を表示します。
5		ユーザー名を表示し、ログアウトします。
6	メインストリーム サブストリーム	現在のビデオウィンドウに表示するストリーム（プライマリ/セカンダリ）を表示します。
7	 録画	録画中はアイコンが表示されます。
8	 アラーム	VCAイベントのアラームが検出される場合、アイコンが表示されます。
9	 アラーム	人数カウントのアラームが検出される場合、アイコンが表示されます。
10	 アラーム	モーション検知のアラームが検出される場合、アイコンが表示されます。
11	 アラーム	上記の3種類のアラームを除き、他のアラームが検出されるとアイコンが表示されます。
12	 停止/再生	ライブビューを 停止/再生 します。
13	 スナップシ ョット	現在の画像をキャプチャし、設定されたパスに保存します。デフォルトのパスは、C:\VMS\+-1\ IMAGE-MANUAL.です。
14	 録画の開始/停止	ビデオの録画を開始し、設定されたパスに保存します。もう一度ボタンを録画を停止します。






15	 デジタル ズーム	有効にすると、マウスホイールを使用してビデオ画像の特定のエリアを拡大できます。
16	 手動出力	カメラアラーム出力を手動でトリガーします。
17	     	明るさ：シーンの明るさを調整します。
		コントラスト：色と光のコントラストを調整します。
		彩度：画像の彩度を調整します。
		シャープネス：画像のシャープネスを調整します。シャープネスを高くすると、ピクセル境界がシャープになり、画像が「より鮮明」に見えます。
		2D DNR/3D DNR：ノイズリダクションレベルを調整します。
		デフォルト：明るさ、コントラスト、彩度をデフォルト設定に戻します。

[PTZコントロール]

PTZコントロールを使用すると、PTZのパン/チルト/ズーム/プリセット/パトロール機能を使用して、PTZ速度を設定できます。

表4. ボタンの説明

No.	パラメータ	説明
	 PTZコントロール	ナビゲーションキーは方向を制御するために使用されます。回転キーは自動回転に使用されます。

 PTZスピード	パン/チルトの動きの速度を1から10に調整します。
 ズーム-/ズーム+	ボタンをズームインおよびズームアウトします。
	<p>自動追尾：このオプションを有効にすると、カメラはデジタルパン/チルト/ズームを実行して、移動するオブジェクトを自動的に追跡できます。</p> <p>注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動追尾は、リージョナルビューでのみサポートされます。 ・自動トラッキングは、オンボード歪み補正モードの天井取り付けモードでのみサポートされます。
	リージョナルのビューチャンネルごとに300個のプリセット位置を設定できます。
	リージョナルのビューチャンネルごとに8つのパトロールパスを設定できます。

6.1.2 プリセットの設定/呼び出し/パトロール

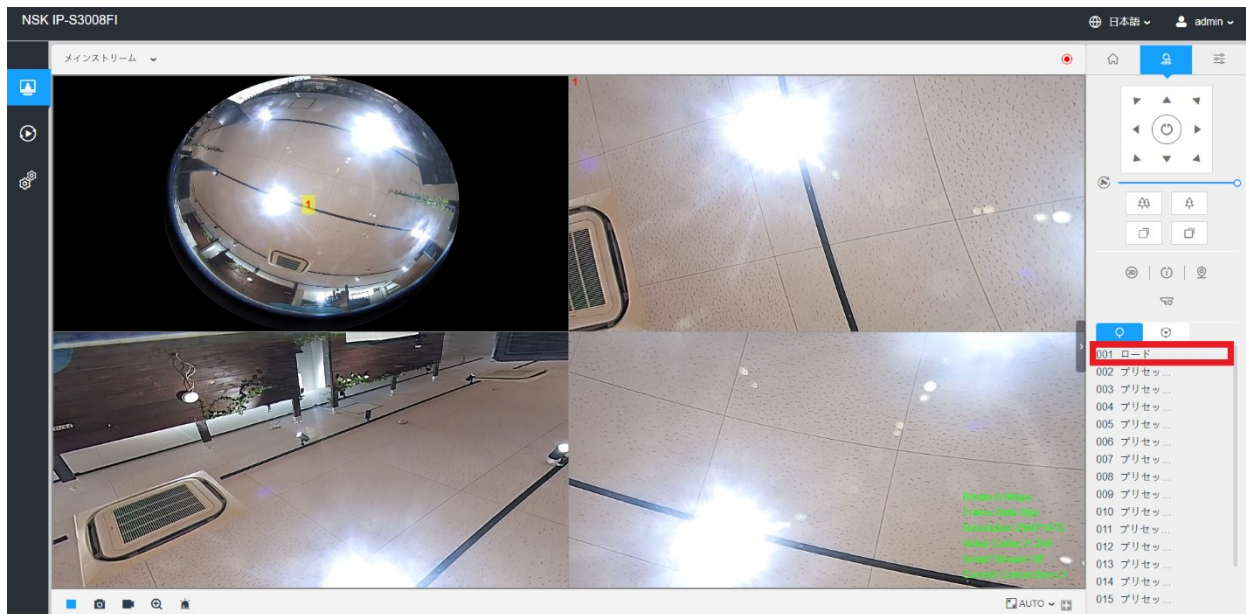
プリセットは、事前定義された画像位置です。プリセットリストからコールボタンをクリックすると、目的の画像位置にすばやく移動できます。

プリセットの設定：

 **注意**：プリセットは、ディスプレイが4Rのときにのみ設定できます。

ステップ1：PTZコントロールパネルで、プリセットリストからプリセット番号を表示します。また、画面に表示されるプリセット名をカスタマイズすることもできます。以下のようにプリセット名をカスタマイズしてパトロールを設定すると、画面に表示されるパトロール名もカスタマイズされます。

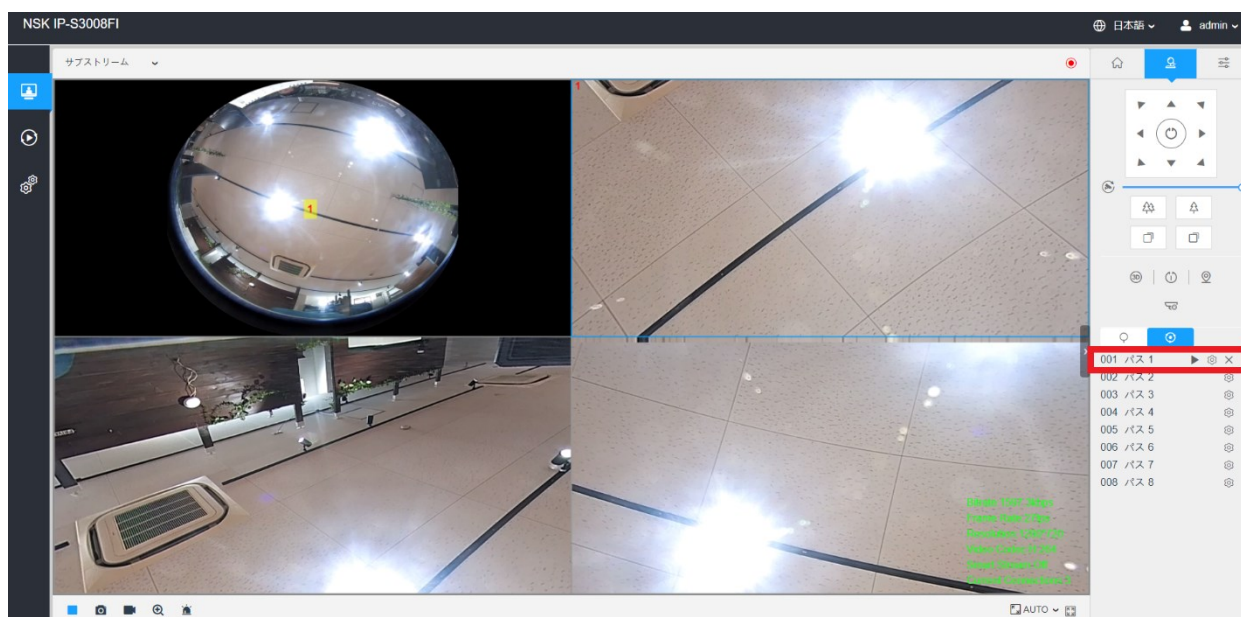
- 001 ロード
- 002 プリセッ...
- 003 プリセッ...
- 004 プリセッ...
- 005 プリセッ...
- 006 プリセッ...
- 007 プリセッ...
- 008 プリセッ...
- 009 プリセッ...
- 010 プリセッ...
- 011 プリセッ...
- 012 プリセッ...
- 013 プリセッ...
- 014 プリセッ...
- 015 プリセッ...




バス 1 + × ↑ ↓


プリセット	速度	時刻
01	1	30
02	2	30
03	3	10


保存 キャン...



ステップ2 : PTZコントロールボタンを使用して、レンズを目的の位置に移動します。

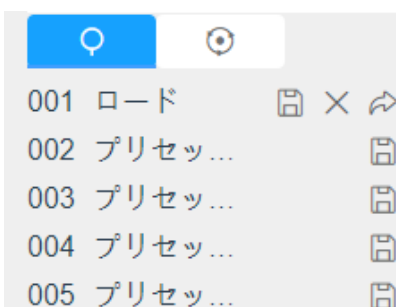
ステップ3 :  を現在のプリセットの設定を保存します。

ステップ4 :  を表示したプリセットを削除します。

 **注意** : 最大300個のプリセットを設定できます (リージョナルのビューチャンネルごと)。

プリセットの呼び出し :


プリセットリストから定義済みのプリセットを表示し、▶をプリセットを呼び出します。





設定/パトロールの呼び出し：

パトロールは、記憶された一連のプリセット機能です。パトロール設定リストで設定して呼び出すことができます。最大8つのパトロールをカスタマイズでき、48個のプリセットで設定できます。パトロールを設定する前に、パトロールに追加するプリセットが定義されていることを確認する必要があります。

パトロールの設定：

ステップ1：PTZコントロールパネルで、をパトロール設定画面に入ります。

ステップ2：パトロール番号を表示すると、設定アイコン が表示されます。ボタンをクリックします。

ステップ3：+を、に示すように、このパトロールにプリセットを追加します。

ステップ4：プリセット数、パトロール速度、パトロール時間を設定します。

表5. パトロール設定の説明

名前	説明
パトロール速度	あるプリセットから別のプリセットに移動する速度
パトロール時間	1つのパトロールポイントに滞在する期間 PTZカメラは、設定されたパトロール時間後に別のパトロールポイントに移動します。

ステップ5：保存を押し、パトロール設定を保存します。

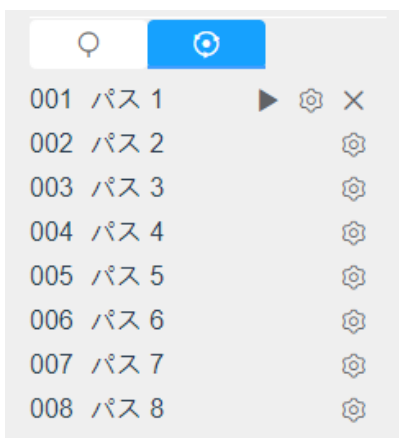
注意：


パトロール速度はパトロールモードでのみ機能します。

パトロール時間は、PTZバレットの場合は15～120秒、スピードドームの場合は0～120秒にする必要があります。

パトロールの呼び出し：

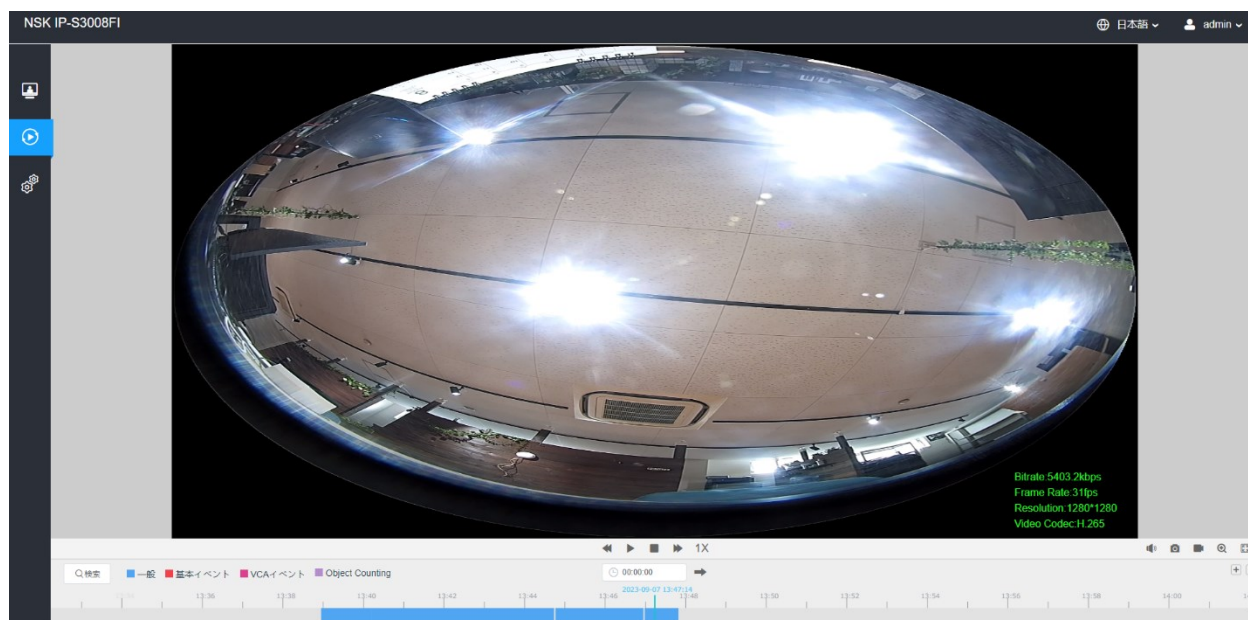
PTZコントロールパネルで、パトロールリストから定義済みのパトロールを表示し、▶を、パトロールを以下に示すように呼び出すことができます。



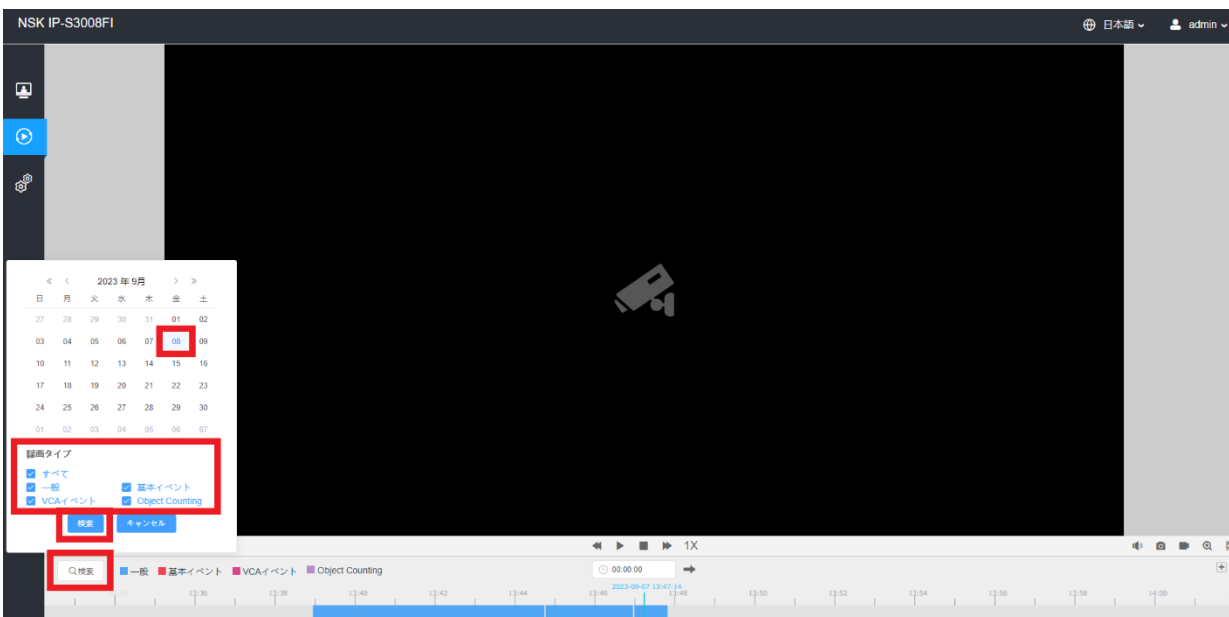
 **注意：**パトロールリストの後ろにある3つのボタンは、再生、設定、削除を意味します。

第7章 再生





再生ボタンを、再生画面に入ります。この部分では、SDカードまたはNASに保存されている録画ビデオファイルを検索して再生できます。再生画面は次のとおりです。

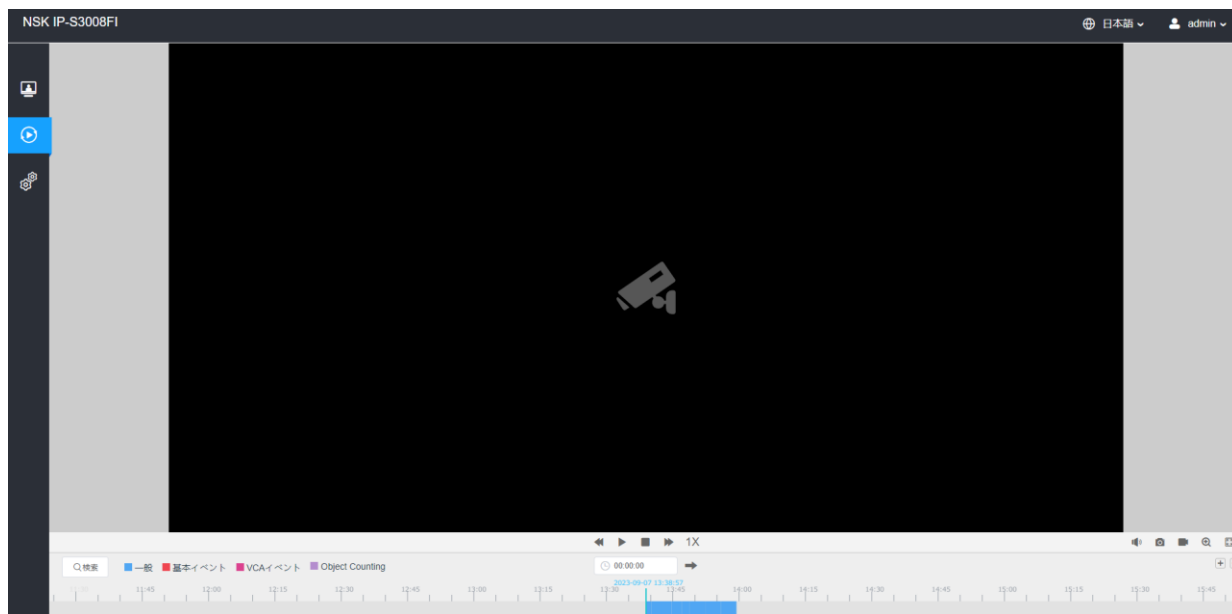



ステップ1: 「検索」ボタンをクリックし、ウィンドウがポップアップしたときにデータと録画の種類を表示します。



ステップ2: タイムラインにはその日のビデオファイルが表示され、表示したレコードタイプに応じてさまざまな色が表示されます。必要に応じて、プログレスバーをマウスでドラッグして、正確な再生ポイントを見つけます。

注意：再生ポイントを見つけるために、フィールド内  00:00:00 に、時間を入力して、 をクリックすることもできます。また、  を、プログレスバーをズームアウト/ズームインすることもできます。



ステップ3： を、この日に見つかったビデオファイルを再生します。再生画面のボタンのツールバーを使用して、再生の進行状況を制御できます。

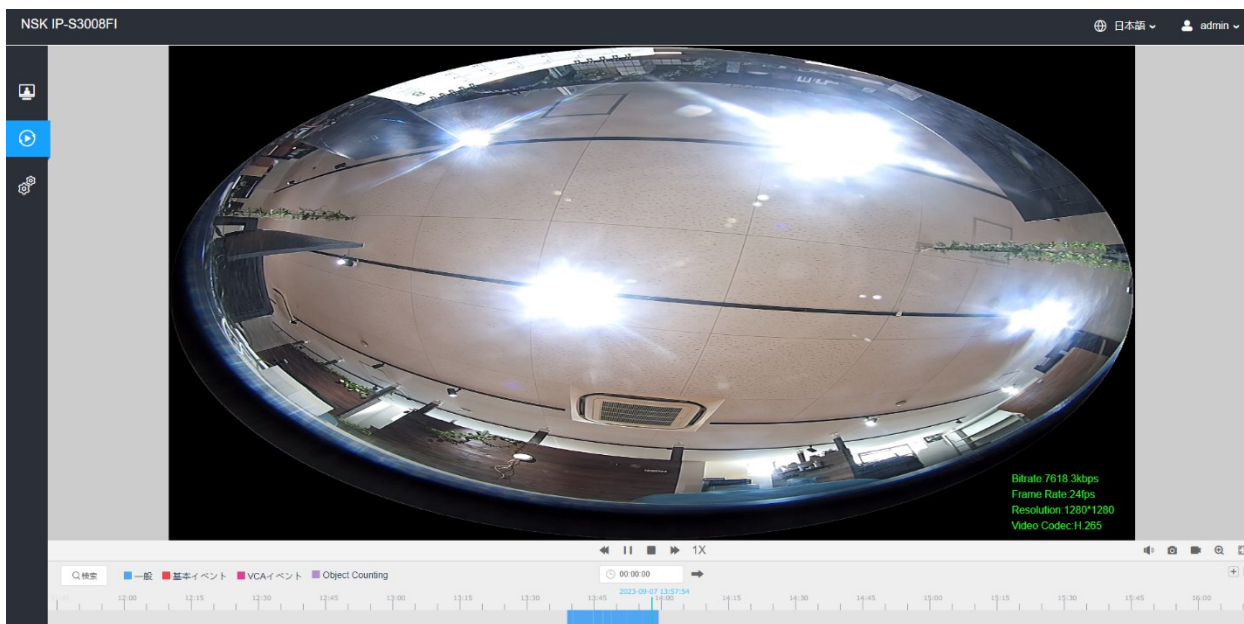


表6. ボタンの説明

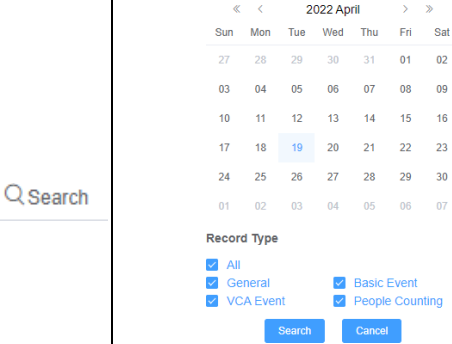







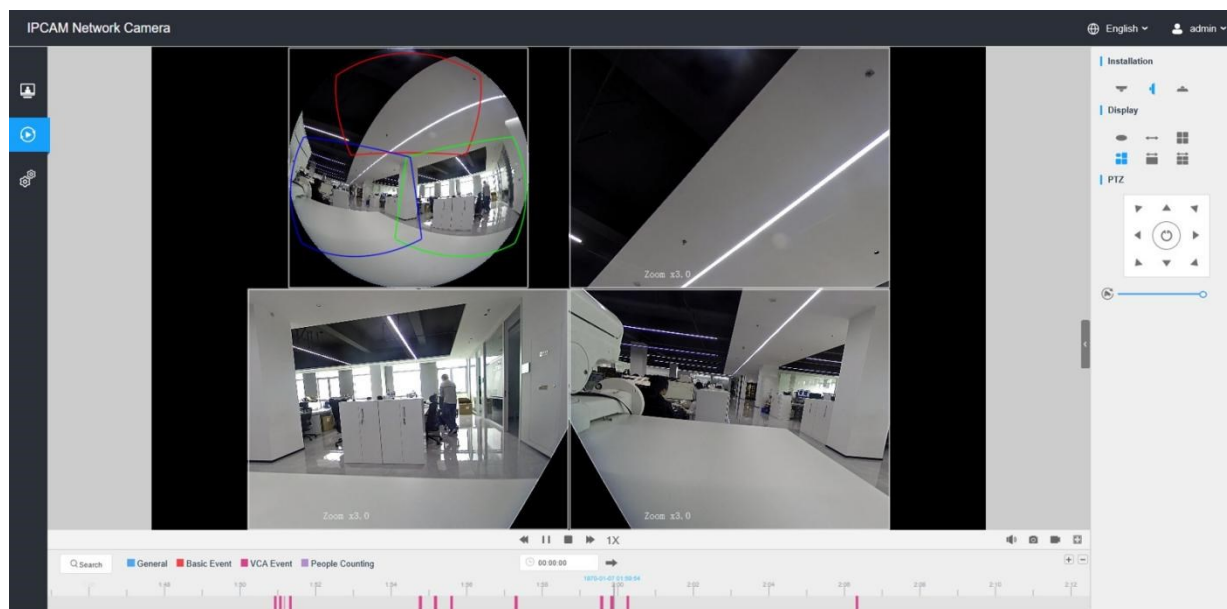
No.	パラメータ	説明
	 <p>Search</p>	<p>録画したビデオを検索する日付を表示します。</p> <p>録画したビデオを録画タイプ（すべて/一般/基本イベント/VCAイベント/人数カウント）で検索します。タイムラインは、以下のように、表示した録画タイプに応じて異なる色で表示されます。</p> <p> <input type="checkbox"/> General <input type="checkbox"/> Basic Event <input type="checkbox"/> VCA Event <input type="checkbox"/> People Counting </p>
1	 <p>スピードダウン/スピードアップ/スピード</p>	<p>ビデオ再生の速度を調整します。</p> <p>スピードダウン：再生用の0.5Xと0.25Xが含まれています。</p> <p>スピードアップ：再生用の2Xと4Xが含まれています。</p> <p>スピード：デフォルトの再生速度は1Xです</p>
2	 <p>再生/一時停止</p>	<p>ビデオを再生/一時停止します。</p>
3	 <p>停止</p>	<p>ビデオを停止します。</p>
4	 <p>検索時間</p>	<p>探したい時間を表示します。</p>
5	 <p>ジャンプ</p>	<p>に移動します。</p>

表7. ボタンの説明

No.	パラメータ	説明
1	 <p>ミュート</p>	<p>ボタンをオーディオを有効にします。</p>
2	 <p>スナップショット</p>	<p>ボタンをスナップショットを撮ります。</p>

3	 録画の開始/停止	ボタンを録画を開始/停止します。
4	 デジタルズーム	ボタンをズームオン/オフします。
5	 全画面表示	全画面で表示します。
6	 時間の拡大/縮小	時間の拡大/縮小します。

ステップ4：録画に元のフィッシュアイレンズビュー(10)が含まれている場合、再生画面で元のビューに基づいたソフトウェア側の歪み補正がサポートされます。ビデオファイルを再生すると、下図のように異なるインストールモードと表示モードを表示することができます。また、パノラマビューとリージョナルビューのPTZ機能をサポートしています。



第8章 設定

8.1 メディア

8.1.1 ビデオ

この部分では、さまざまなネットワーク環境や要求に合わせてストリームパラメータを設定できます。

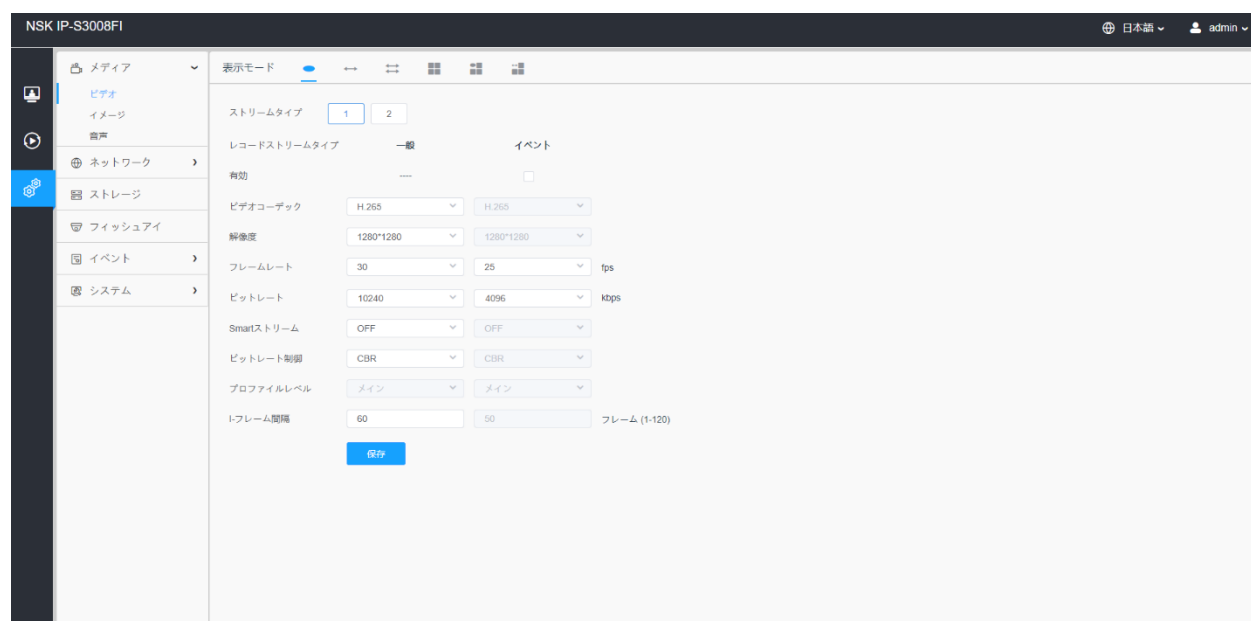


表8. ボタンの説明

パラメーター	機能紹介
チャンネル (マルチチャンネルモードのみ)	チャンネル数は、表示した表示モードに応じて変化します。10と1Pは1つのチャンネルを表示します。2Pは2つのチャンネルを表示します。4R、103R、および1P3Rは4つのチャンネルを表示します。101P3Rは5つのチャンネルを表示します。
ディスプレイモード	10 / 1P / 2P / 4R / 103R/1P3Rが利用可能です
ストリームタイプ (マルチチャンネルモードのみ)	プライマリストリーム/セカンダリストリームが利用可能です。

レコードストリームタイプ	<p>一般的&イベントはプライマリストリームでのみ利用できます。一般は連続録画ビデオを指し、イベントにはモーション、例外、LPR車番認識などのアラームをトリガーできるイベントが含まれます。</p> <p>この項目は、異なるレコーディングストリームタイプに対して異なるビットレートとフレームレートを個別に設定できます。ユーザーが[イベント]を表示すると、イベントが発生したときにビデオストリームタイプの設定に従ってビデオが録画されるため、録画ストレージスペースが大幅に削減されます。</p>
有効	イベントストリームを有効にします
ビデオコーデック	H. 265 / H. 264/MJPEGが利用可能です。
解像度	<p>マルチチャンネルモードの場合：</p> <p>4000*3000、3000*3000、2560*2560、1920*1920、1280*1280、1280*960、1024*1024、720*720、320*320は、10の元のフィッシュアイビューに使用できる解像度です。</p> <p>2560*2560、2560*640、1920*1920、1920*480、1280*1280は、103Rおよび101P3Rの元のフィッシュアイビューで使用可能な解像度です。</p> <p>3000*752、2560 *、2560*640、1920*480、1280*320、960*240は、1P、1P3R、および101P3Rの360度パノラマビューで使用可能な解像度です。</p> <p>2560*640、1920*480は、101P3Rで360度パノラマビューに使用できる解像度です。</p> <p>3000*1680、2688*1520、2592*1460、1920*1080、1280*720は、2Pで2つの180度パノラマビューに使用できる解像度です。</p> <p>1920*1080、1280*720、640*480は、リージョナルビューで使用可能な解像度です。</p> <p>バンドルストリームモードの場合：</p> <p>4000*3000、3000*3000、2560*2560、2592*1944、1944*1944、1920*1920、1536*1536、1280*1280は10の利用可能な解像度です。</p> <p>3000*752、2592*648、2560*640、1920*480、1280*320は1Pの利用可能な解像度です。</p> <p>3000*1680、2688*1520、2592*1460、1920*1080、1280*720は2Pの利用可能な解像度です。</p> <p>4000*3000、3840*2160、3072*1728、2592*1944、2304*1296は、4R、103R、および1P3Rで使用可能な解像度です。</p> <p>注意： AIシリーズのフィッシュアイモデルは、最大3000*3000（12MPフィッシュアイモデル）または2144*2144（4Kフィッシュアイモデル）の解像度に対応しています。</p>
フレームレート	1秒あたりの最大リフレッシュフレームレートであり、モードによって異なります。
ビットレート	<p>1秒あたりのデータ送信ビット数。この項目は、H. 265/H. 264を表示した場合にのみオプションです。</p> <p>ビットレートを32~16384Kbpsに設定します。値が高いほどビデオ品質が高くなり、必要な帯域幅も高くなります。</p>

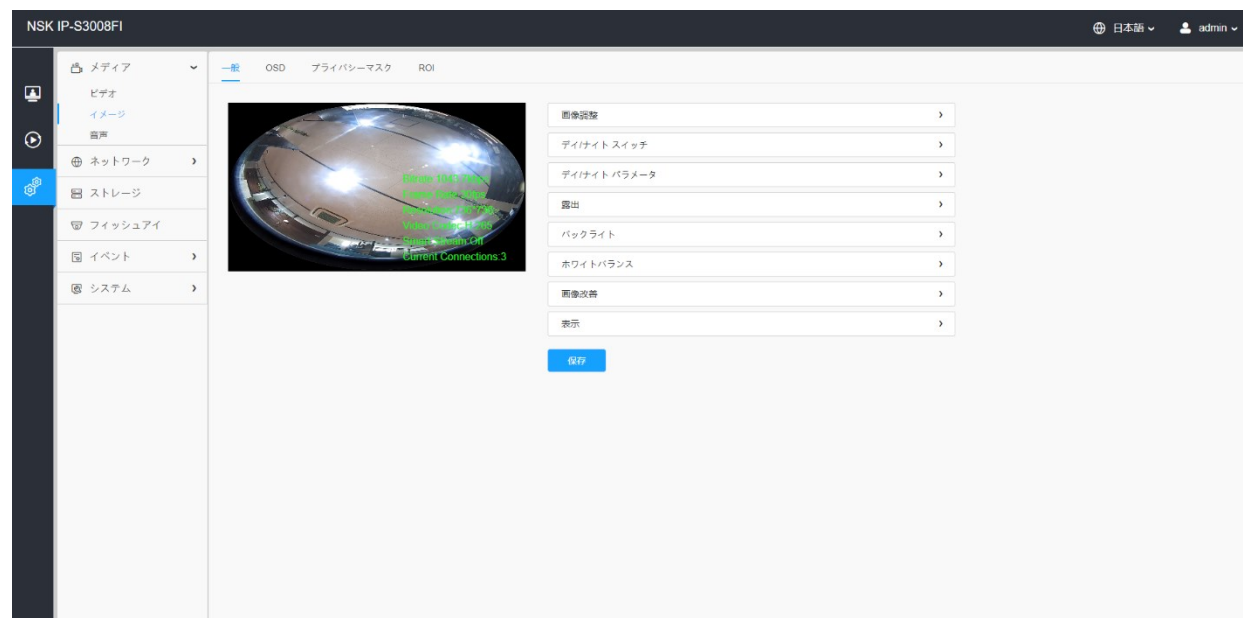
Smartストリーム	<p>スマートストリームモードをオン/オフにするオプション。スマートストリームモードは、高品質の画像を確保しながら、ネットワークカメラの帯域幅とデータストレージ要件を大幅に削減します。これは、10レベルの調整可能なコーデックです。</p> <p>レベル：レベル1~10は必要に応じて利用できます。</p>
ビットレート制御	<p>CBR：固定ビットレート。CBR出力のレートは一定です。</p> <p>VBR：可変ビットレート。VBRファイルは、タイムセグメントごとの出力データの量を変化させます。</p>
画質	<p>低/中/高が利用可能です。この項目は、VBRを表示した場合にのみオプションです。</p>
プロファイルレベル	<p>オプションはH.264用で、必要に応じてメイン/ハイ/ベースを表示できます。</p>
Iフレーム間隔	<p>Iフレーム間隔を1~120、デフォルトでは50に設定します。この項目は、H.265/H.264を表示した場合にのみオプションです。数はフレーム数の倍数でなければなりません。</p>

8.1.2 イメージ

この部分では、画像調整、昼/夜設定、画像強化などの画像の一般設定を行うことができます。OSD（オンスクリーンディスプレイ）コンテンツ、プライバシーマスク、ビデオ時間を表示して、画像情報を充実させることができます。

8.1.2.1 一般

この部分では、画像調整、昼/夜スイッチ、昼/夜パラメータ、露出、逆光、ホワイトバランス、画像強化、表示などの画像の一般設定を設定できます。



[画像調整]

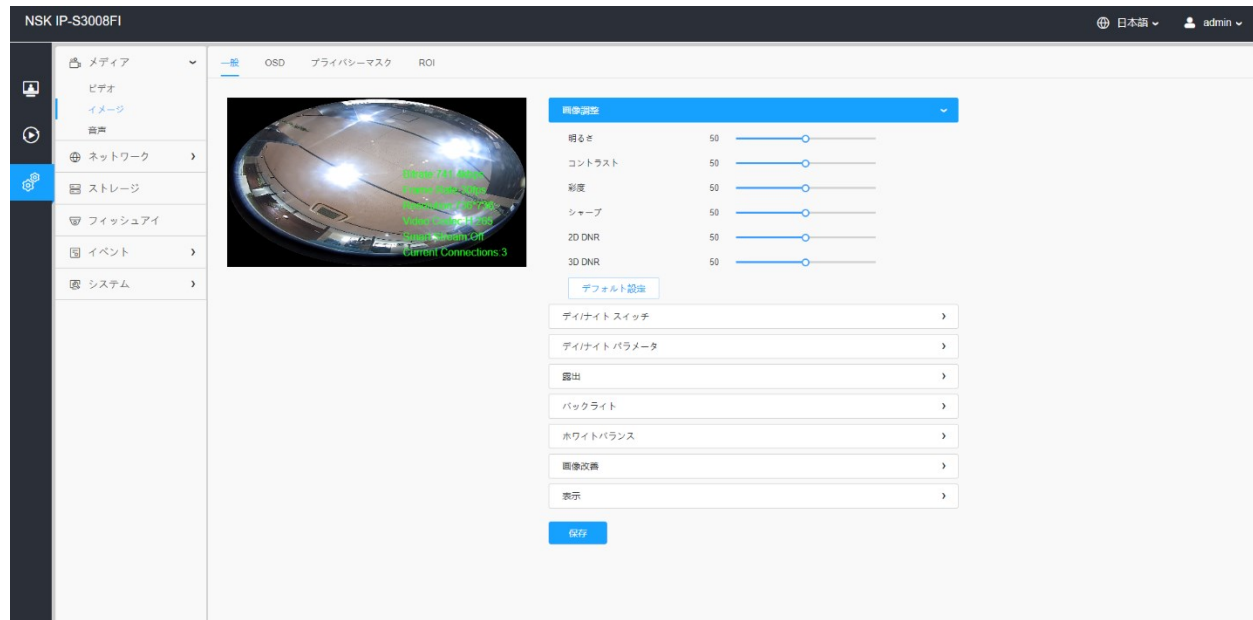


表9. ボタンの説明

パラメーター	機能紹介
明るさ	シーンの明るさを調整します。
コントラスト	色と光のコントラストを調整します。
彩度	画像の彩度を調整します。彩度が高いほど、色はより「純粋」に見え、低い彩度は、より「ウォッシュアウト」に見えます。
シャープネス	画像のシャープネスを調整します。シャープネスを高くすると、ピクセル境界がシャープになり、画像が「より鮮明」に見えます。
2D DNR	ノイズリダクションレベルを調整します。
3D DNR	明るさ、コントラスト、彩度をデフォルト設定に戻します。
デフォルト設定	シーンの明るさを調整します。

[デイ/ナイトスイッチ]

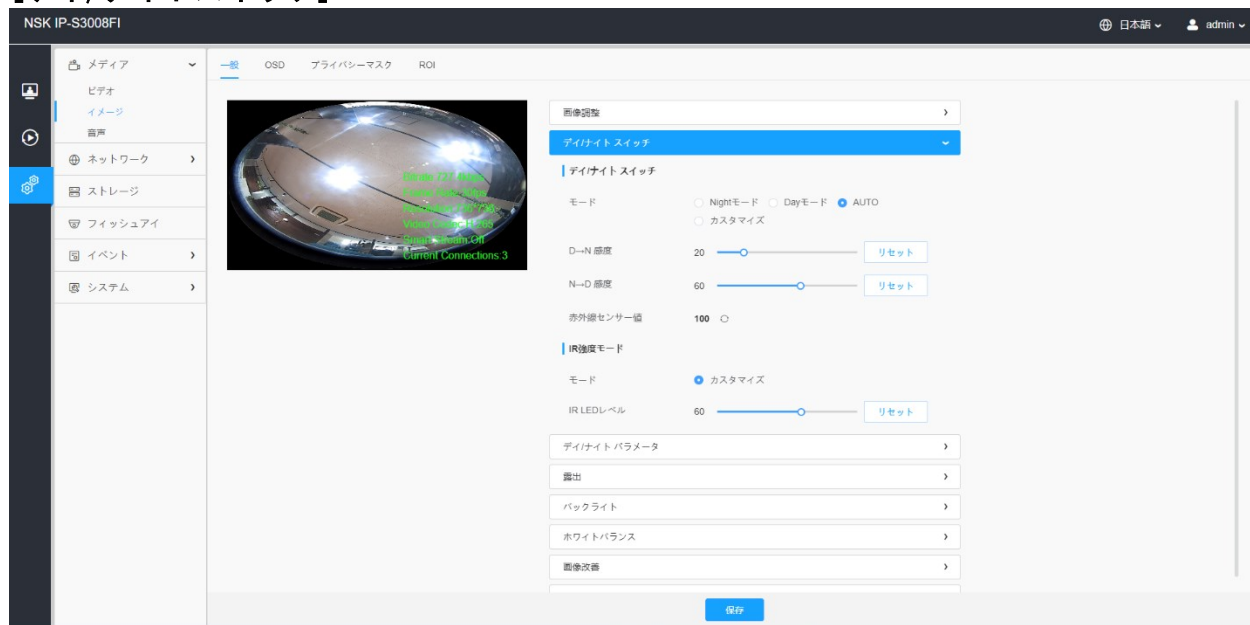


表10. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
<p>デイ/ナイトスイッチ</p>	<p>ナイトモード：ナイトモード設定に基づいてライブビューで表示されます。</p> <p>デイモード：日モード設定に基づいてライブビューで表示されます。</p> <p>AUTOモード：環境に基づいてライブビューで表示され、デイモードをナイトモードに、またはナイトモードをデイモードに切り替える感度を設定します。</p> <p>カスタマイズ：ナイトモードを開始/終了するための独自の設定の時間に基づいてライブビューで表示されます。</p> <p>注意：モードに関連する露出レベル、最大露出時間、IR-CUT間隔などのいくつかのパラメータがあります。</p> <p>デイ/ナイトスイッチリフォーカス：このオプションを有効にすると、デイモードとナイトモードを切り替えるときにカメラが再フォーカスします。</p> <p>D→N感度：デイモードからナイトモードに切り替える感度を設定できます。IRライトセンサーの現在の値がこの値よりも低い場合、デイモードからナイトモードに切り替わります。リセットを押し、値を20にリセットできます。</p> <p>N→D感度：これは、ナイトモードをデイモードに切り替えるための感度です。IRライトセンサーの現在の値がこの値よりも高い場合、ナイトモードからデイモードに切り替わります。リセットを押し、値を60にリセットできます。</p> <p>赤外線センサー値：IR光センサーの現在の値。</p> <p>注意：3つのボタンは、自動モードを表示した場合にのみオプションです。</p> <p>Nightモード開始時間：ナイトモードを開始する時間を設定できます。</p> <p>Nightモード終了時間：日モードを開始する時間を設定できます。</p>

	<p>注意: Nightモードの開始/終了時間は、カスタマイズモードを表示した場合にのみオプションです。</p>
<p>IR強度モード</p>	<p>最高の効果を達成するために、IRの強度を自動モードまたはカスタマイズに設定するためのサポート。</p> <p>ハイビームとロービームの組み合わせにより、IR LEDテクノロジーがアップグレードされ、物体距離に関係なく、より優れた画像の鮮明度と品質が提供されます。また、ロービームとハイビームの明るさは、ズーム比に基づいて手動または自動で調整できます。また、IR反射防止パネルにより、赤外光の透過率が大幅に向上します。</p> <p>IR強度モード: 近ビームLEDと遠ビームLEDのライト値の現在の値。</p>


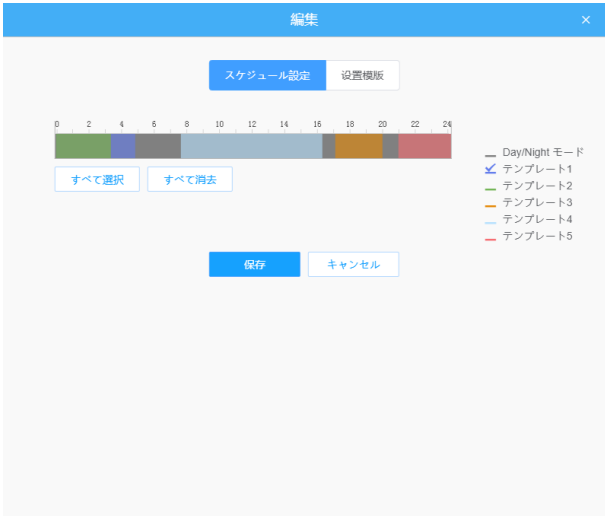
[デイ/ナイトのパラメータ]

The screenshot shows the web interface for the NSK IP-S3008FI camera. The main content area is titled 'Day/Night Parameters' and is split into two columns for 'Day Mode' and 'Night Mode'. The parameters are as follows:

Parameter	Day Mode	Night Mode
露出レベル (Exposure Level)	5	5
シャッター速度(最小) (Shutter Speed)	1/30	1/30
高感シャッター (High Sensitivity Shutter)	1/100000	1/100000
ゲインレベル制限 (Gain Level Limit)	100	100 (1-100)
IR-CUT 間隔 (IR-CUT Interval)	5s	5s
IR-CUT (IR-CUT)	ON	OFF
IR LED点灯 (IR LED Light)	OFF	ON
カラーモード (Color Mode)	カラー (Color)	黒/白 (Black/White)

Additional settings include 'Dynamic Switch', 'Day/Night Parameters' (selected), and 'High Dynamic Range Mode' with 'Output' and 'Backlight' options. A 'Save' button is located at the bottom right of the settings panel.

表11. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
露出レベル	レベル0～10はあなたのニーズを満たすために利用可能です。
シャッター速度 (最小)	最小シャッターは最大露出時間と同じです。最小シャッターを1～1/100000秒に設定します。
高速シャッター	最大シャッターは最小露光時間と同じです。最大シャッターを1～1/100000秒に設定します。
IR-CUT間隔	あるモードから別のモードに切り替える間隔時間。
ゲインレベル制限	リミットゲインレベルを1～100に設定します。
IR-CUT	IR-CUTのオン/オフを切り替えます。
IR LED点灯	IR-LEDのオン/オフを切り替えます。
カラーモード	B/Wまたはカラーモードを表示します。
 高度なスケジュールモード	ここでは、さまざまな時間に合わせて特別な要求をカスタマイズできます。その後、設定に応じてデイモードとナイトモードが自動的に切り替わります。 

[露出]

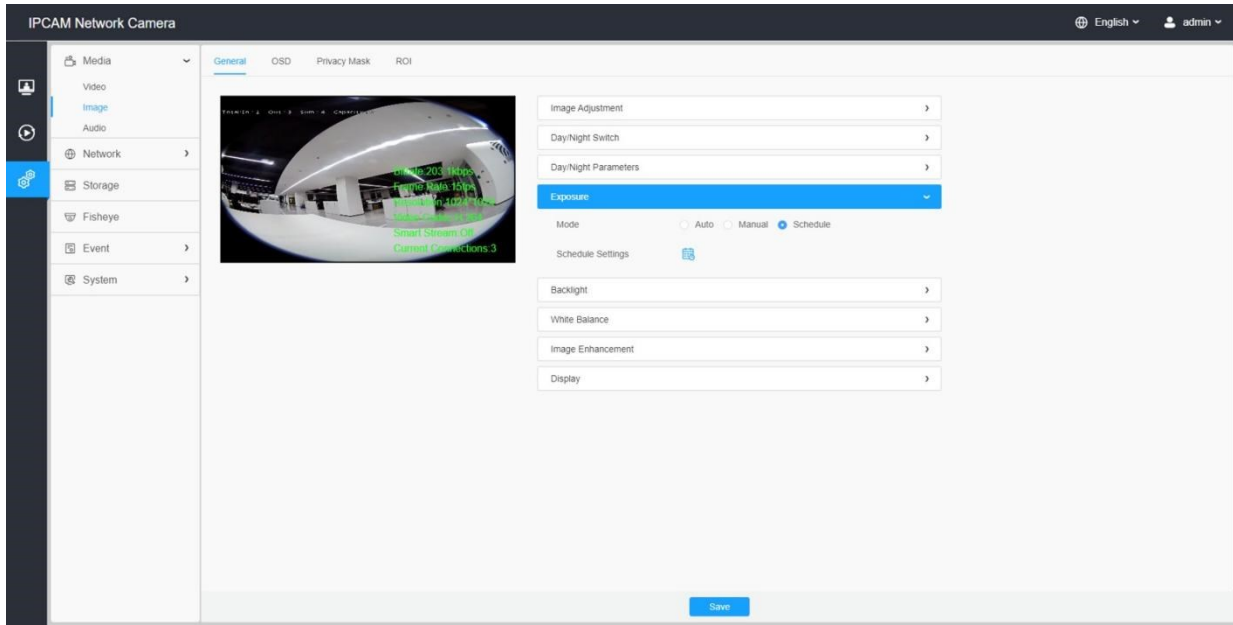


表12. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
<p style="text-align: center;">露出モード</p>	<p>AUTOモード：カメラは、光の環境に応じて明るさを自動的に調整します。</p> <p>マニュアルモード：カメラは設定した値に応じて明るさを調整します。露光時間は1~1/100000秒の範囲で設定できます。値が大きいくほど、画像は明るくなります。</p> <p>スケジュールモード：スケジュールをカスタマイズして、自動モードと手動モードを有効/無効にすることができます。</p> <div data-bbox="620 1306 1424 1749" style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p style="text-align: right; margin-bottom: 0;">編集 ×</p> </div>

[バックライト]

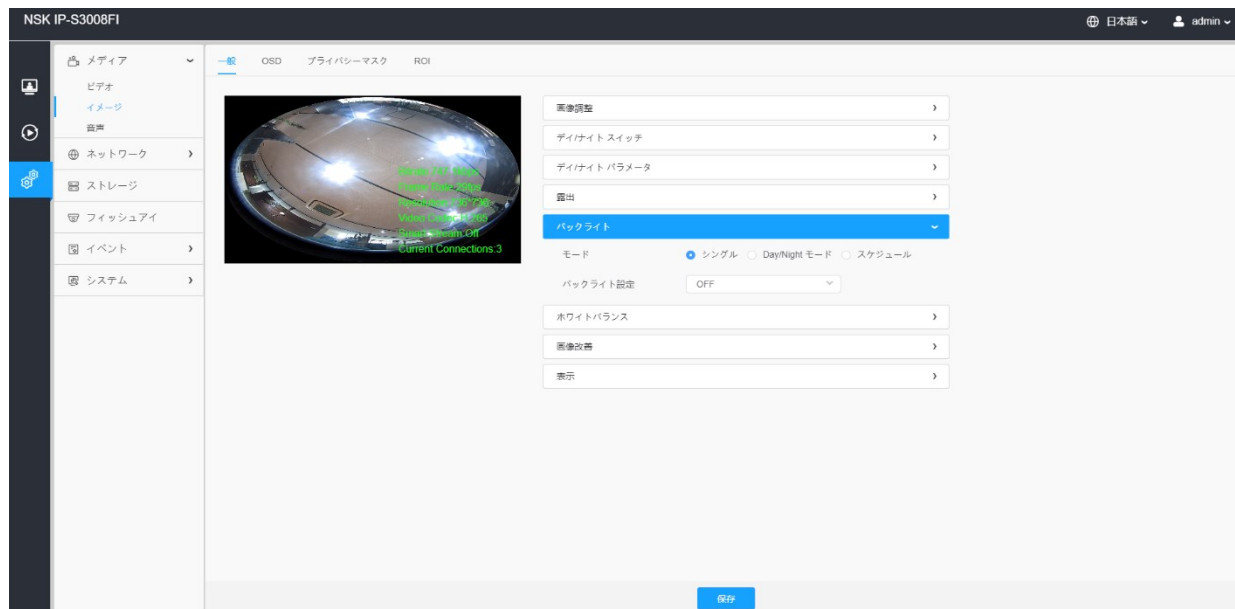
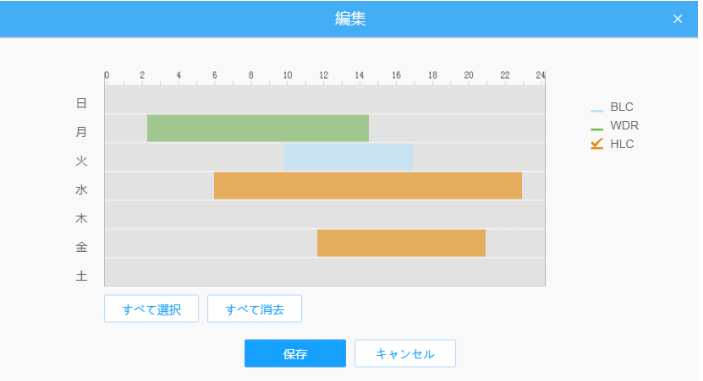


表13. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
バックライトモード	<p>シングルモード：BLC/WDR/HLCのシングルモードを設定します。</p> <p>注意：高フレームレートが有効になっている間は、WDRおよび一般的なHLCが利用できません。</p> <p>デイ/ナイトモード：デイエンハンスメントモード/ナイトエンハンスメントモードでBLC/WDR/HLCを個別にサポートします。</p> <p>スケジュールモード：BLC/WDR/HLCのスケジュールモードを設定します。スケジュールをカスタマイズして、BLC/WDR/HLCモードを有効/無効にすることができます。</p> 

[ホワイトバランス]

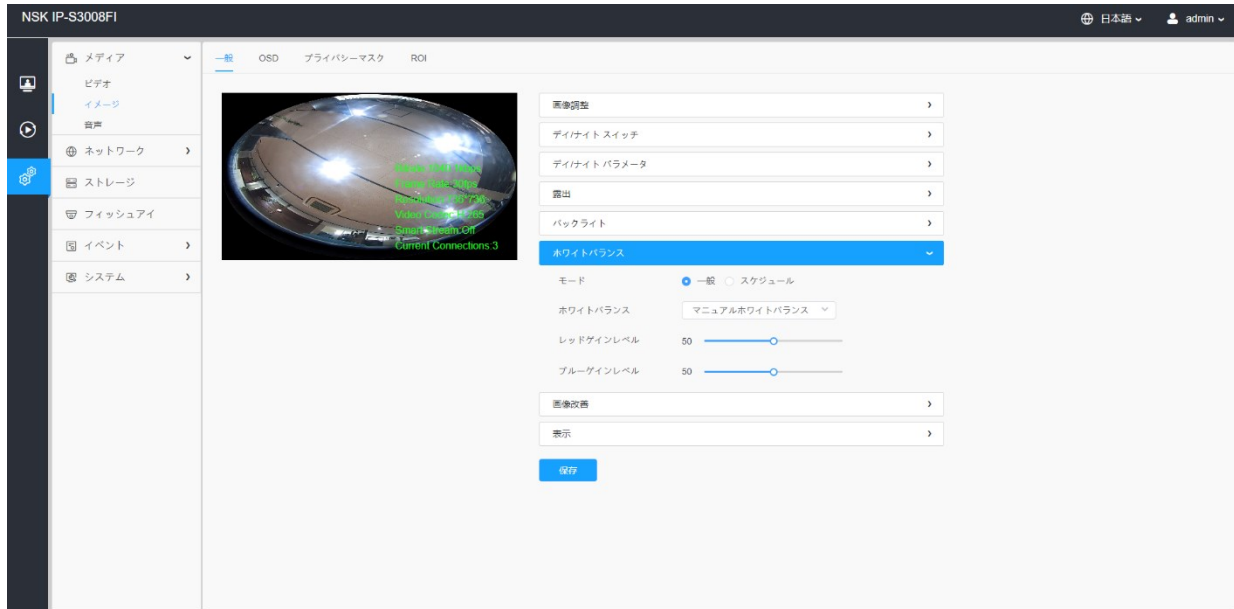


表14. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
<p style="text-align: center;">ホワイトバランス</p>	<p>白いオブジェクトを復元するには、環境の光によって引き起こされる色の歪みを取り除きます。</p> <p>オートホワイトバランス：このオプションは、ホワイトバランス機能を自動的に有効にします。</p> <p>マニュアルホワイトバランス：赤ゲインレベルと青ゲインレベルを手動で設定します。</p> <p>白熱灯：光が白熱灯と似ている場合は、このオプションを表示します。</p> <p>ハロゲン灯：光がハロゲン灯と類似している場合は、このオプションを表示します。</p> <p>自然光：自然光以外に光がない場合は、このオプションを表示します。</p> <p>蛍光灯：光が蛍光灯と似ている場合は、このオプションを表示します。</p> <p>スケジュールモード：上記のモードを有効/無効にするようにスケジュールをカスタマイズできるこのオプションを表示します。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; background-color: #007bff; color: white; padding: 2px;">編集</p> <p style="text-align: center;"> <input type="button" value="すべて選択"/> <input type="button" value="すべて消去"/> </p> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <input type="button" value="保存"/> <input type="button" value="キャンセル"/> </p> </div>

[画像改善]

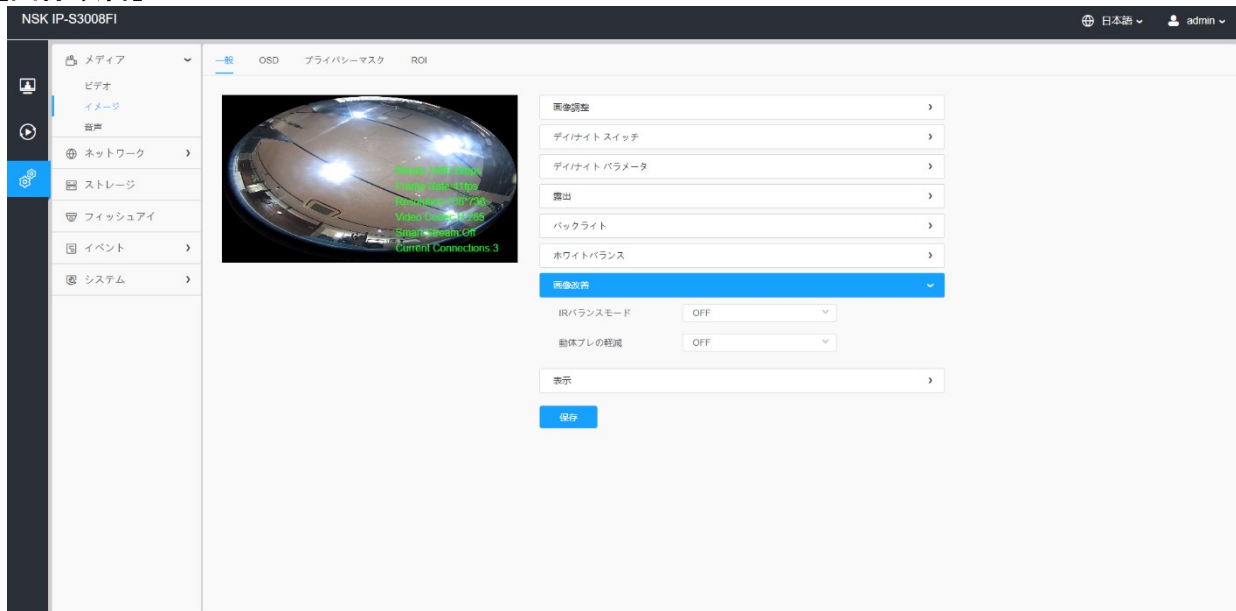


表15. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
IRバランスモード	IRLEDをオン/オフするオプションがあります。 IRバランスモードは、露出オーバーや暗闇の問題を回避し、IRLEDは実際の照明に応じて変化します。
動体ブレの軽減	この機能を有効にすると、オブジェクトのモーションブラーを効果的に減らすことができます。デブラーレベルは1から100まで調整できます。

[表示]

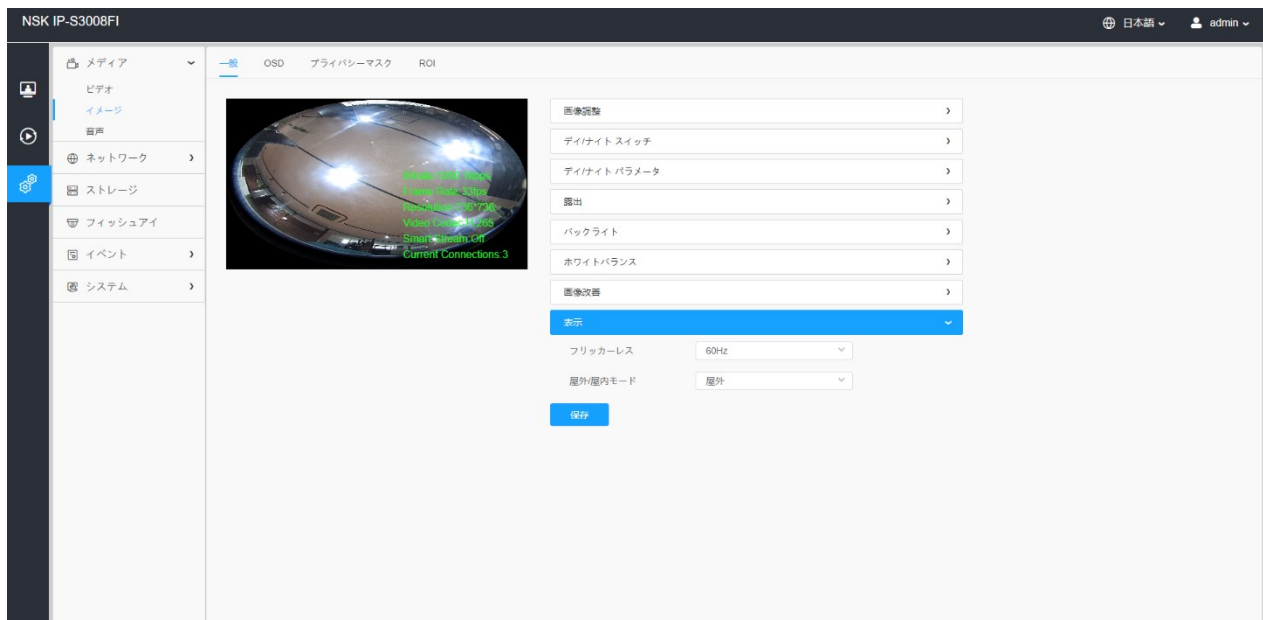


表16. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
フリッカーレス	60Hzと50Hzが利用可能です。
屋外/屋内モード	ニーズに合わせて屋内モードまたは屋外モードを表示してください。

8.1.2.2 OSD

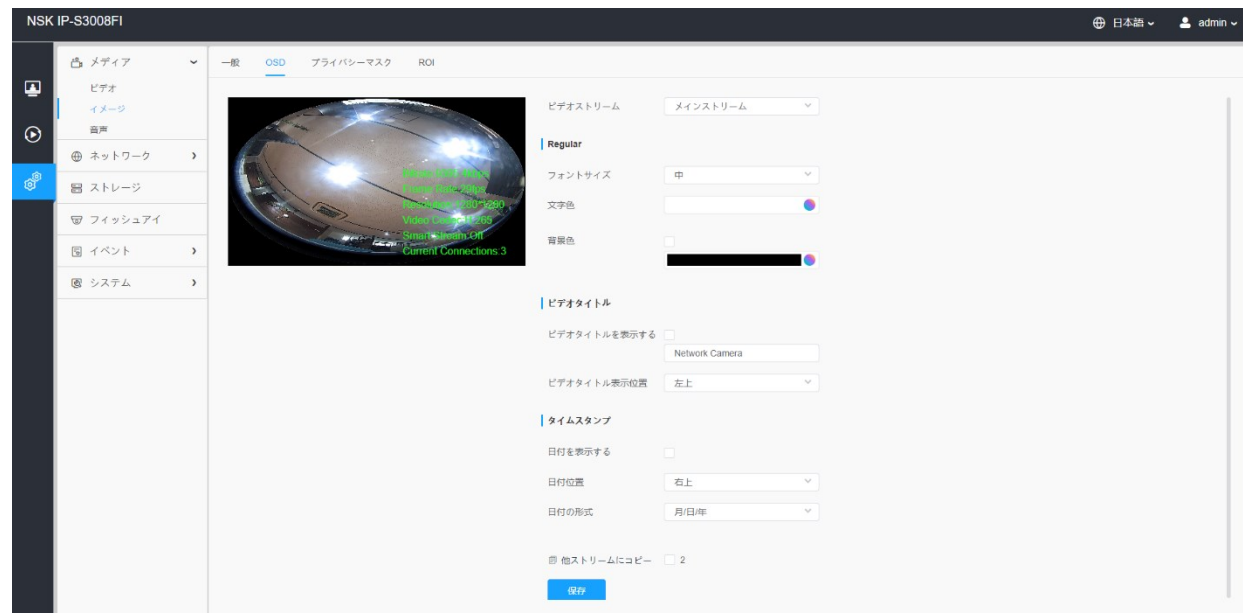



表17. ボタンの説明

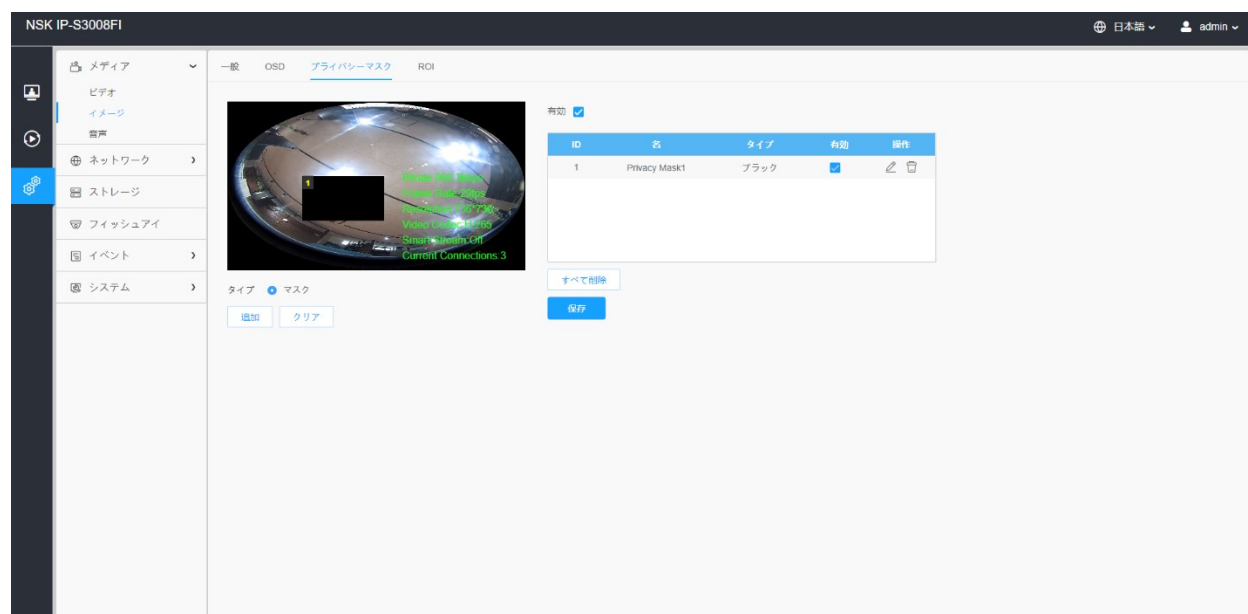
パラメータ	機能紹介
ビデオストリーム	プライマリストリームとセカンダリストリームのOSDを設定できるようにします。
フォントサイズ	最小/小/中/大/最大/自動は、タイトルと日付で利用できます。
フォントの色	タイトルと日付に異なる色を設定できるようにします。
背景色	<p>画面に情報の背景を表示するために異なる色を設定できるようにします。</p> <p>画像のフォントと背景に異なる色を設定すると、画像のOSDは次のように表示されます。</p> 

ビデオタイトルを表示	チェックボックスをオンにすると、ビデオタイトルが表示されます。
ビデオタイトル	OSDコンテンツをカスタマイズします。
テキストの位置	画像上のOSD表示位置
タイムスタンプを表示	チェックボックスをオンにすると、画像に日付が表示されます。
日付位置	画像上の日付表示位置
日付形式	日付の形式
他のストリームにコピー	設定を他のストリームにコピーします

8.1.2.3 プライバシーマスク

プライバシーマスクを使用すると、ライブビデオの特定のエリアをカバーして、監視エリアの特定の場所が表示および録画されないようにすることができます。

[プライバシーマスク]



注意：

- フィッシュアイモデルの場合、黒色のプライバシーマスクのみがサポートされています。

表18. ボタンの説明

パラメーター	機能紹介
有効	チェックボックスをオンにして、プライバシーマスク機能を有効にします。

タイプ	フィッシュアイカメラにはブラックマスクタイプがあります。
追加	必要に応じて、ライブビデオにプライバシーエリアを描画しました。
クリア	ライブビデオで描いたエリアをクリアします。
すべて削除	以前に描いたすべてのエリアをクリアします。

8.1.2.4 ROI

ROIは、特定の目的のために識別されたデータセット内のサンプルの表示されたサブセットです。ユーザーは、シーンの最大8つの主要なエリアを表示して、ターゲットを絞ったプレビューと録画のために別々のストリームを介して送信できます。

ROIテクノロジーを使用することで、ビットレートを50%以上節約できるため、必要な帯域幅が少なくなり、ストレージの使用量が削減されます。したがって、これに従って、高解像度の小さなビットレートを設定できます。

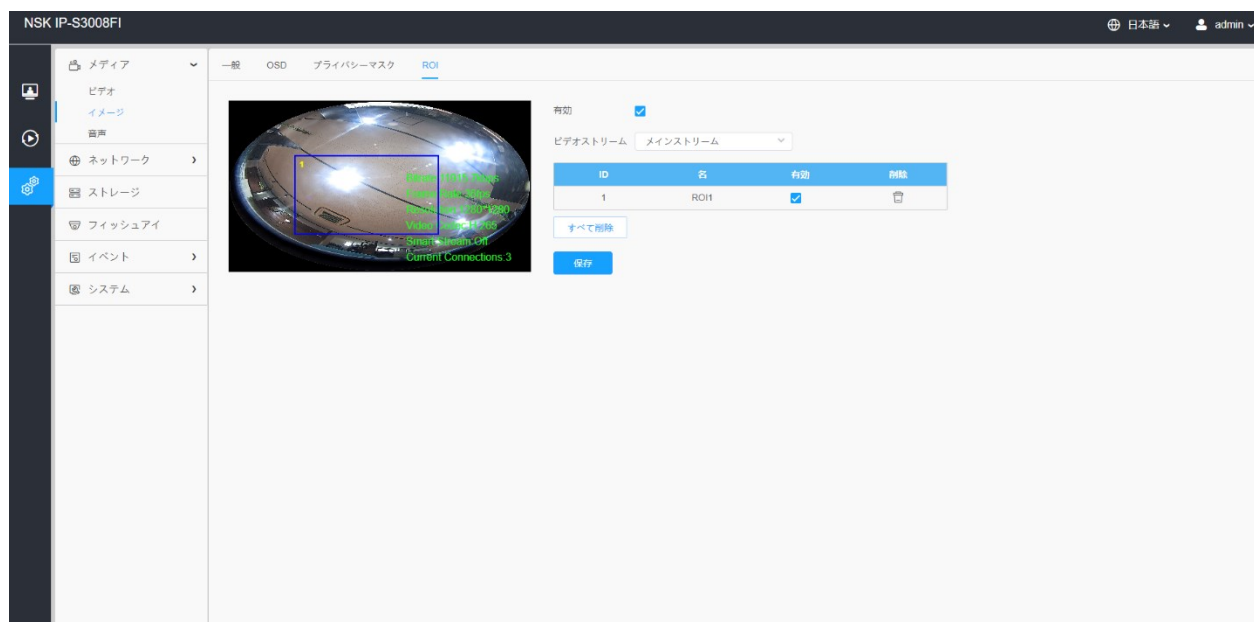



表19. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
有効	チェックボックスをオンにして、ROI機能を有効にします。

ビデオストリーム	ビデオストリームを表示します。	
ROI	<input type="checkbox"/> / <input checked="" type="checkbox"/>	表示したROIエリアを有効/無効にします。
		表示したROIエリアを削除します。
すべて削除	以前に描いたすべてのエリアをクリアします。	

注意：

- 低ビットレートを設定できます。たとえば、ビットレートを512Kbpsに設定し、解像度を1080Pに設定すると、ROIの画質が他のエリアよりも明確で流暢であることがわかります。
- フィッシュアイカメラの解像度が4K以上の場合、ROI機能は無効になります。

8.1.3 音声

8.1.3.1 音声

このオーディオ機能を使用すると、カメラから音を聞いたり、カメラ側に音を送信したりできます。この機能により、双方向通信も可能です。音声入力の設定した特定のアラームレベルを超えたときにアラームをトリガーでき、アラームが発生したときに設定済みの音声を再生できます。

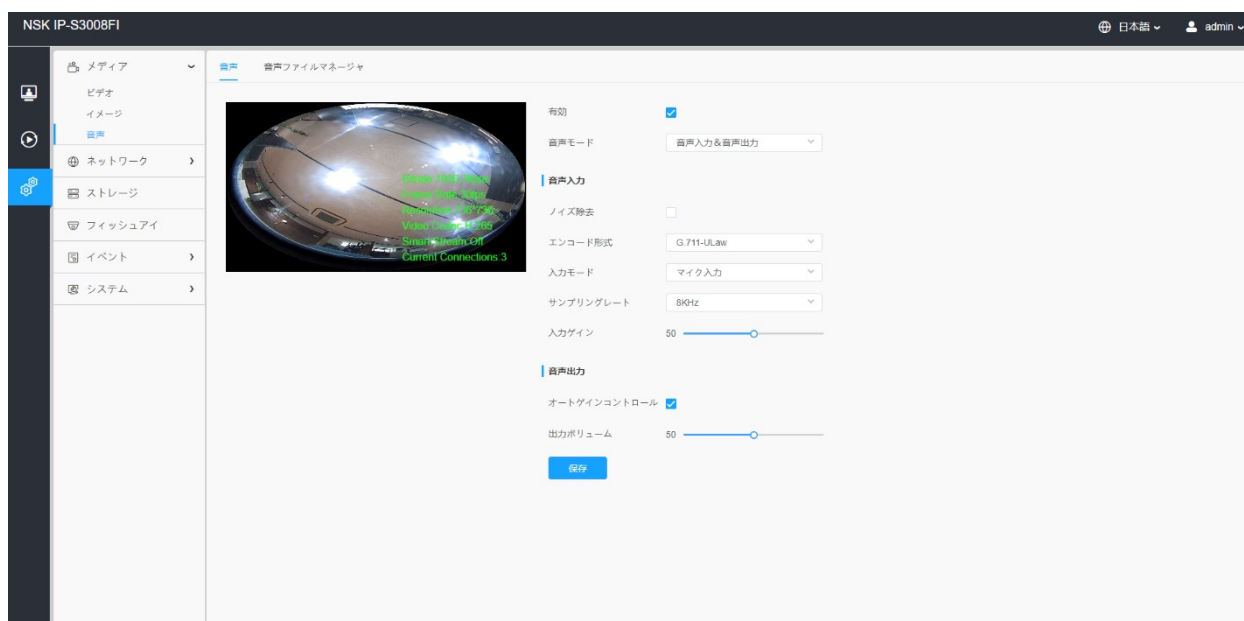
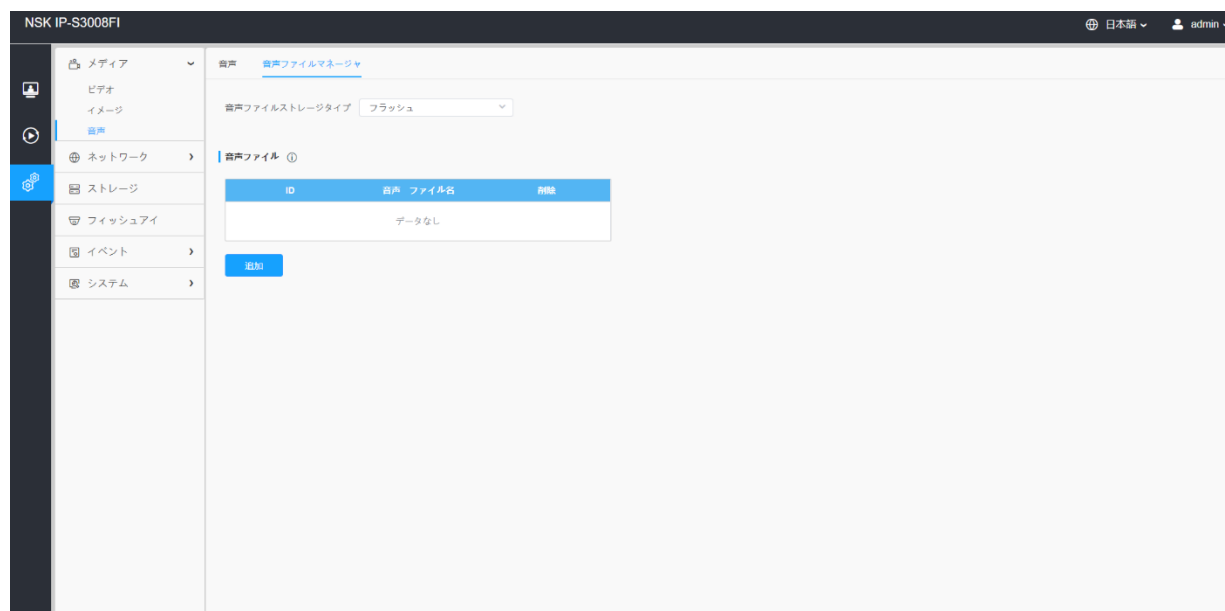


表20. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
有効	チェックボックスをオンにして、オーディオ機能を有効にします。
音声モード	音声入力/音声出力/音声入力と出力の両方オプションです。
音声入力	<p>ノイズ除去：オン/オフに設定します。この機能をオンにすると、検出されたノイズをフィルタリングできます。</p> <p>エンコード形式：G. 711-ULaw、G. 711-ALaw、AAC LC、G. 722、G. 726が利用可能です</p> <p>オーディオビットレート：この機能はAACLCでのみ使用可能で、最大256kbpsをサポートします。</p> <p>サンプリングレート：8KHz、16KHz、32KHz、44. 1KHz、および48KHzが利用可能です。</p> <p>入力ゲイン：入力オーディオゲインレベル、0~100。</p> <p>アラームレベル：音声アラームが有効で、入力獲得音量がアラームレベルの1~100より大きい場合、アラームがトリガーされます。</p>
音声出力	<p>オートゲインコントロール：この機能はH. 265シリーズ専用で、音声品質を向上させます</p> <p>出力ボリューム：出力の音量を調整します</p>


8.1.3.2 音声ファイルマネージャ

最大5つのオーディオファイルをオーディオWebページのFlashまたはSDカードに手動でアップロードできます。また、アップロード時にオーディオファイルの名前を編集することもできます。



 **注意：**

- オーディオモードとオーディオ出力は、特定のモジュール専用です。
- コーデックタイプがPCM/PCMU/PCMA、64kbpsまたは128kbps、500k以下の「.wav」オーディオファイルのみをサポートします。

 **注意：** コーデックタイプがPCM/PCMU/PCMA、ビットレートが64kbpsまたは128kbps、500k以下の「.wav」オーディオファイルのみをサポートします。

8.2 ネットワーク

8.2.1 基本

8.2.1.1 TCP / IP

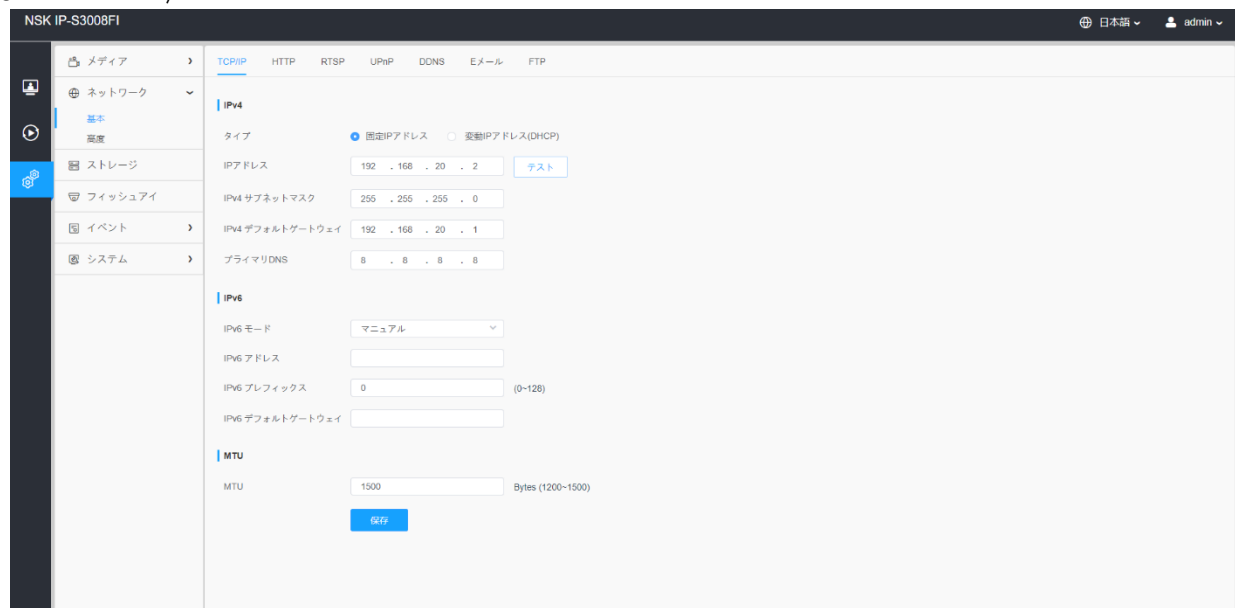


表21. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
IPv4	<p>タイプ：静的タイプとDHCPタイプは、ユーザーがIPv4アドレスを自動的に取得したり、固定IPアドレスを使用したりするためのオプションです。</p> <p>IPv4アドレス：ネットワーク上のネットワークカメラを識別するために使用されたアドレス。</p> <p>注意：[テスト]ボタンは、IPが競合しているかどうかをテストするために使用されます。</p> <p>IPv4サブネットマスク：これは、ネットワークカメラが配置されているサブネットを識別するために使用されます。</p> <p>IPv4デフォルトゲートウェイ：デフォルトルーターアドレス。</p> <p>プライマリDNS：DNSサーバーはドメイン名をIPアドレスに変換します。</p>
IPv6	<p>IPv6モード：IPv6のさまざまなモードを表示します：手動/ルートアドバタイズメント/DHCPv6</p> <p>IPv6アドレス：ネットワーク上のネットワークカメラを識別するために使用されるIPv6アドレス</p> <p>IPv6プレフィックス：IPv6アドレスのプレフィックス長を定義します</p> <p>IPv6デフォルトゲートウェイ：デフォルトのルーターIPv6アドレス</p>

MTU	最大伝送ユニット。デフォルト値は1500です。必要に応じて値を1200から1500までカスタマイズできます。
------------	--

8.2.1.2 HTTP

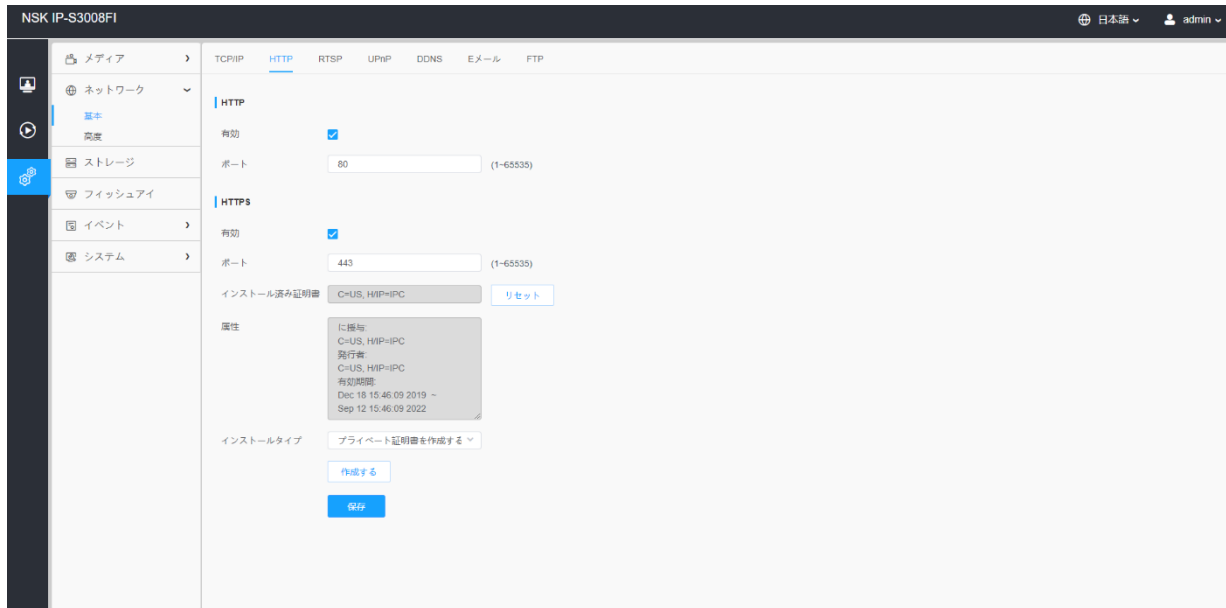


表22. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
HTTP	<p>有効 : HTTPの使用を開始または停止します。</p> <p>ポート : Web GUIログインポート。デフォルトは80で、ONVIFポートと同じです。</p>
HTTPS	<p>有効 : HTTPの使用を開始または停止します。</p> <p>ポート : HTTPS経由のWeb GUIログインポート。デフォルトは443です。</p>
インストール済み証明書	SSL証明書をアップロードして設定します。
属性	
インストールタイプ	

8.2.1.3 RTSP

表23. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
RTSPポート	RTSPのポート。デフォルトは554です。
再生ポート	再生ポート再生ポート。デフォルトは555です。 注意 ：ポート0は、再生機能を閉じることを意味します。
RTPパケット	互換性の向上とパフォーマンスの向上の2つのオプションがあります。カメラの画像が乱れる場合は、このオプションを切り替えてください。
マルチキャストグループアドレス	マルチキャスト機能をサポートします。
QoS DSCP (0~63)	DSCPの有効な値の範囲は0~63です。

表24. RTSPURL

ストリーム	URL
プライマリストリーム	rtsp:// IP: RTSPポート/メイン
セカンダリストリーム	rtsp:// IP: RTSPポート/サブ
チャンネル01	rtsp:// IP: RTSPポート/メイン
チャンネル02	rtsp:// IP: RTSPポート/サブ
チャンネル03	rtsp://IP:RTSP Port/third

チャンネル04	rtsp://IP:RTSP Port/fourth
チャンネル05	rtsp://IP:RTSP Port/fifth

注意：

- 転送モードがバンドルストリームモードの場合、フィッシュアイカメラのプライマリストリームとセカンダリストリームのRTSP URLはオプションです。
- 転送モードがマルチチャンネルモードの場合、フィッシュアイカメラのチャンネル01/02/03/04/05のRTSPURLはオプションです。
- DSCPは、Differentiated Service Code Pointを指します。DSCP値は、データの優先度を示すためにIPヘッダーで使用されます。
- 設定を有効にするには、再起動が必要です。

8.2.1.4 UPnP

UPnP (Universal Plug and Play) は、ネットワーク機器、ソフトウェア、その他のハードウェアデバイス間で互換性を提供するネットワークアーキテクチャです。UPnPプロトコルにより、デバイスはシームレスに接続され、家庭や企業環境におけるネットワークの実装を簡素化することができます。この機能を有効にすると、各ポートのポートマッピングを設定する必要がなくなり、カメラはルーターを経由してワイドエリアネットワークに接続されます。

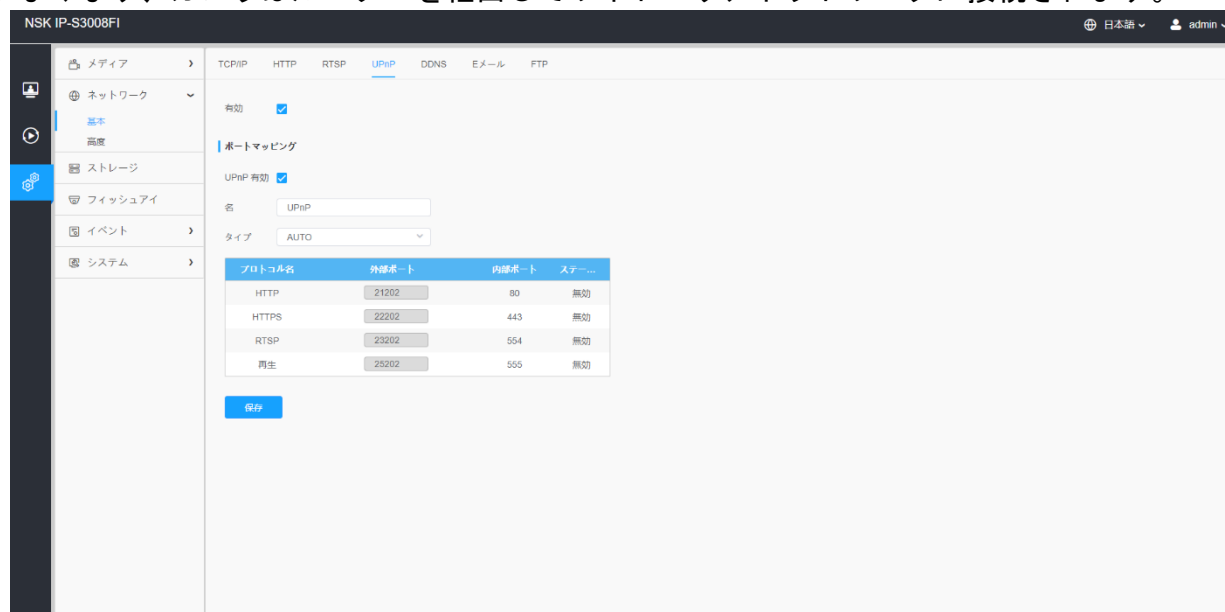


表25. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
有効	チェックボックスをオンにして、UPnP機能を有効にします。
UPnP 有効	チェックボックスをオンにして、ポートマッピングを有効にします
名前	オンラインで検出されたデバイスの名前を編集できます

タイプ	<p>自動：設定なしで、対応するHTTPおよびRTSPポートを自動的に取得します</p> <p>マニュアル：適切なHTTPポートとRTSPポートを手動で設定する必要があります。手動を表示すると、ポート番号の値を自分でカスタマイズできます</p>
------------	--

8.2.1.5 DDNS

DDNSを使用すると、IPアドレスの代わりにドメイン名を介してカメラにアクセスできます。IPアドレスを変更し、ドメイン情報を動的に更新することができます。プロバイダーからアカウントを登録する必要があります。

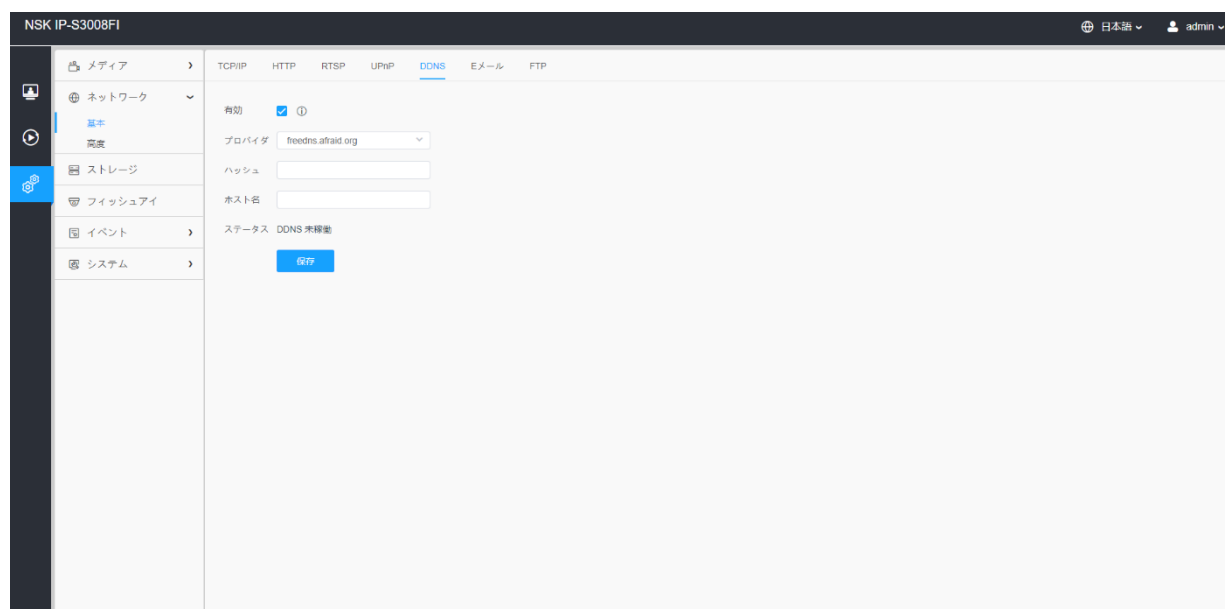


表26. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
有効	<p>チェックボックスをオンにして、DDNSサービスを有効にします。</p> <p>注意：DDNSで直接使用できるUPnPポートを有効にして設定することをお勧めします。</p>
プロバイダ	<p>DDNSプロバイダーからサポートを受ける：freedns.afraid.org、dyndns.org、www.no-ip.com、www.zoneedit.com。</p> <p>DDNSのプロバイダーをカスタマイズすることもできます。</p>
ハッシュ	「freedns.afraid.org」のみの検証に使用される文字列。
ユーザー名	DDNSプロバイダーからのアカウント名。「freedns.afraid.org」では使用できません。
パスワード	アカウントのパスワード。「freedns.afraid.org」では使用できません。

ホスト名	アカウントで有効になっているDDNS名。
状態	DDNSの実行ステータスを表示します。

注意：

- ・DDNSを使用する前に、HTTPポートとRTSPポートのポートフォワーディングを実行してください。
- ・RTSPの内部ポート番号と外部ポート番号が同じであることを確認してください。

8.2.1.6 Eメール

アラームビデオファイルは、SMTPサーバーを介して特定のメールアカウントに送信できます。使用する前に、電子メール設定を正しく設定する必要があります。

The screenshot shows the 'Eメール' (Email) configuration page in the NSK IP-S3008F1 web interface. The page is titled 'NSK IP-S3008F1' and has a user 'admin' logged in. The left sidebar shows navigation options like 'メディア', 'ネットワーク', 'ストレージ', 'フィッシュアイ', 'イベント', and 'システム'. The main content area is for email settings. It includes a '有効' (Enabled) checkbox which is checked. Below it are input fields for 'ユーザー名' (User Name) with 'hdipnc', '送信元メールアドレス' (Sender Email Address) with 'hdipnc@sina.com', 'パスワード' (Password) with '*****', '送信メールサーバー (SMTP)' (SMTP Server) with 'smtp.sina.com', and 'SMTPポート' (SMTP Port) with '25'. There are also fields for '送信先メールアドレス1' (Recipient Email Address 1) with 'user@domain.com' and '送信先メールアドレス2' (Recipient Email Address 2). Under '暗号化' (Encryption), 'None' is selected. At the bottom, there are 'スナップショット設定' (Snapshot Settings) for 'アラームスナップショットファイル名' (Alarm Snapshot File Name) and 'タイミングスナップショットファイル名' (Timing Snapshot File Name), both set to 'YYYY-MM-DD'. '保存' (Save) and 'テスト' (Test) buttons are at the bottom.

表27. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
有効	メール機能を有効にするには、チェックボックスをオンにします。
ユーザー名	送信者の名前。通常、アカウント名と同じです。
送信者のメールアドレス	ビデオファイルに添付された電子メールを送信するための電子メールアドレス。
パスワード	送信者のパスワード。
送信メールサーバー (SMTP)	メールサーバーのIPアドレスまたはホスト名 (例: smtp.gmail.com)。

SMTPポート	SMTPのデフォルトのTCP/IPポートは25（保護されていません）です。SSL / TLSポートの場合、使用するメールによって異なります。
送信先メールアドレス1	ビデオファイルを受信するための電子メールアドレス。
送信先メールアドレス2	ビデオファイルを受信するための電子メールアドレス。
暗号化	SMTPサーバーでSSLまたはTLSが必要な場合は、チェックボックスをオンにしてSSLまたはTLSを有効にします。
スナップショット設定	<p>アラームスナップショットファイル名：デフォルト（YYYY-MM-DD） / MM-DD-YYYY / DD-MM-YYYY/プレフィックスの追加/ベースファイル名による上書き/カスタマイズが可能です。</p> <p>タイミングスナップショットファイル名：デフォルト（YYYY-MM-DD） / MM-DD-YYYY / DD-MM-YYYY/プレフィックスの追加/ベースファイル名による上書き/カスタマイズが可能です。</p>
テスト	設定が成功したかどうかをテストします。

8.2.1.7 FTP

アラームビデオファイルは、特定のFTPサーバーに送信できます。FTP設定を使用する前に、正しく設定する必要があります。

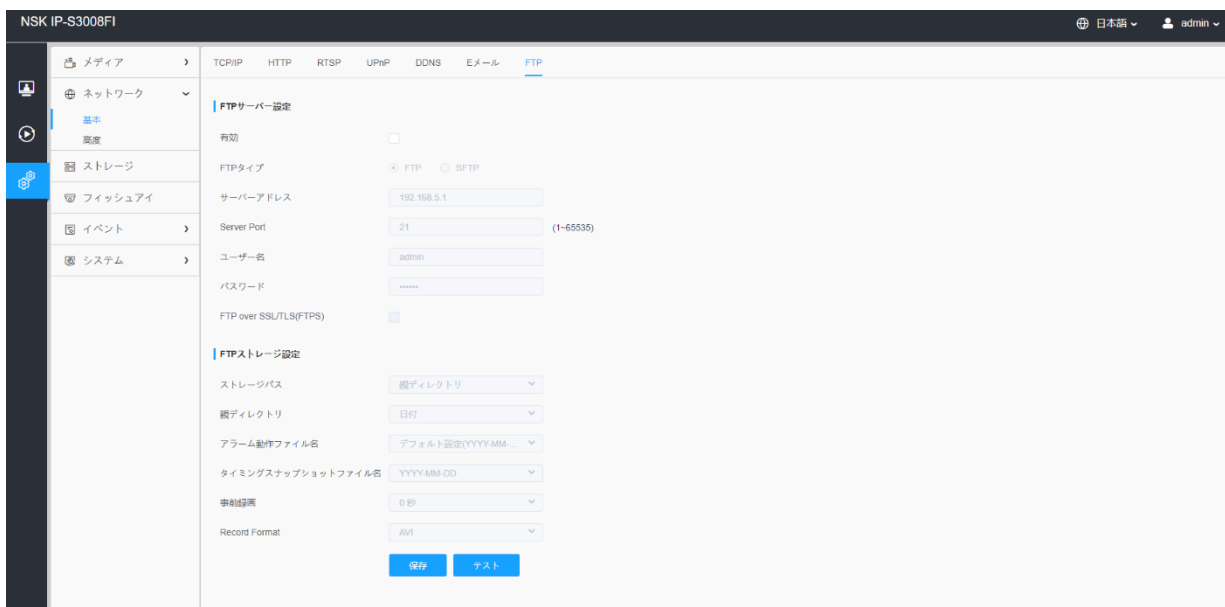


表28. ボタンの説明

パラメータ		機能紹介
	FTPタイプ	FTPとSFTPはオプションです。
	サーバーアドレス	FTP/SFTPサーバーアドレス。

FTPサーバー設定	サーバポート	FTPサーバーのポート。通常は21です。SFTPサーバーのポート。一般的には22です。
	ユーザー名	FTP/SFTPサーバーへのログインに使用されるユーザー名。
	パスワード	利用者パスワード。
FTPストレージ設定	ストレージパス	ビデオと画像がFTPサーバーにアップロードされるストレージパス。 ルートディレクトリ、親ディレクトリ、子ディレクトリ、カスタマイズなど、4つのFTPストレージパスタイプを使用できます。
	親ディレクトリ	親ディレクトリのフォルダ名としてIPアドレス/デバイス名/日付を表示するか、フォルダ名をカスタマイズします。
	子ディレクトリ	子ディレクトリのフォルダ名としてIPアドレス/デバイス名/日付を表示するか、フォルダ名をカスタマイズします。
	マルチレベルフォルダ名	ストレージパスが3レベルを超える場合は、ここにマルチレベルFTPストレージパスを手動で入力します。
	アラーム動作ファイル名	デフォルト (YYYY-MM-DD) を表示するか、アラームアクションファイル名をカスタマイズします。
	ビデオファイル名	アラームアクションファイル名をカスタマイズする場合は、YYYY-MM-DD / MM-DD-YYYY / DD-MM-YYYY/プレフィックスの追加が可能です。
	画像ファイル名	アラームアクションファイル名をカスタマイズする場合は、YYYY-MM-DD / MM-DD-YYYY / DD-MM-YYYY/プレフィックスの追加が可能です。
	タイミングスナップショットファイル名	デフォルト (YYYY-MM-DD) / MM-DD-YYYY / DD-MM-YYYY/プレフィックスの追加/ベースファイル名による上書きが可能です。
	事前録画	アラーム前の録画時間、0~10秒を予約します。
テスト	設定が成功したかどうかをテストします。	

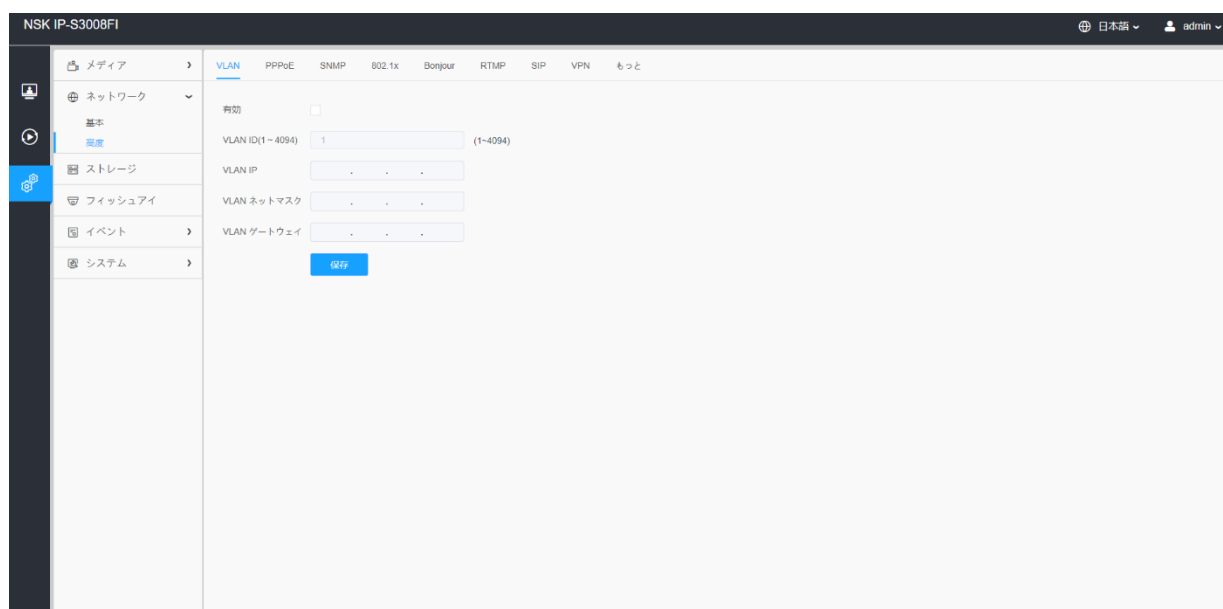
 **注意：**

- 親ディレクトリはルートディレクトリの下にあり、子ディレクトリは親ディレクトリの下にあります。
- 次のファイル名のヒントを参照して、ファイル名をカスタマイズできます。

8.2.2 高度

8.2.2.1 VLAN

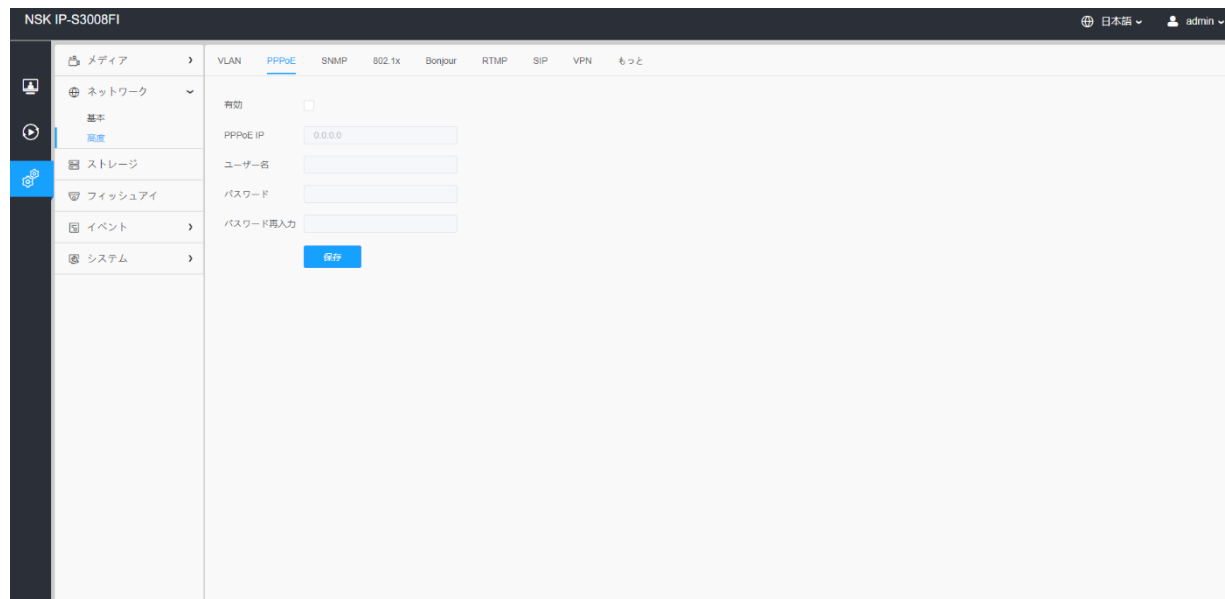
VLANは、データリンク層（OSI層2）でコンピューターネットワークに分割および分離されたブロードキャストドメインです。LANは、ローカルエリアネットワークの略語です。VLANを使用すると、ホストが同じネットワークスイッチ上にもない場合でも、ネットワーク管理者はホストをグループ化できます。これにより、VLANメンバーシップをソフトウェアで設定できるため、ネットワークの設計と展開を大幅に簡素化できます。VLANがない場合、リソースのニーズに応じてホストをグループ化するには、ノードを再配置したり、データリンクを再配線したりする必要があります。



注意：スイッチにVLANを設定する方法については、スイッチのユーザーマニュアルを参照してください。

8.2.2.2 PPPoE

このカメラはPPPoE自動ダイヤルアップ機能をサポートしています。カメラがモデムに接続された後、カメラはADSLダイヤルアップによってパブリックIPアドレスを取得します。ネットワークカメラのPPPoEパラメータを設定する必要があります。



注意 :

- ・取得したIPアドレスはPPPoEを介して動的に割り当てられるため、カメラを再起動するとIPアドレスは常に変更されます。ダイナミックIPの不便さを解決するには、DDNSプロバイダー（DynDns.comなど）からドメイン名を取得する必要があります。
- ・ユーザー名とパスワードは、ISPが割り当てる必要があります。

8.2.2.3 SNMP

SNMP機能を設定して、カメラのステータス、パラメータ、アラーム関連情報を取得し、ネットワークに接続されているときにカメラをリモートで管理できます。

SNMPを設定する前に、SNMPソフトウェアをダウンロードし、SNMPポートを介してカメラ情報を受信できるようにしてください。トラップアドレスを設定することにより、カメラはアラームイベントと例外メッセージを監視センターに送信できます。

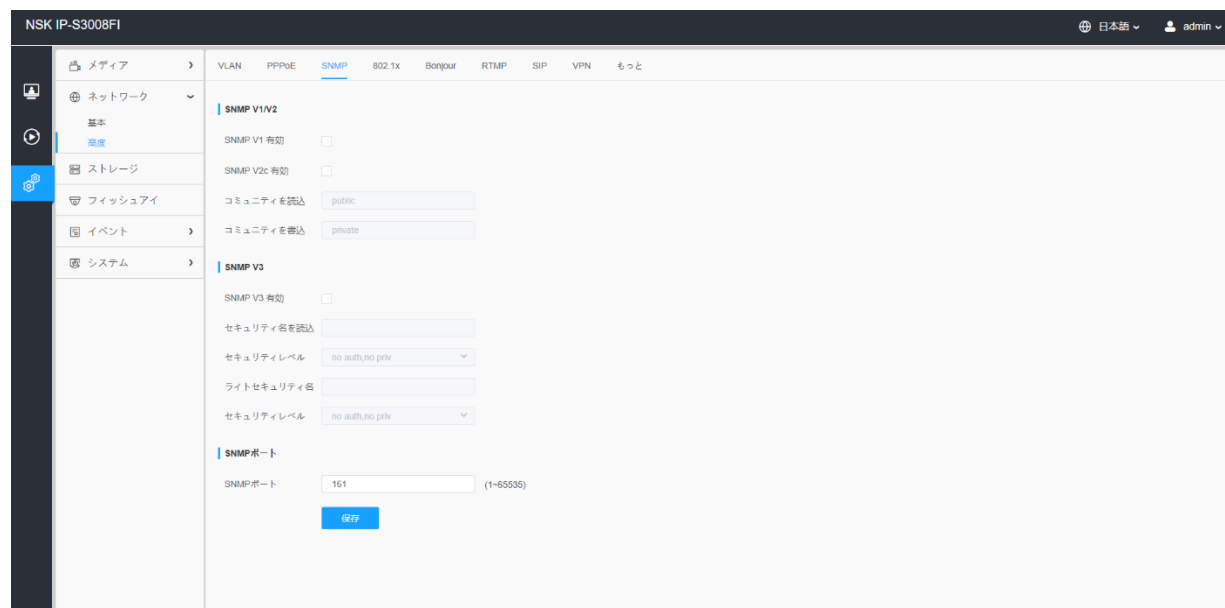



表29. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
SNMP v1 / v2	<p>SNMPのバージョン。SNMPソフトウェアのバージョンを表示してください。</p> <p>SNMP v1有効：セキュリティを提供しません。</p> <p>SNMPv2有効：アクセスにはパスワードが必要です。</p> <p>コミュニティを書込：書き込みコミュニティの名前を入力します。</p> <p>コミュニティを讀込：コミュニティの読み取りの名前を入力します</p>
SNMP v3	<p>SNMPv3を有効にします。暗号化を提供し、HTTPSプロトコルを有効にする必要があります。</p> <p>セキュリティ名を讀込：名前を入力します。</p> <p>セキュリティのレベル：使用可能なレベルは、(auth, priv)、(auth, no priv)、および (no auth, no priv) の3つです。</p> <p>セキュリティ名：WriteSecurityCommunityの名前を入力します。</p> <p>セキュリティレベル：使用可能なレベルは、(auth, priv)、(auth, no priv)、および (no auth, no priv) の3つです。</p>

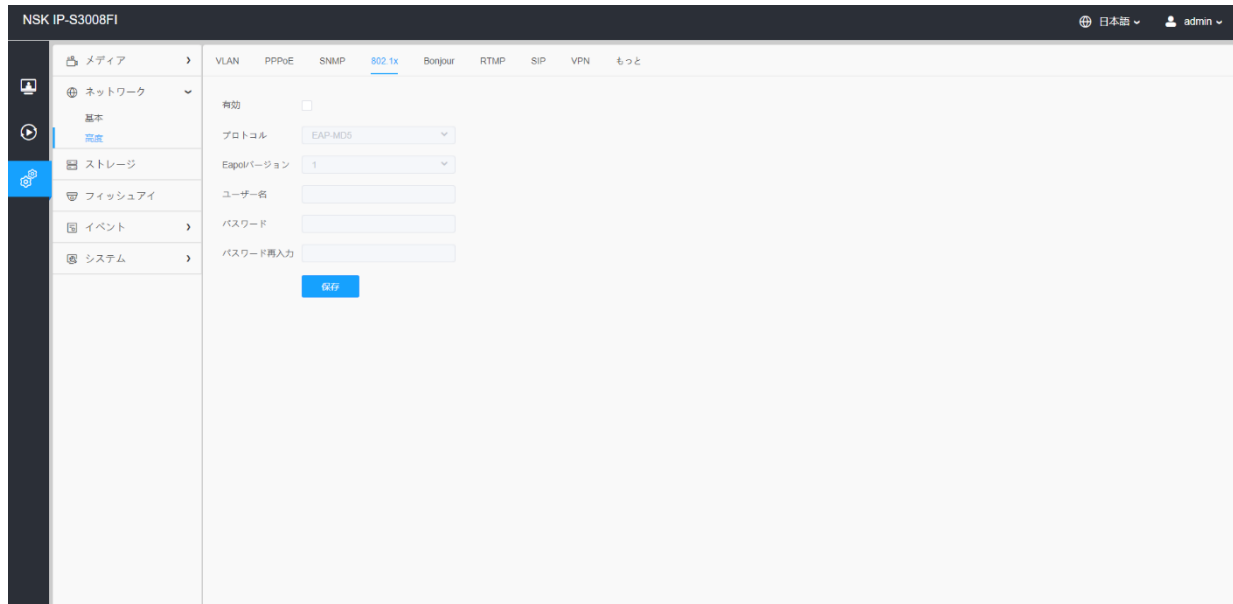
SNMPポート	SNMPのポート。デフォルトは161です。
---------	-----------------------

 **注意：**

- SNMPソフトウェアの設定は、ここで設定する設定と同じである必要があります。
- 設定を有効にするには、再起動が必要です。

8. 2. 2. 4 802. 1x

IEEE 802. 1X標準はネットワークカメラでサポートされており、この機能を有効にすると、カメラデータが保護され、IEEE802. 1Xで保護されているネットワークにカメラを接続するときにユーザー認証が必要になります。



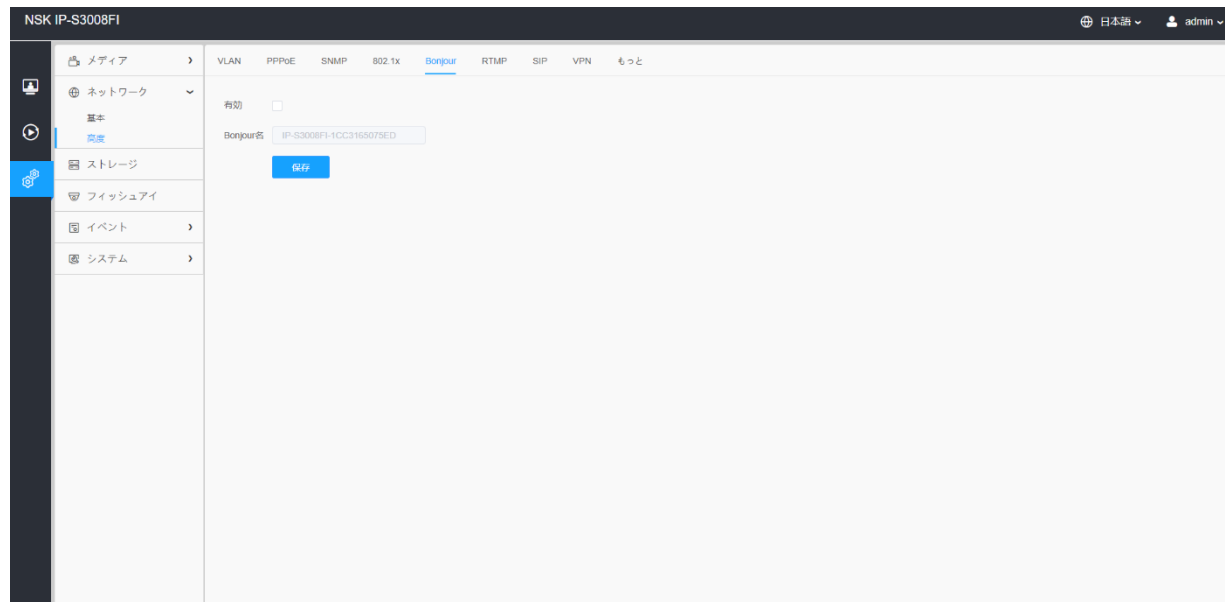
The screenshot shows the configuration page for 802.1x on the NSK IP-S3008FI device. The interface is in Japanese. The top navigation bar includes 'VLAN', 'PPPoE', 'SNMP', '802.1x', 'Bonjour', 'RTMP', 'SIP', 'VPN', and 'もっと'. The left sidebar has 'メディア', 'ネットワーク', 'ストレージ', 'フィッシュアイ', 'イベント', and 'システム'. The main configuration area for 802.1x includes:

- 有効:
- プロトコル: EAP-MD5
- Eapoliバージョン: 1
- ユーザー名:
- パスワード:
- パスワード再入力:
- 保存:

8.2.2.6 ボンジュール (Bonjour)

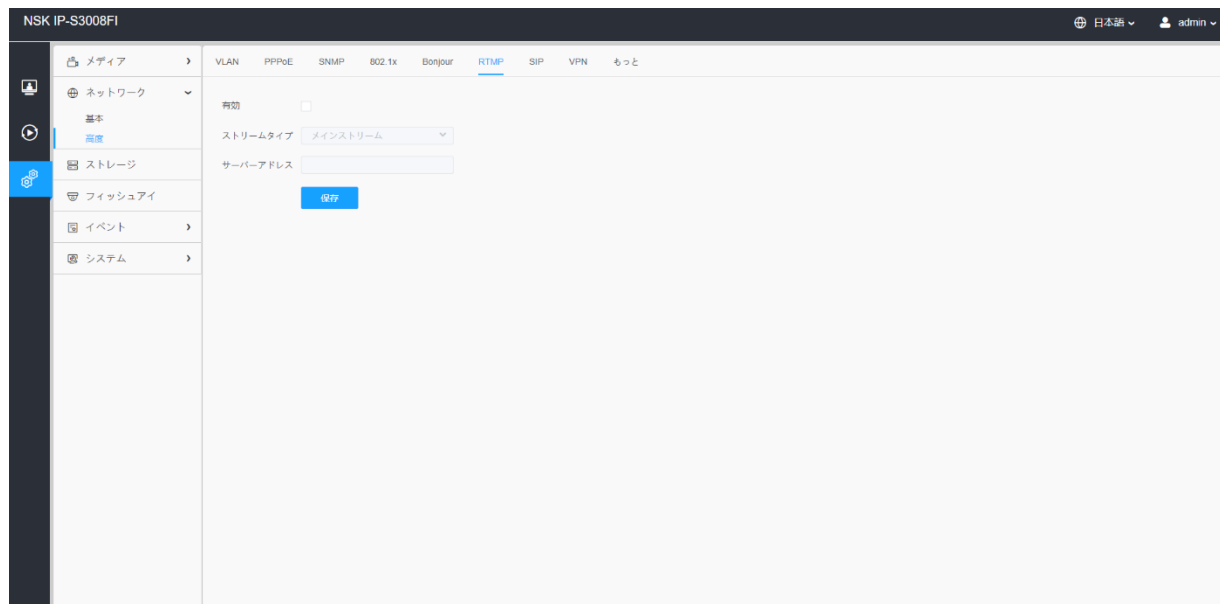
Bonjourは、AppleのマルチキャストDNSサービスに基づいています。Bonjourデバイスは、サービス情報を自動的にブロードキャストし、他のデバイスのサービス情報を聞くことができます。

カメラ情報がわからない場合は、同じLAN上のBonjourサービスを使用して、ネットワークカメラデバイスを検索し、デバイスにアクセスできます。



8.2.2.7 RTMP

リアルタイムメッセージングプロトコル（RTMP）は、当初、Flashプレーヤーとサーバー間で、インターネットを介してオーディオ、ビデオ、およびデータをストリーミングするための独自のプロトコルでした。RTMPはTCPベースのプロトコルであり、永続的な接続を維持し、低遅延の通信を可能にします。ライブ放送の機能を実現し、ネットワークがあればどこからでもカメラにログインできます。

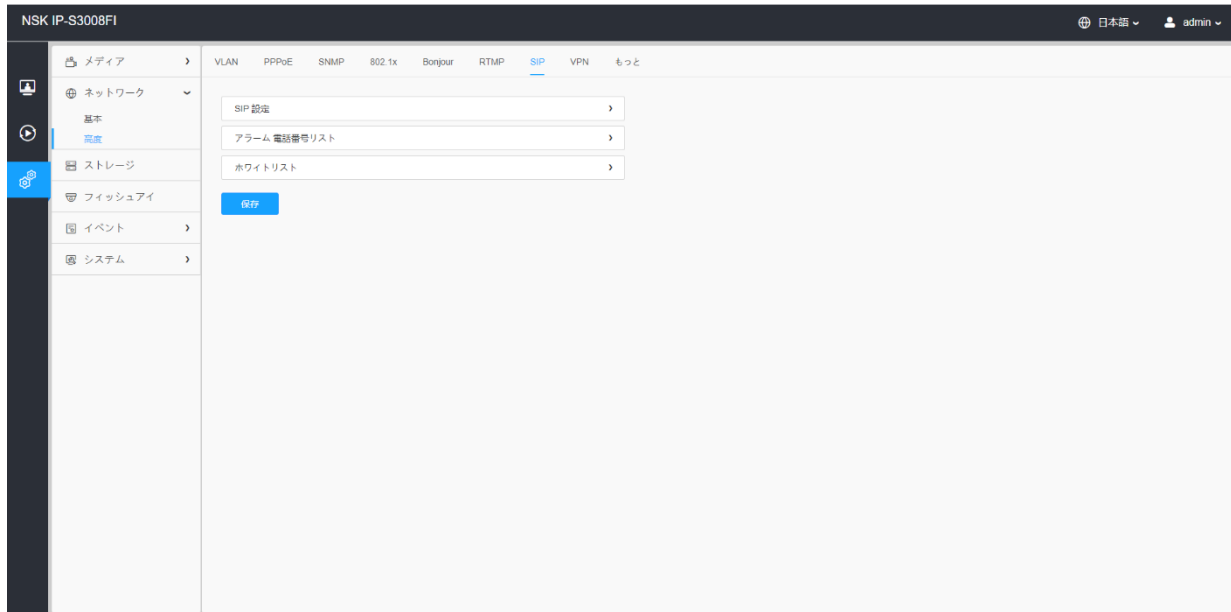


注意：

- RTMPの場合、G. 711はYouTubeで利用できないため、YouTubeではH. 264ビデオコーディングとAACオーディオコーディングを使用してネットワークカメラからのビデオのみを再生できます。
- ネットワークカメラRTMPインターフェースのサーバーアドレスは、`rtmp://<サーバーURL>/<ストリームキー>`の形式で入力する必要があります。<サーバーURL>と<ストリームキー>を接続するには、「/」が必要です。

8.2.2.8 SIP

セッション開始プロトコル（SIP）は、インターネットプロトコル（IP）ネットワークを介した音声通話やビデオ通話などのマルチメディア通信セッションを制御するために広く使用されているシグナリング通信プロトコルです。このページでは、ユーザーがSIP関連のパラメータを設定できます。ネットワークカメラは、アラームがトリガーされたときに呼び出すSIPエンドポイントとして設定できます。または、ビデオIP電話が使用されている場合は、許可された番号に電話をかけてビデオを確認できるようにします。



この機能を使用するには、SIPページの設定が正しく設定されている必要があります。SIPを介してビデオを取得する方法は2つあります。1つはIPアドレスを直接ダイヤルする方法で、もう1つはアカウント登録モードです。詳細は以下のとおりです。

ステップ1：IPダイレクトモード

ビデオを見ることができるよう、SIP電話を介してカメラのIPアドレスを直接ダイヤルします。

注意： SIP電話とカメラは同じネットワークセグメントにある必要があります。


ステップ2：アカウント登録モード

- ・SIPを使用する前に、SIPサーバーからカメラのアカウントを登録する必要があります。
- ・同じSIPサーバーからSIPデバイスの別のユーザーアカウントを登録します。
- ・SIPデバイスからカメラのユーザーIDを呼び出すと、SIPデバイスでビデオが取得されます。

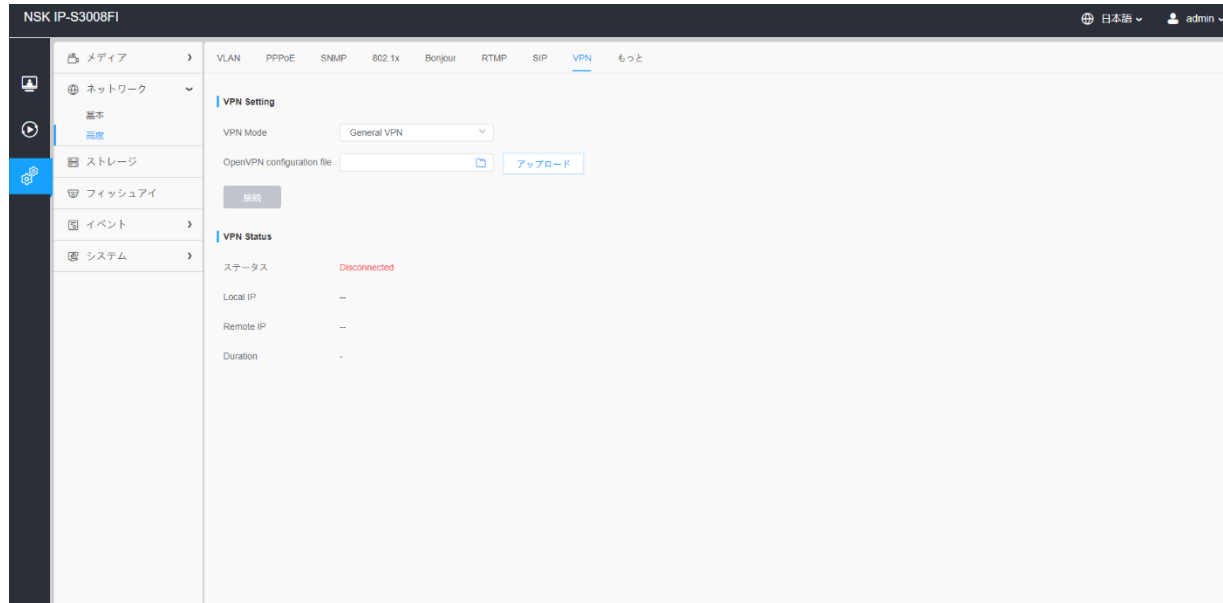
[SIP設定]

The screenshot shows the 'SIP 設定' (SIP Settings) page. The '有効' (Enabled) checkbox is checked. The '登録モード' (Registration Mode) is set to '有効' (Enabled). The 'ユーザーID' (User ID) is '500', 'ユーザー名' (Username) is 'sipclient', and 'パスワード' (Password) is masked. The 'サーバーアドレス' (Server Address) is '192.168.5.101' and 'Server Port' is '5060'. The '接続プロトコル' (Connection Protocol) is 'UDP' and 'ビデオストリーム' (Video Stream) is 'サブストリーム'. There are also fields for 'アラーム 電話番号リスト' (Alarm Phone Number List) and 'ホワイトリスト' (Whitelist), and a '保存' (Save) button.

表30. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
有効	SIPの使用を開始または停止します。  注意 ：SIPはダイレクトIPコールをサポートしています。
登録モード	有効モードまたは無効モードのどちらを使用するかを表示します。有効モードとは、登録アカウントでSIPを使用することを意味します。無効モードとは、登録アカウントなしでSIPを使用することを指し、IPアドレスを使用して呼び出すだけです。
ユーザーID	デフォルト sip client
ユーザー名	SIPアカウント名
パスワード	SIPアカウントのパスワード
サーバーアドレス	サーバのIPアドレス (デフォルト 192.168.5.101)
サーバポート	サーバポート(デフォルト 5060)
接続プロトコル	UDP/TCP(デフォルト UDP)
ビデオストリーム	ビデオストリームを表示します。

8.2.2.9 VPN



8.2.2.10 その他

ここでは、プッシュメッセージ設定やONVIF設定などのその他の機能を設定できます。

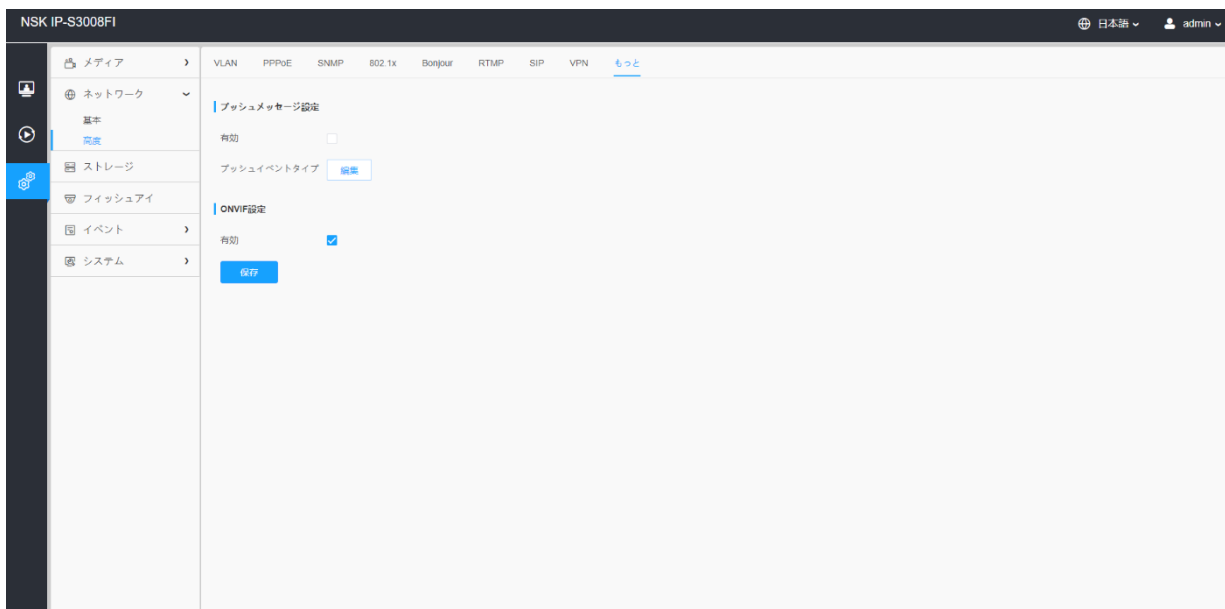


表33. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
<p>プッシュメッセージ設定</p>	<p>有効：プッシュメッセージ機能の有効化/無効化</p> <p>プッシュイベントタイプ:  を、イベントのメッセージのタイプを表示することができます。i-Sightアプリにプッシュされる「イベントの種類」を以下のように示します。</p> 
<p>ONVIF設定</p>	<p>ここでは、カメラのONVIF機能を有効にするか無効にするかを表示できます。カメラのONVIF機能が有効になっている場合は、ONVIFプロトコルを介してサードパーティのソフトウェアで検索、追加、接続できます。通常、ONVIF機能のデフォルトステータスは有効になっています。</p>

8.3 ストレージ

8.3.1 ストレージ管理

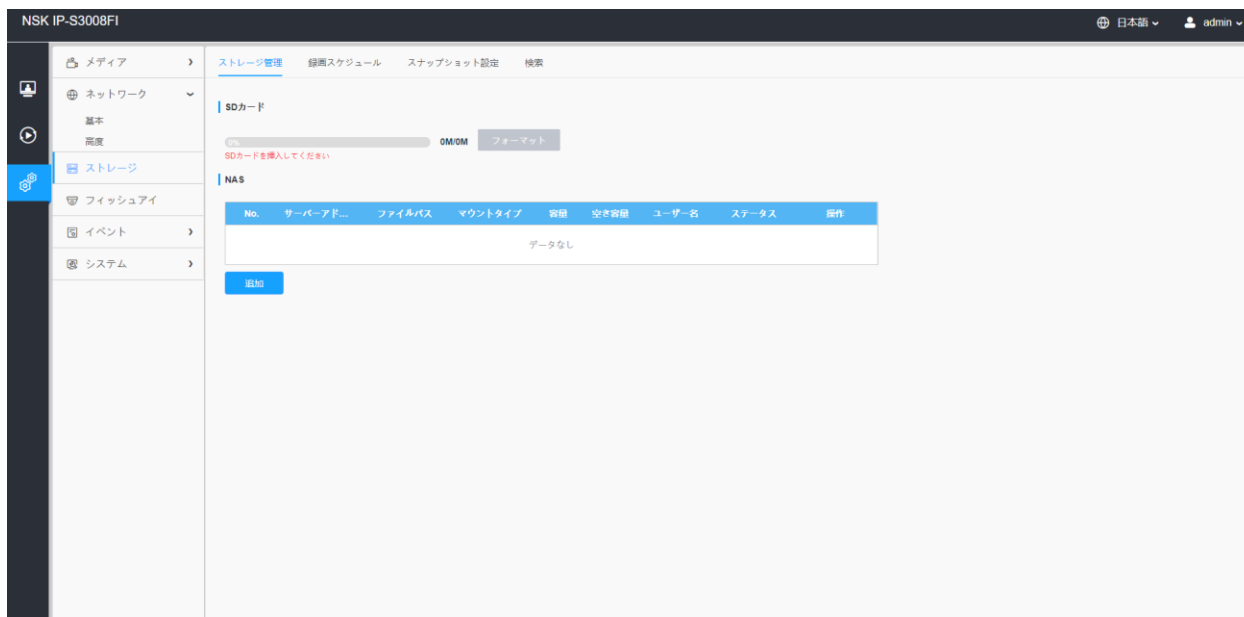



表34. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
SDカード	<p>フォーマット : SDカードをフォーマットすると、SDカード内のファイルが削除されます。</p> <p>マウント/アンマウント : SDカードのマウント/マウント解除。</p> <p>消去 : サイクリックストレージを有効にします。空きディスク容量が特定の値に達すると、設定に従って特定の割合でファイルが自動的に削除されます。</p>
NAS	<p>ネットワークディスクはネットワーク内で利用可能であり、録画されたファイルなどを保存するように適切に設定されている必要があります。</p> <p>NAS (Network-Attached Storage) は、ストレージデバイスを既存のネットワークに接続し、データおよびファイルサービスを提供します。</p> <div data-bbox="610 730 1390 1125" style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <div style="background-color: #007bff; color: white; padding: 5px; display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> 追加 × </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>サーバーアドレス* <input style="width: 150px;" type="text"/></p> <p>ファイルパス* <input style="width: 150px;" type="text"/></p> <p>マウントタイプ <input style="width: 100px;" type="text" value="NFS"/></p> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px; margin-top: 10px;"> 保存 キャンセル </div> </div> <p>サーバーアドレス : NASサーバーのIPアドレス。</p> <p>ディレクトリ : NASディレクトリを入力します (例 : 「\path」)。</p> <p>マウントタイプ : NFSとSMB/CIFSが利用可能です。また、SMB/CIFSが表示されている場合は、セキュリティを保証するためにユーザー名とパスワードを設定できます。</p> <p> 注意 :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 最大5台のNASディスクをカメラに接続できます。

8.3.2 録画スケジュール

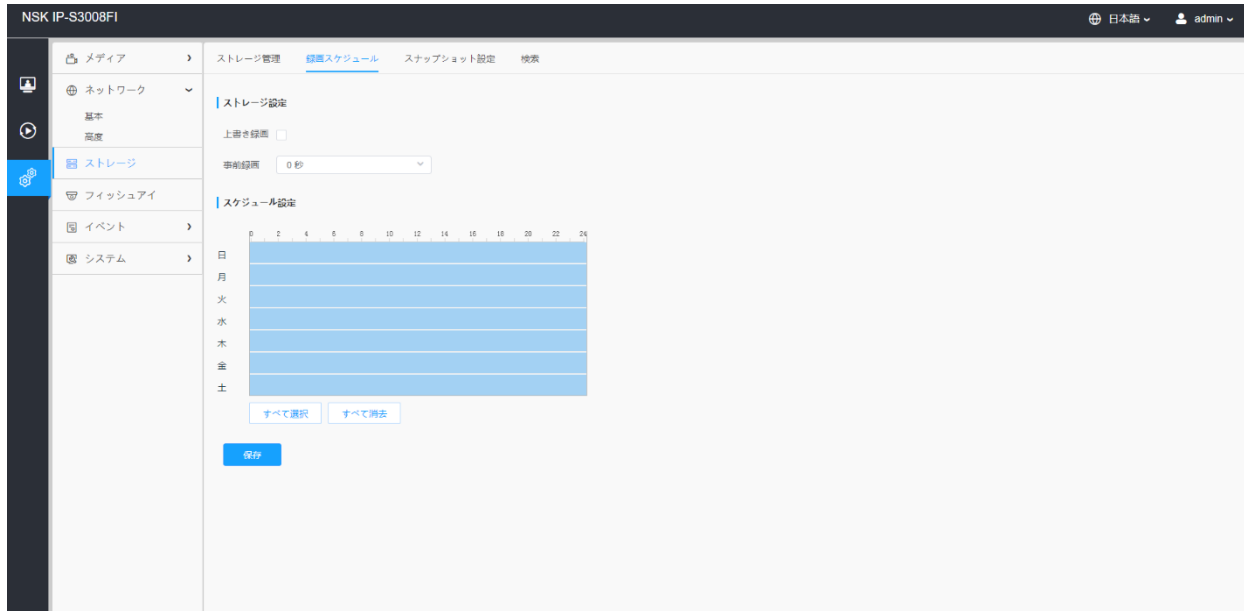



表35. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
上書き録画	上書き録画を有効/無効にします。このオプションを有効にすると、空きディスク容量が特定の値に達したときにファイルが削除されます。
事前録画	アラーム前の録画時間、0~10秒を予約します。
スケジュール設定	<p>必要に応じてレコードスケジュールを編集します。タイムバーを直接描画することによる直感的なスケジューリングが行えます。</p>

スケジュール設定	にコピーしま す... <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="button" value="保存"/>	スケジュールエリアを別の日付にコピーします。
	すべて選択	すべてのスケジュールを表示します。
	すべて消去	すべてのスケジュールをクリアします。
保存	設定を保存します。	

 **注意**：SDカードまたはNASが利用可能です。

8.3.3 スナップショット設定

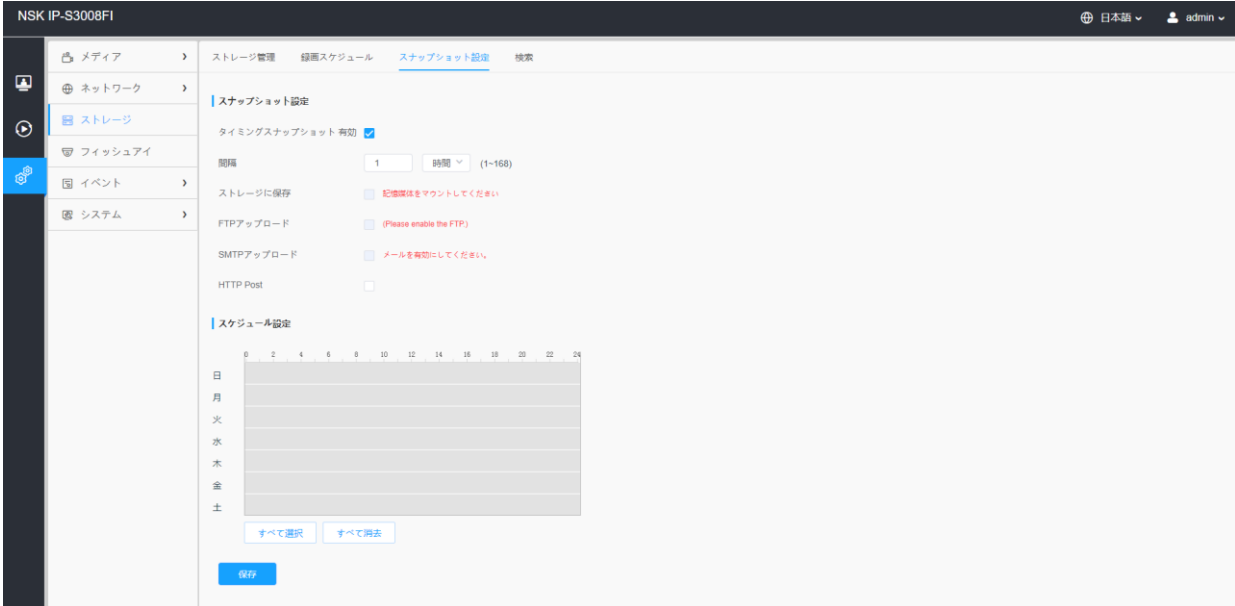
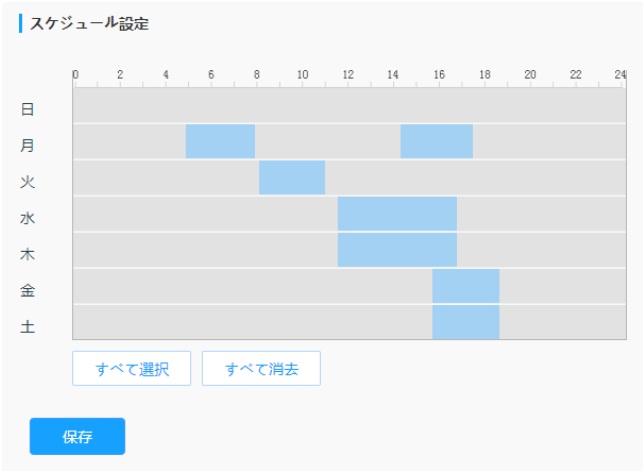


表36. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介	
<p>スナップショット設定</p>	<p>タイミングスナップショットを有効にする : チェックボックスをオンにして、タイミングスナップショット機能を有効にします</p> <p>間隔 : スナップショットの間隔を設定し、数値を入力して、単位（ミリ秒、秒、分、時間、日）を表示します。</p> <p>ストレージに保存 : スナップショットをSDカードまたはNASに保存し、ファイル名を表示して時間サフィックスを追加するか、ベースファイル名を上書きします。</p> <p>NASに保存 : スナップショットをNASに保存し、ファイル名を表示して時間サフィックスを追加するか、ベースファイル名を上書きします。</p> <p>FTPアップロード : FTP経由でスナップショットをアップロードします。</p> <p>メールでアップロード : メールでスナップショットをアップロードします。</p> <p>注意 : 時間サフィックスを追加することを表示した場合、すべてのスナップショット画像が保存されますが、ベースファイル名を上書きすることを表示した場合、最新の画像が1つだけ保存されます。ベースファイル名をSDカードまたはNASに追加上書きを表示すると、スナップショットを配置するための「スナップショット」という名前のファイルが作成されます。</p> <p>HTTPPOST : HTTP Postを介してスナップショットをアップロードします。指定されたHTTPURLへのスナップショットのアップロードをサポートします。</p>	
<p>スケジュール設定</p>	<p>必要に応じてレコードスケジュールを編集します。タイムバーを直接描画することによる直感的なスケジューリングが行えます。</p> 	<p>にコピーします... <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="button" value="保存"/></p> <p>スケジュールエリアを別の日付にコピーします。</p>
<p>すべて選択</p>	<p>すべてのスケジュールを表示します。</p>	

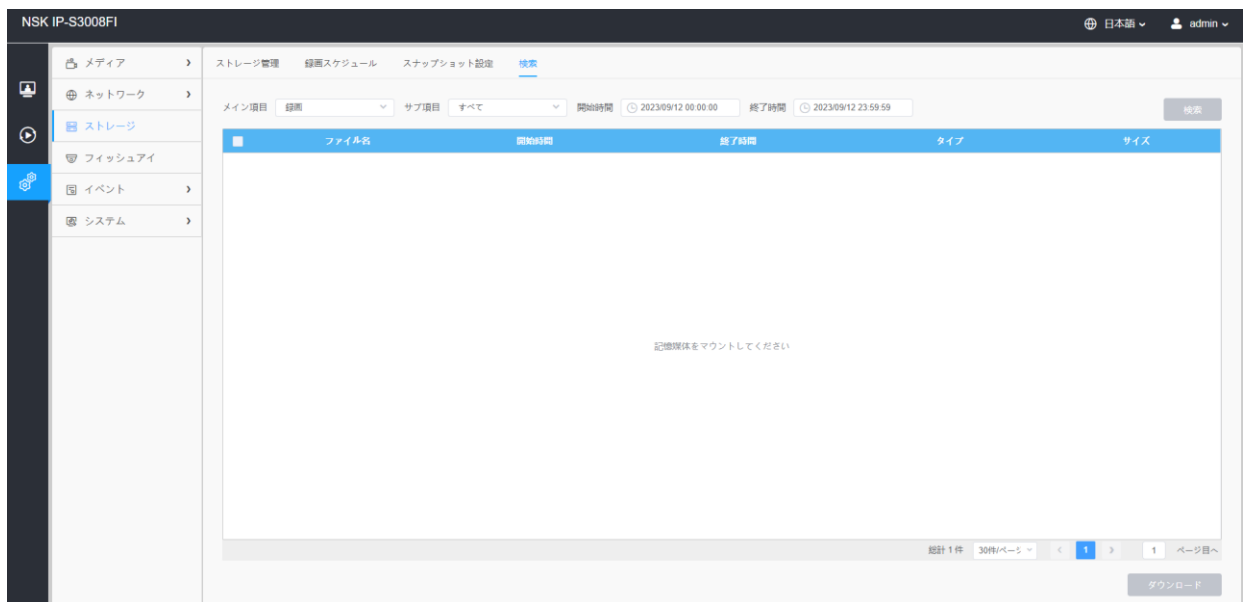
	すべて消去	すべてのスケジュールを消去します
--	-------	------------------

8.3.4 検索

SDカードまたはNASに保存するように設定されている場合、ファイルはこのページに表示されます。ビデオを録画するためのタイムスケジュールを設定し、ビデオファイルを目的の場所に保存できます。

注意： SDカードを挿入するとファイルが表示されます。電源投入時にSDカードを抜き差ししないでください

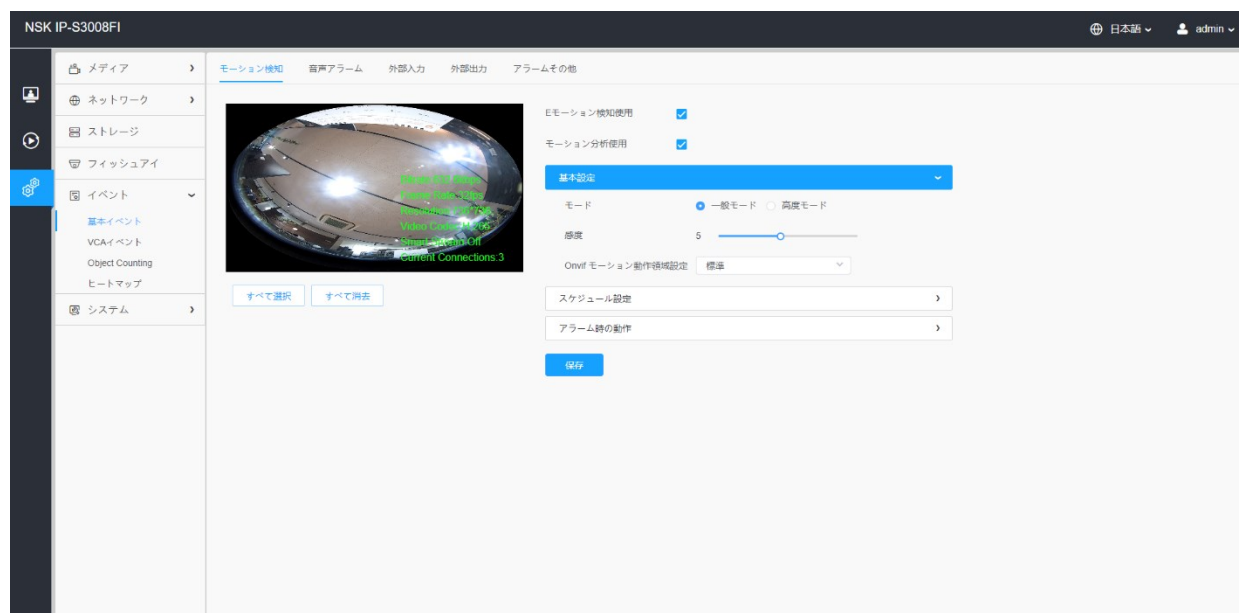
ビデオファイルは日付順に並べられています。ファイルの種類と開始/終了時間を設定してファイルを検索します。ここから、ファイルのコピーや削除などを行うことができます。FTPでSDカード内のファイルにアクセスできます。たとえば、ftp://username:password@192.168.5.190（ユーザー名とパスワードはカメラアカウントと同じで、従うIPはデバイスのIPです。）



8.4 イベント

8.4.1 基本イベント

8.4.1.1 モーション検知



設定手順を以下に示します。


ステップ1：チェックボックスをオンにすると、モーション検知機能が有効になります。

ステップ2：モーション解析を行う場合は、チェックボックスにチェックを入れます。

ステップ3：検出モードを表示します。

ステップ4：モーションエリアを設定する。

表37. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
検出を有効にする	チェックボックスをオンにして、モーション検知機能を有効にします。
モーション解析の有効化	<p>モーション解析を有効にすると、動いているエリアが黄色く表示され、どこに動きがあったかを正確に把握することができます。</p> <p>注意： ライブビューでHTTPを表示した場合のみ対応。</p> 
すべて選択	ボタンをクリックすると、そのエリアの動きが検出されます。
すべて消去	ボタンをクリックすると、それまで描かれていたエリアが削除されます。

[基本設定]

Eモーション検知使用

モーション分析使用

基本設定 ▾

モード 一般モード 高度モード

感度 5

Onvif モーション動作領域設定 標準 ▾

スケジュール設定 >

アラーム時の動作 >

保存

表38. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
検出モード	オプションで一般モードと高度モードが表示可能です。高度モードを表示した場合、ユーザーは最大4つの検出エリアと各検出エリアに対する感度を設定することができます。
感度	感度レベル、1~10
Onvif モーション動作領域設定	オプションには、標準と適合があります。サードパーティ製ソフトウェアの動作エリアの設定が当社と異なる場合は、このオプションを適合に設定してください。

[スケジュール設定]

ステップ5: モーション検知のスケジュールを設定する。

表39. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
<p>にコピーします...^X</p> <p><input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土</p> <p>保存</p>	スケジュールエリアを別の日付にコピーする。
すべて選択	すべてのスケジュールを表示します。
すべて消去	すべてのスケジュールを消去します。

[アラーム時の動作]

ステップ6：アラームアクションを設定します。

Eモーション検知使用
 モーション分析使用
 基本設定 >
 スケジュール設定 >
アラーム時の動作 ▾
 録画 >
 スナップショット >
 外部出力 >
 音声再生 (音声スピーカーを有効にしてください)
 SIPフォンにアラーム (SIPを開いてください)
 HTTP通知 >
 保存

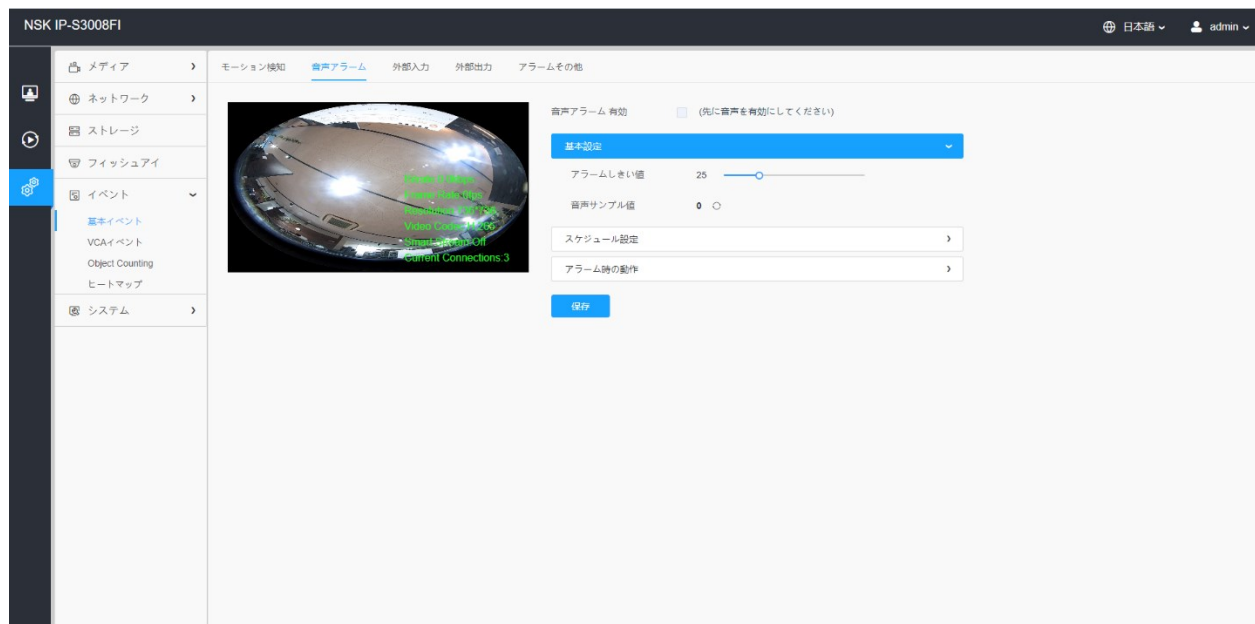
表40. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
録画	<p>時間設定: アラームの継続時間を表示しました。5秒/10秒/15秒/20秒/25秒/30秒が表示可能です。</p> <p>リンク: アラーム録画ファイルをSDカードやNASに保存したり、FTPで録画ファイルをアップロードすることができます。</p>
スナップショット	<p>Number: スナップショットの数、1~5が利用可能です。</p> <p>間隔: Snapshotに1以上の場合、編集することができます。</p> <p>リンク: SDカードやNASにアラーム録画ファイルを保存し、FTPで録画ファイルをアップロードし、アラームメールを送信します。</p>
外部出力	<p>カメラに外部出力が装備されている場合、トリガ期間を設定した後にアクションを有効にすることができます。</p>
音声再生	<p>オート/10秒/30秒/1分/5分/10分が表示可能です。</p> <p>注意: オーディオスピーカーを有効にしてください。</p>
SIPフォンへのアラーム	<p>SIP機能を有効にした後、SIP電話を呼び出すことをサポートします。</p>
HTTP通知	<p>指定したHTTP URLにアラームニュースをポップアップする機能をサポート。</p> <p>注意:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 同じイベントには最大で3つのHTTP通知を追加することができます。 • HTTP NotificationはBasic認証とDigest認証に対応しています。

8.4.1.2 音声アラーム

音声アラーム機能を有効にする場合は、チェックボックスにチェックを入れます。

注意：音声アラーム機能を使用する前に、音声マイクを有効にしてください。



[基本設定]

表41. ボタンの説明

パラメーター	機能紹介
アラームしきい値	音声アラームは、0～100のしきい値に達したときに発生します。
音声サンプル値	音声サンプルの現在値。

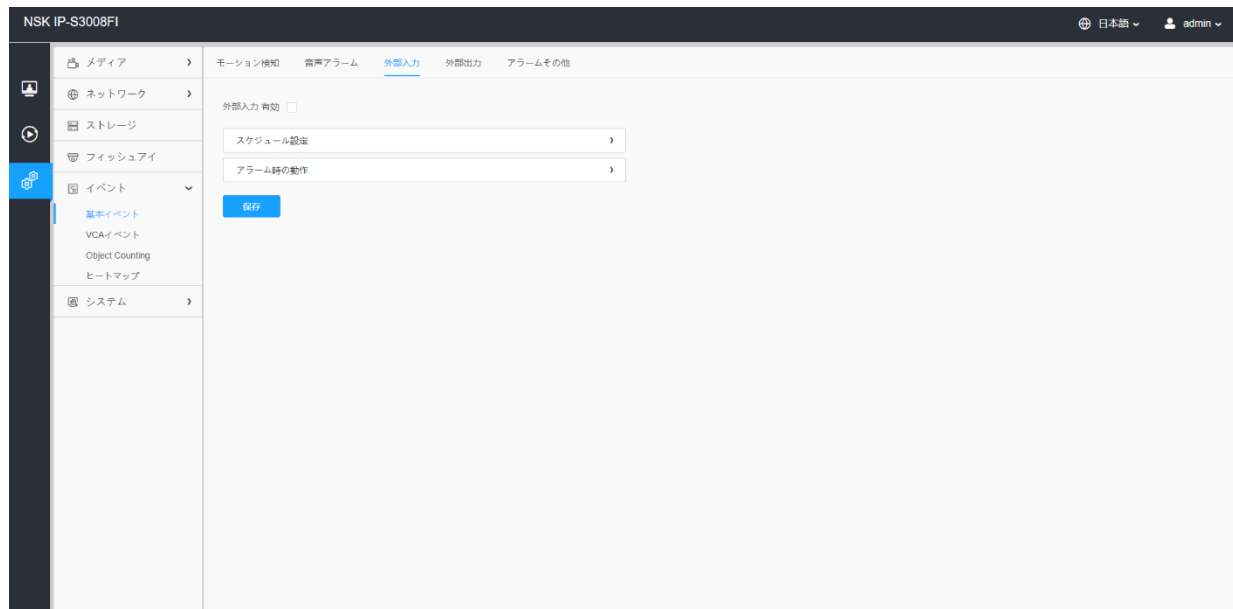
[スケジュール設定]

項目の詳細については、P. 78（表39）をご参照ください。

[アラームアクション]

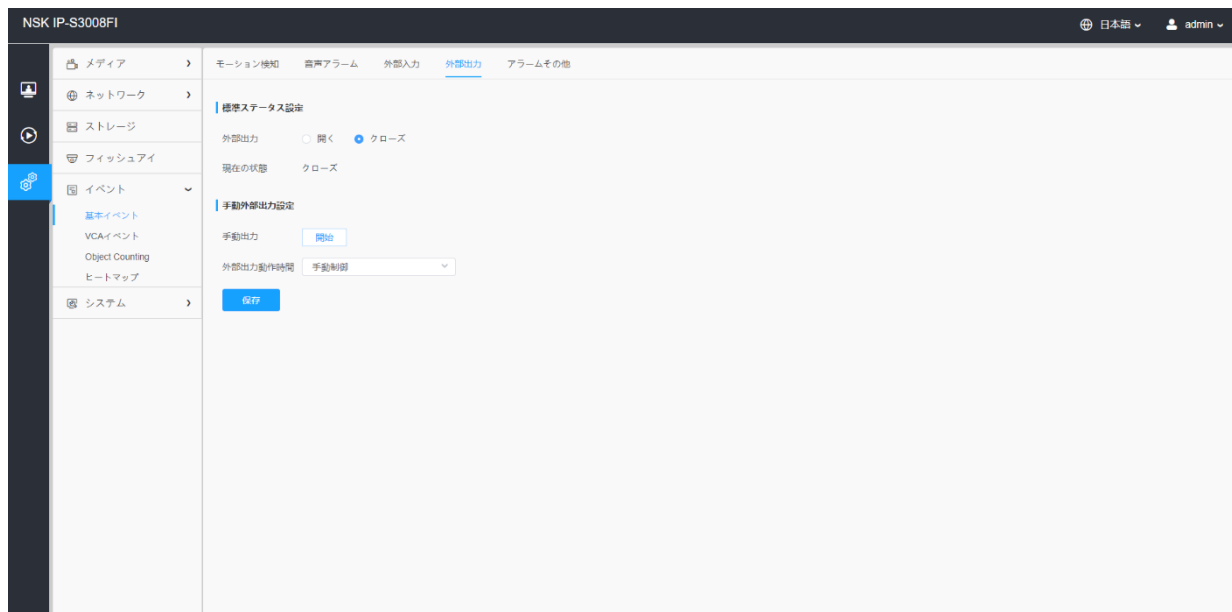
項目の詳細については、P. 79（表40）をご参照ください。

8.4.1.3 外部入力



項目の詳細については、P. 78～P. 79（表39・40）をご参照ください。

8.4.1.4 外部出力



[標準ステータス設定]

現在の状態が正常な状態と異なる場合、アラームが発生します。

[手動外部出力設定]

手動外部出力を設定することができます。

表 47. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
手動出力	クリックすると、手動外部出力の開始/停止ができます。
外部出力動作時間	マニュアルコントロール/カスタマイズ/10秒/1分/5分/10分も可能です。

8.4.1.5 アラームその他

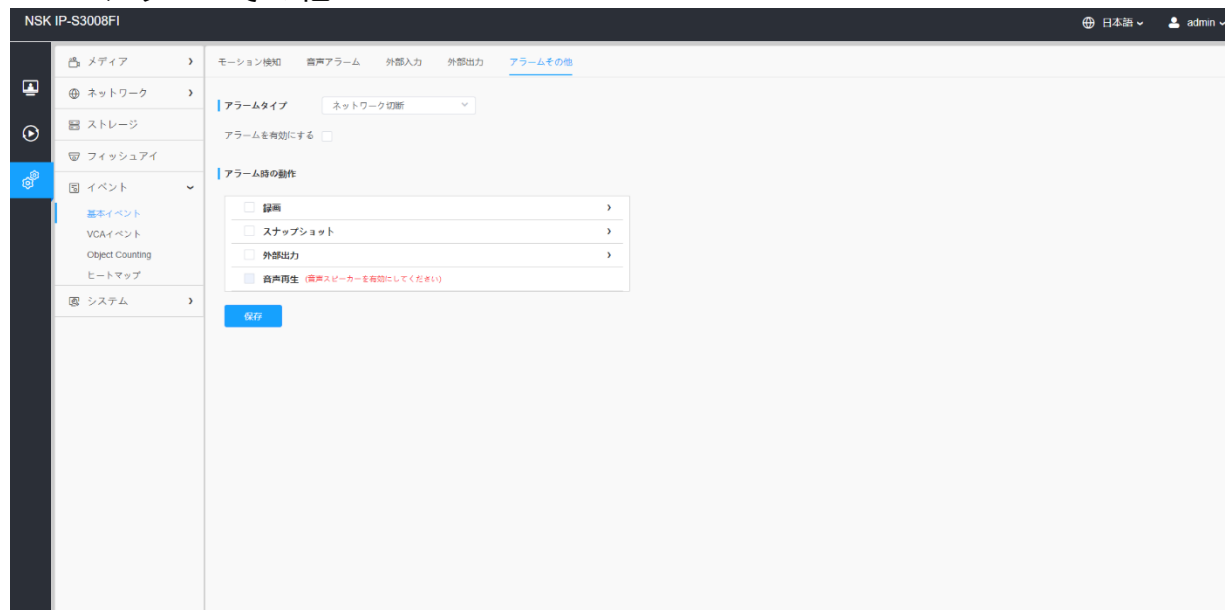


表43. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
アラームタイプ	ネットワーク切断、IPアドレス競合、記録に失敗しました、SDカードがいっぱい、SDカードが初期化されていません、SDカードエラー、SDカードがありませんが利用可能です。 表示したアラームの種類を有効にするチェックボックスをオンにする
アラームアクション	項目の意味については、P. 79 (表40) をご参照ください。

8.4.2 VCAイベント

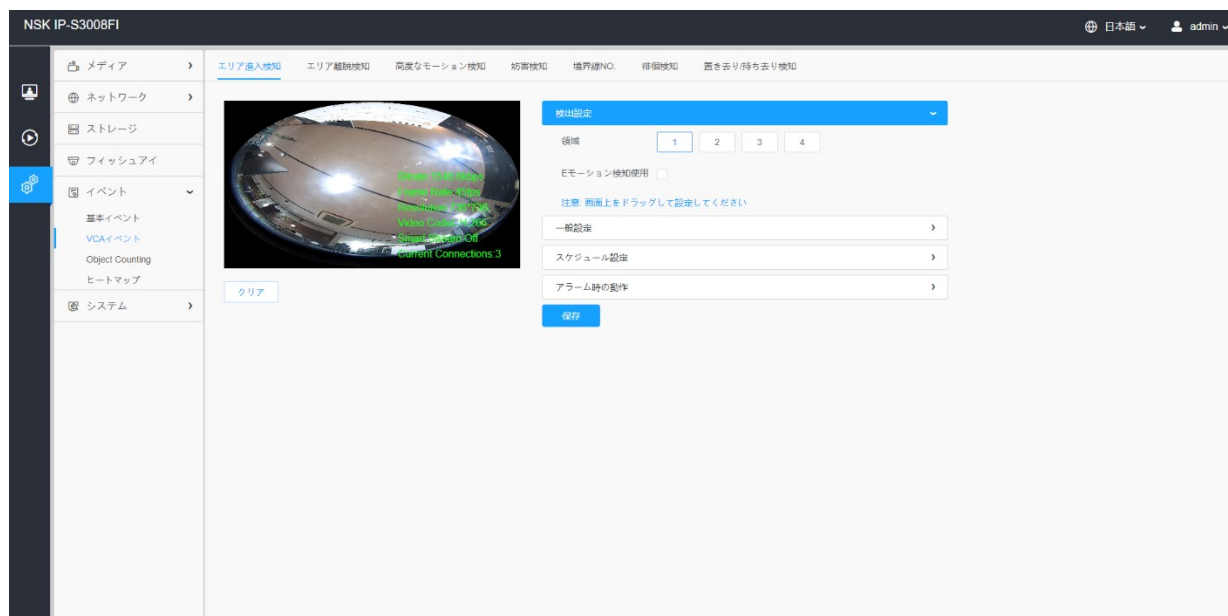
スマートイベントは、ネットワークカメラに高度で正確なスマートビデオ分析を提供するVCA（ビデオコンテンツ分析）テクノロジーを使用しています。AIチップを搭載した新世代のビデオ分析は、人間、車両、およびオブジェクトのパターン認識モデルの膨大な属性を認識することができます。車両および人間に関連するイベントはセキュリティ監視において非常に重要であるため、効率をより最適化するためにフィルタリングがサポートされています。

注意：

- フィッシュアイカメラのスマートイベントは、バンドルストリームモードの10モードと、マルチチャンネルモードの10、103R、101P3Rモードでのみサポートされます。

8.4.2.1 エリア進入検知

進入検知は、不審者や物体の侵入による潜在的な脅威から特定のエリアを保護するのに役立ちます。進入検知を有効にすると、表示したエリアに物体が侵入した際にアラームが作動します。



設定手順は次のとおりです。

[検出設定]

注意：一般設定は、すべての検出エリア/ラインに適用されます

ステップ1：検出エリアを表示します。

ステップ2：Eモーション検知使用を有効にします。

検出設定

領域 1 2 3 4

Eモーション検知使用

注意: 画面上をドラッグして設定してください

一般設定

スケジュール設定

アラーム時の動作

保存

[一般設定]

ステップ3：検出感度とオブジェクトサイズ制限を設定します。

検出設定

一般設定

感度 5

オブジェクトサイズの制限

編集

● 最小サイズ 3 * 3 Pixels (1*1~320*240)

○ 最大サイズ 320 * 240 Pixels (1*1~320*240)

注意: 画面上をドラッグして設定してください

スケジュール設定

アラーム時の動作

保存

表44. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
感度	レベル1~10があり、デフォルトは5です。感度が高いほど、動きのある被写体が結果に録画されやすくなります。
最小サイズ	検出されるオブジェクトの最小サイズを設定するために、画面を描画するか、ピクセル番号を入力します。オブジェクトがこのサイズより小さい場合、検出されません。デフォルトの最小サイズは3*3です。
最大サイズ	画面描画または入力画素数で、検出される物体の最大サイズを設定します。このサイズより大きいオブジェクトは検出されません。デフォルトの最大サイズは320*240です。

[スケジュール設定]

ステップ4：検出スケジュールを設定します。

表45. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
	<p>スケジュールエリアを別の日付にコピーする。</p>
すべて選択	すべてのスケジュールを表示します。
すべて消去	すべてのスケジュールを消去します。

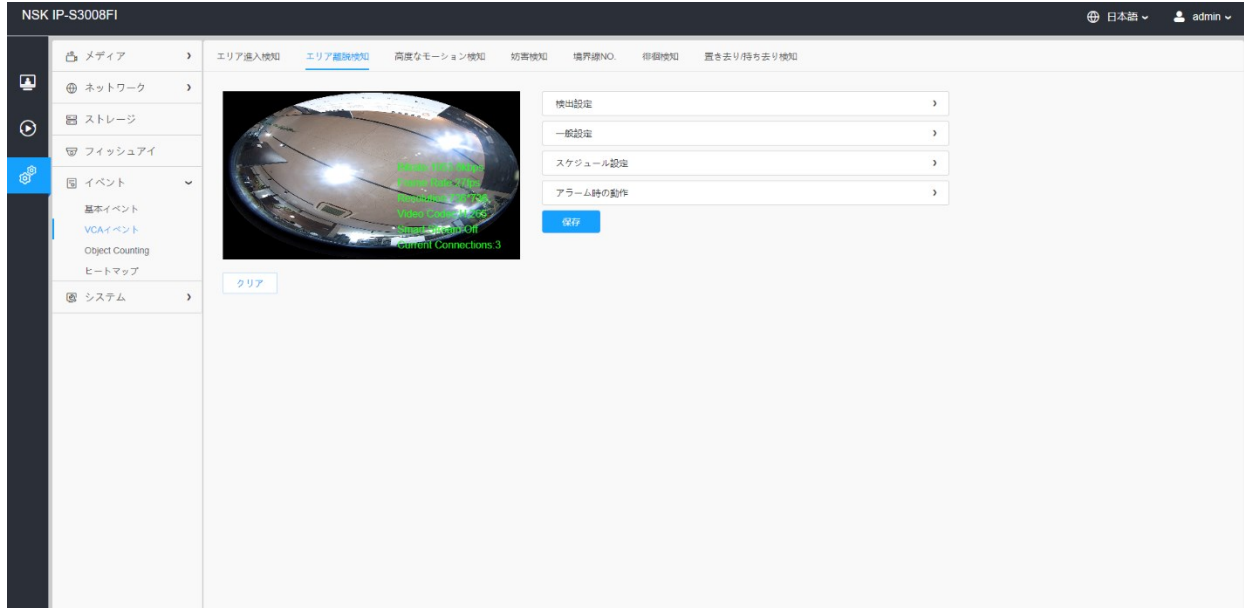
[アラーム時の動作]

ステップ5：アラームの動作を設定します。

項目の詳細については、P. 79（表40）をご参照ください

8.4.2.2 エリア離脱検知

エリア離脱検知とは、監視エリアから人や物が出ないようにすることです。人や物が外に出ると、アラームが鳴ります。



設定手順は次のとおりです。

〔検出設定〕

注意：一般設定は、すべての検出エリア/ラインに適用されます

ステップ1：検出エリアを表示します。

ステップ2：Eモーション検知使用を有効にします。



[一般設定]

ステップ3：検出感度とオブジェクトサイズの制限を設定します。

項目の詳細についてはP. 84（表44）をご参照ください。

【スケジュール設定】

ステップ4：検出スケジュールを設定します。

項目の詳細についてはP. 78（表39）をご参照ください

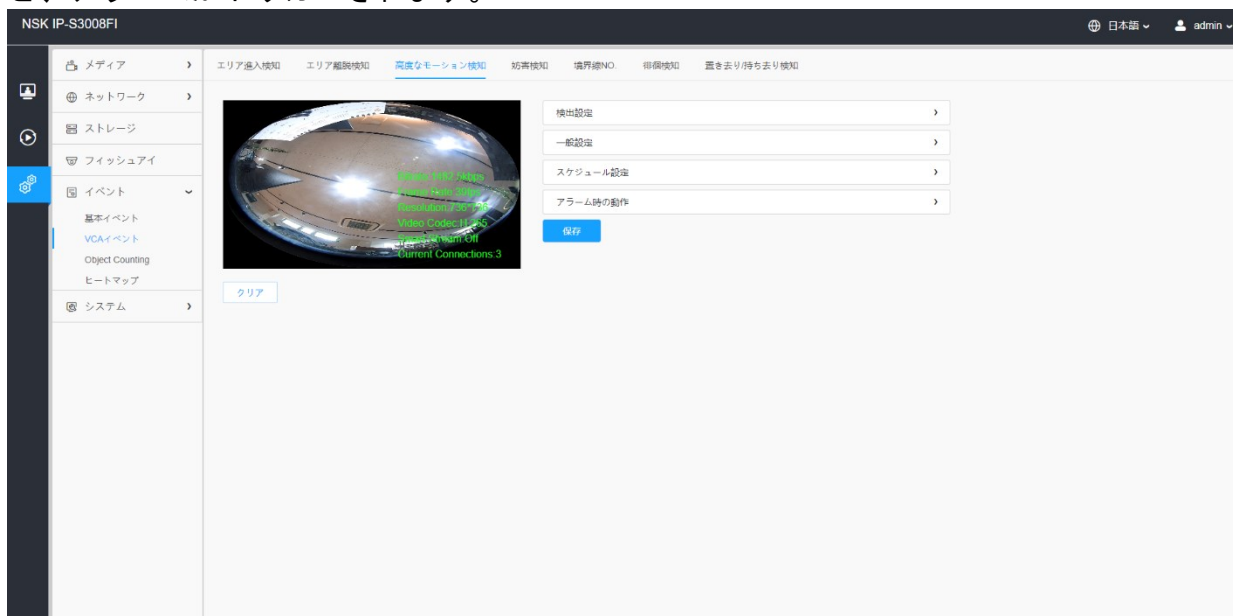
[アラーム時の動作]

ステップ5：アラームアクションを設定します。

項目の詳細についてはP. 79（表40）をご参照ください

8.4.2.3 高度なモーション検出

従来のモーション検知とは異なり、高度なモーション検知では、照明の変化や自然な木の動きなどの「ノイズ」を除去できます。オブジェクトが表示したエリアを移動すると、アラームがトリガーされます。



設定手順は次のとおりです。

ステップ1：検出エリアを表示します。

ステップ2：Eモーション検知使用を有効にします。

検出設定

領域 1 2 3 4

Eモーション検知使用

注意: 画面上をドラッグして設定してください

一般設定 >

スケジュール設定 >

アラーム時の動作 >

保存

[一般設定]

ステップ3：「短時間モーションを無視する」時間を設定します。この時間を設定すると、物体の移動時間が設定時間内であれば、アラームは作動しません。

ステップ4：検出感度と対象物のサイズ制限を設定します。

検出設定 >

一般設定

短時間のモーションを無視する OFF

感度 8

オブジェクトサイズの制限

編集

最小サイズ 3 * 3 Pixels (1*1~320*240)

最大サイズ 320 * 240 Pixels (1*1~320*240)

注意: 画面上をドラッグして設定してください

スケジュール設定 >

アラーム時の動作 >

保存

表48. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
短時間モーションを無視する	<p>物体の移動時間が設定時間内であれば、アラームは作動しません。オフ/1s/2s/3s/4s/5sが表示可能です。</p> <p>注意：短時間モーションを無視することは、設定時間内に瞬時に物体が動くことによる誤報を避けるためのものです。</p>
感度	<p>レベル1~10があり、デフォルトは5です。感度が高いほど、動きのある被写体が結果に録画されやすくなります。</p> <p>注意：感度は、さまざまな要件に応じて、さまざまな動きを検出するように設定することができます。感度のレベルが低い場合、わずかな動きではアラームをトリガーしません。</p>
最小サイズ	<p>検出されるオブジェクトの最小サイズを設定するために、画面を描画するか、ピクセル番号を入力します。オブジェクトがこのサイズより小さい場合、検出されません。デフォルトの最小サイズは3*3です。</p>
最大サイズ	<p>画面描画または入力画素数で、検出される物体の最大サイズを設定します。このサイズより大きいオブジェクトは検出されません。デフォルトの最大サイズは320*240です。</p>

[スケジュール設定]

ステップ5：検出スケジュールを設定する。

項目の詳細についてはP. 79（表40）をご参照ください

[アラーム時の動作]

ステップ6：アラームアクションを設定します。

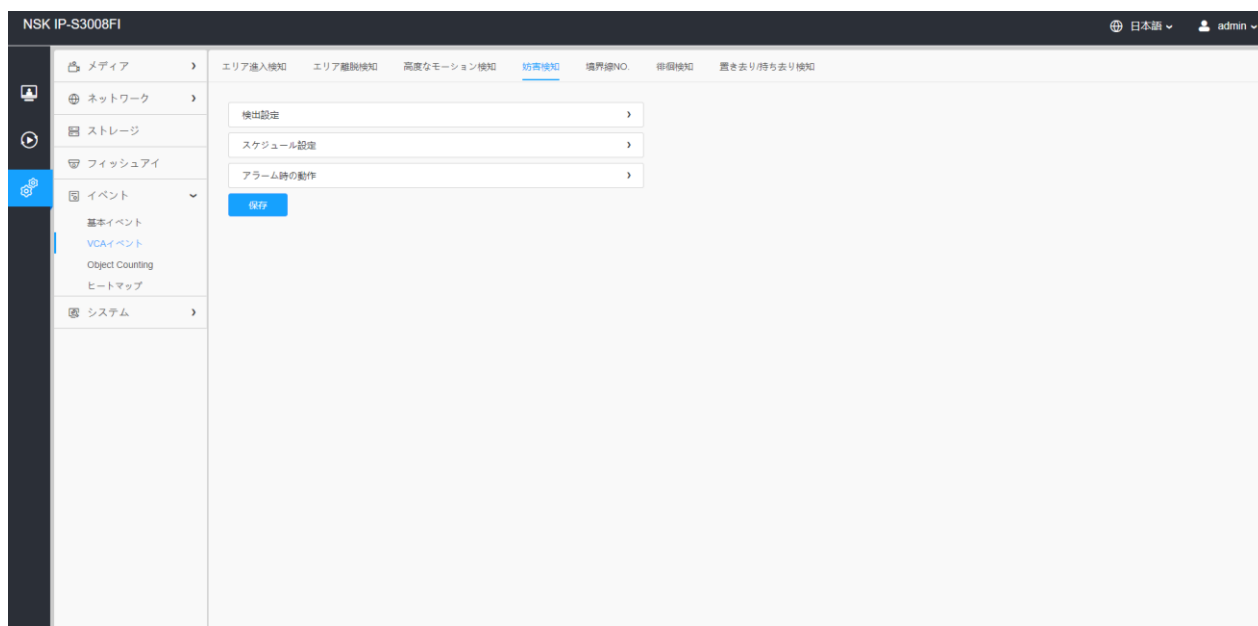
注意：

項目の詳細についてはP. 79（表40）をご参照ください。

- ・外部出力を有効にし、外部出力動作時間一定を表示すると、物体の動作時間が表示エリアで設定した短時間モーション無視より長い場合、外部出力動作アラーム時間はアラームが解除されるまで常に一定に保たれます。

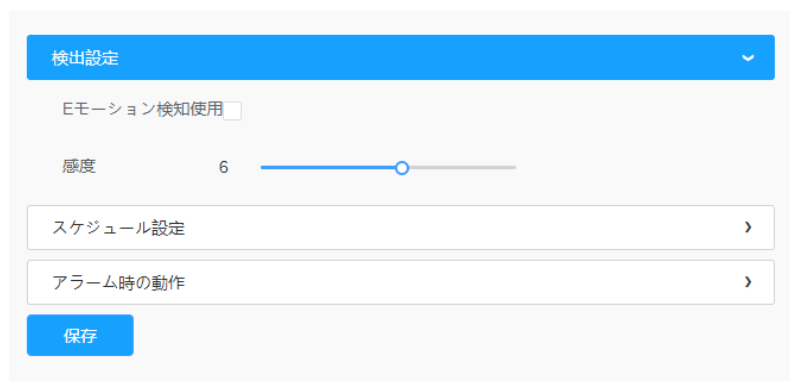
8.4.2.4 妨害検知

妨害検知は、カメラのピントが合っていない、障害物がある、動いているなど、妨害の可能性を検知するために使用されます。この機能は、上記のようなアクションが発生した場合、セキュリティスタッフに即座に警告を発します。



設定手順は次のとおりです。

ステップ1：妨害検知を有効にし、検出感度を設定します。



[スケジュール設定]

ステップ2：検出スケジュールを設定します。

項目の詳細についてはP. 78（表39）をご参照ください。

[アラームアクション]

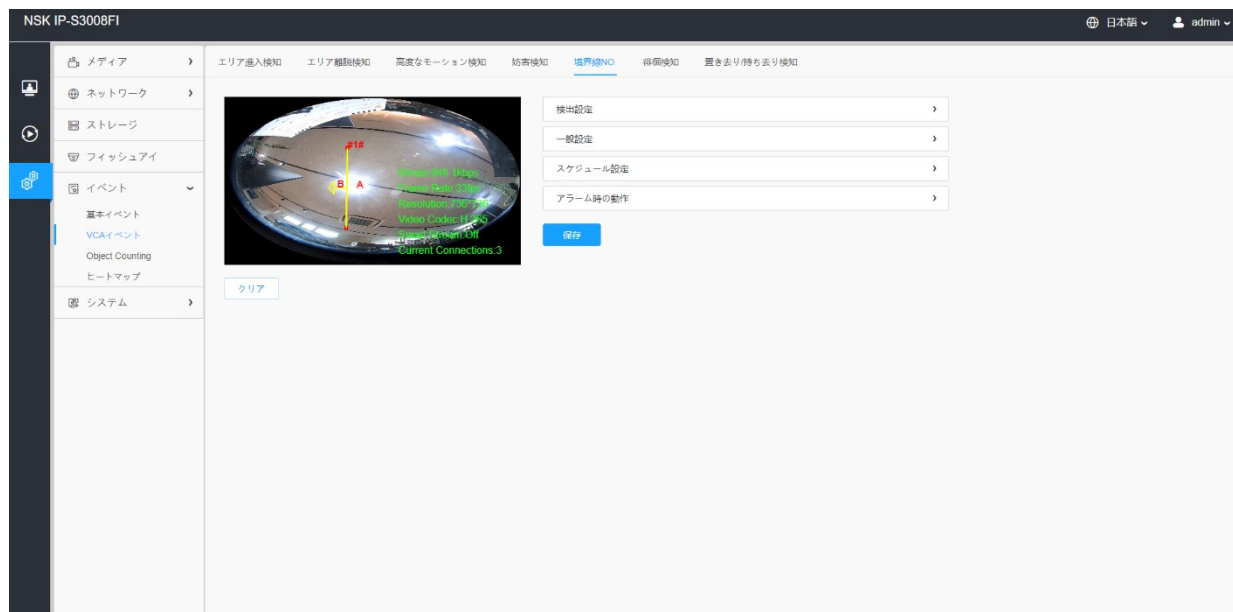
ステップ3：アラームアクションを設定します。

注意：

- ・この部分は、通常のアラーム設定と同じです。表3（89ページ）をご参照ください。
- ・外部出力を有効にし、外部出力動作時間一定を表示すると、妨害がある場合、外部出力動作のアラームはアラームが解除されるまで常に一定になります。
- ・また、妨害検知機能では、デフォーカス検出をサポートしています。

8.4.2.5 境界線NO.

ラインクロス検出は、ほとんどの屋内および屋外環境で動作するように設計されています。カメラが定義された仮想線を横切る物体を検出すると、毎回イベントがトリガーされます。



設定手順は次のとおりです。

[検出設定]

ステップ1: 検出ラインを表示します。

ステップ2: ラインクロス検出を有効にし、その方向を定義します。

検出設定

線 1 2 3 4

Eモーション検知使用

方向 A<->B

注意: 画面上をドラッグして設定してください

一般設定 >

スケジュール設定 >

アラーム時の動作 >

保存

注意:

- 一度に最大4行まで設定できます。アラームをトリガーするために表示する3つの方向モードがあります。「A→B」とは、「A」側から「B」側に線を横切る物体がある場合に警報を発することを意味します。「B→A」またはその逆。「A↔B」は、オブジェクトがいずれかの側から交差したときにアラームがトリガーされることを意味します。

[一般設定]

ステップ3: 検出感度とオブジェクトサイズの制限を設定します。

項目の詳細についてはP. 84 (表44)をご参照ください。

[スケジュール設定]

ステップ4: 検出スケジュールを設定する。

項目の詳細についてはP. 85 (表45) ご参照ください。

[アラーム時の動作]

ステップ5: アラームの動作を設定します。

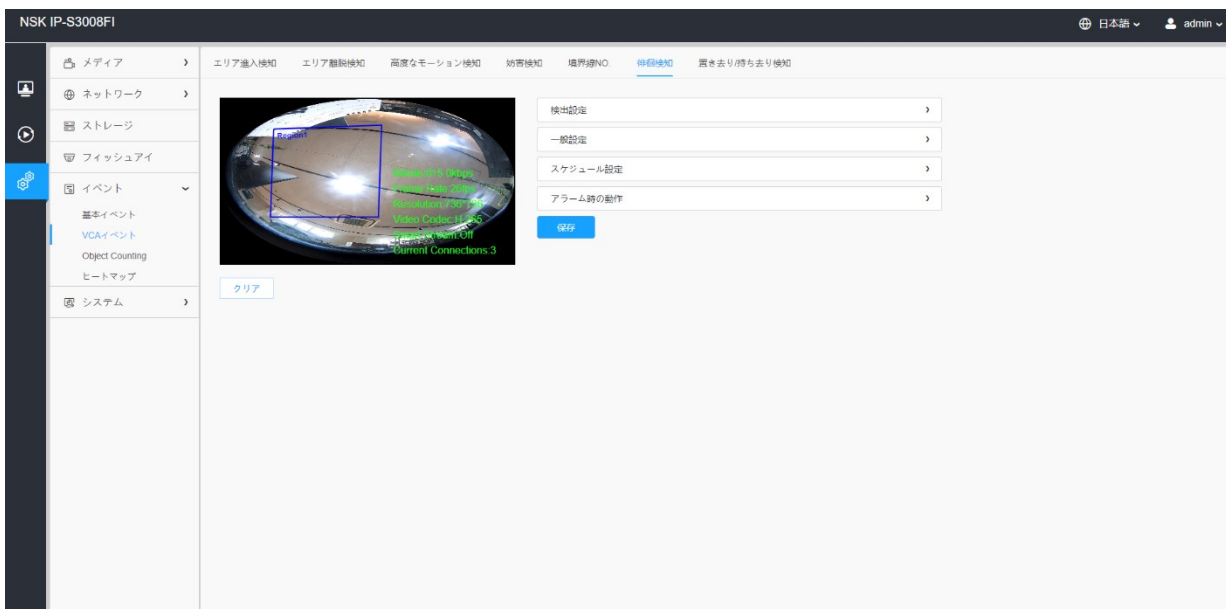
項目の詳細についてはP. 79 (表40)をご参照ください。

注意：

- 外部出力を有効にし、外部出力動作時間一定を表示すると、オブジェクトが定義された仮想線を横切ったとき、外部出力動作アラームはアラームが解除されるまで常に一定となります。

8.4.2.6 徘徊検知

オブジェクトが特定の期間、定義されたエリアで滞留している場合、アラームがトリガーされます。



設定手順は次のとおりです。

[検出設定]

注意：一般設定は、すべての検出エリア/ラインに適用されます。

ステップ1：検出エリアを表示します。

ステップ2：滞留の検出を有効にします。

ステップ3：最小値を設定します。滞留時間。最小滞留時間を3秒から1800秒に設定した後、表示したエリアで最小滞留時間を超えて滞留しているオブジェクトは、アラームをトリガーします。

検出設定

領域 1 2 3 4

Eモーション検知使用

最小徘徊時間 7 (3~1800)s

注意: 画面上をドラッグして設定してください

一般設定 >

スケジュール設定 >

アラーム時の動作 >

保存

項目の詳細についてはP. 84 (表44)をご参照ください。

[一般設定]

ステップ4: オブジェクトサイズの制限を設定します。

[スケジュール設定]

ステップ4: 検出スケジュールを設定する。

項目の詳細についてはP. 78 (表39)をご参照ください。

[アラーム時の動作]

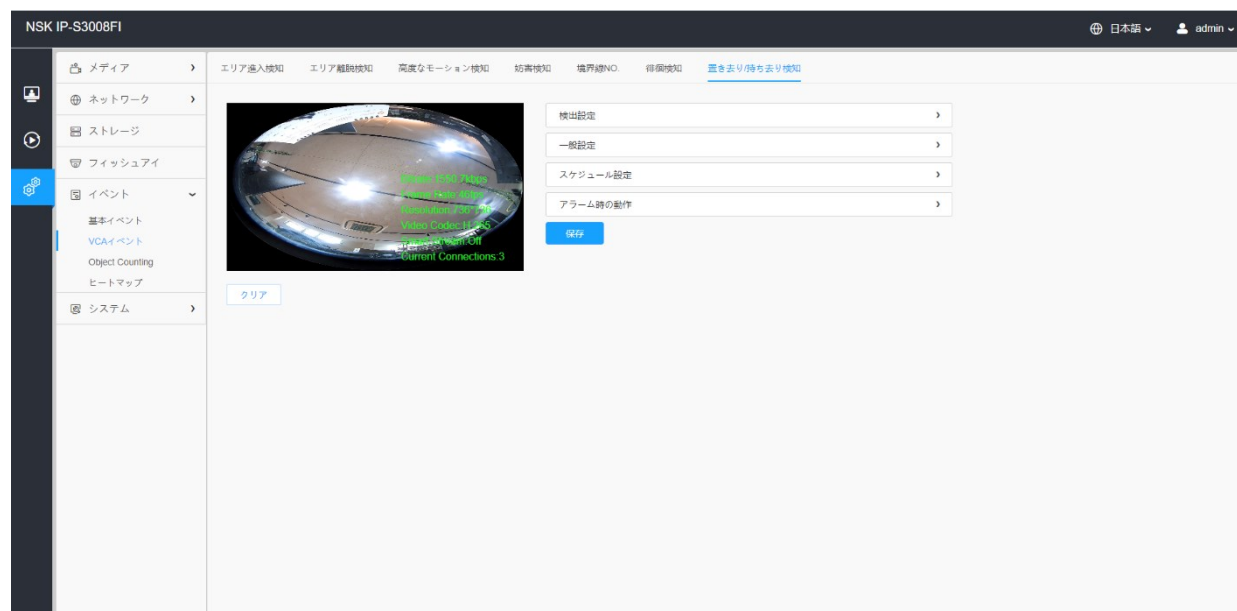
ステップ5: アラームのアクションを設定します。

項目の詳細についてはP. 79 (表40)をご参照ください。

ステップ6: 外部出力を有効にして[一定の外部出力アクション時間]を表示すると、オブジェクトが表示したエリアに移動すると、外部出力アクションのアラーム時間は、アラームが解放されるまで常に一定になります。

8.4.2.7 置き去り/持ち去り検知

置き去り検知は、事前に定義された検索エリアに残された場合に検出され、アラームが発生します。持ち去り検知は、事前に定義された検索エリアから削除された場合、検出され、アラームが表示されます。



設定手順は次のとおりです。

[検出設定]

注意：一般設定は、すべての検出エリア/ラインに適用されます

ステップ1：検出エリアを表示し、オブジェクトの置き去り/持ち去り検知を有効にします（または、両方の機能を同時に有効にすることができます）。



[一般設定]

ステップ2：最小値を設定します。時間、感度とオブジェクトサイズの制限を検出します。



表51. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
最小時間	最小時間を5秒から1800秒の間で設定した後、最小時間を超えて表示したエリアに物体を置いたり、取り除いたりすると、アラームが作動します。
感度	レベル1～10があり、デフォルトは5です。感度が高いほど、動きのある被写体が結果に録画されやすくなります。 注意： 感度は、さまざまな要件に応じて、さまざまな動きを検出するように設定することができます。感度のレベルが低い場合、わずかな動きではアラームをトリガーしません。
最小サイズ	検出されるオブジェクトの最小サイズを設定するために、画面を描画するか、ピクセル番号を入力します。オブジェクトがこのサイズより小さい場合、検出されません。デフォルトの最小サイズは3*3です。
最大サイズ	画面描画または入力画素数で、検出される物体の最大サイズを設定します。このサイズより大きいオブジェクトは検出されません。デフォルトの最大サイズは320*240です。

[スケジュール設定]

ステップ5：検出スケジュールを設定する。

項目の詳細についてはP. 78（表39）をご参照ください。

[アラーム時の動作]

ステップ6：アラームアクションを設定します。

項目の詳細についてはP. 79（表40）をご参照ください。

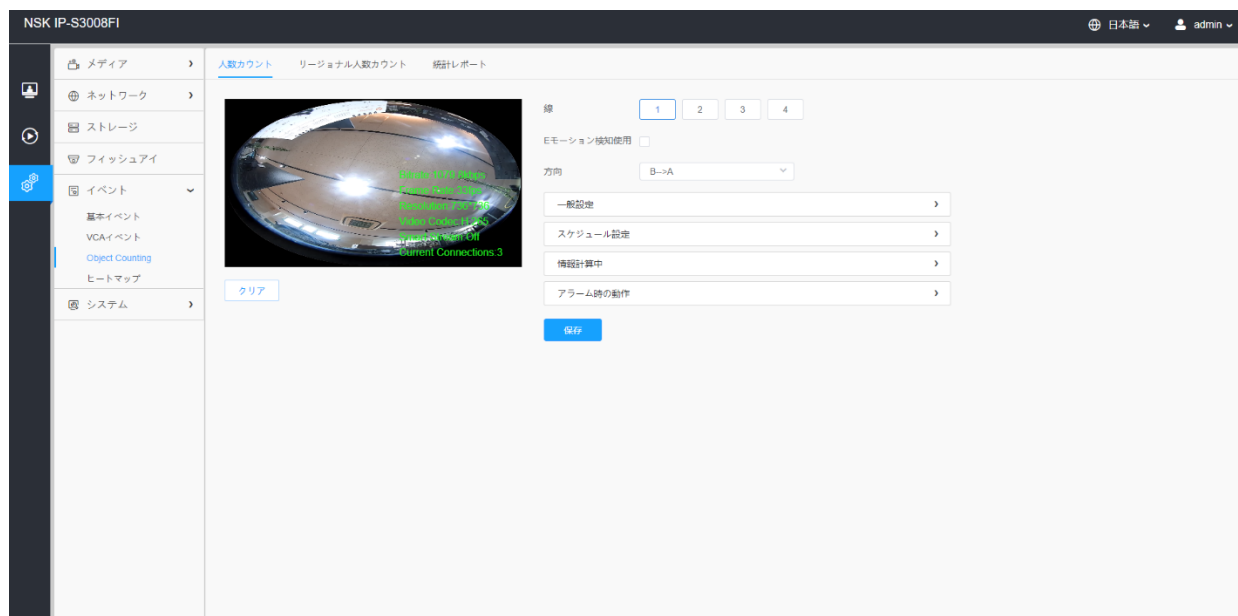
- この部分は、通常のアラーム設定と同じです。表3（89ページ）をご参照ください。

- ・外部出力を有効にし、外部出力動作時間一定を表示すると、表示したエリアからオブジェクトが離脱した場合、外部出力動作アラームはアラームが解除されるまで常に一定となります。

8.4.3 Object Counting

8.4.3.1 人数カウント

人数カウントは、設定した時間内に何人ぐらいが出入りしたかをカウントすることができます。



設定手順は以下のとおりです。

ステップ1：人数カウントを有効にします。

ステップ2：検出線と方向を設定します。

注意：

- ・矢印の方向に沿って交差すると「In」、反対方向は「Out」として録画されます。
- ・最大4本の検出ラインをサポート。

[一般設定]

ステップ3：感度とオブジェクトサイズの制限を設定します。

線 1 2 3 4

Eモーション検知使用

方向 B->A

一般設定

感度 5

オブジェクトサイズの制限

編集

最小サイズ 3 * 3 Pixels (1*1~320*240)

最大サイズ 320 * 240 Pixels (1*1~320*240)

注意 画面上をドラッグして設定してください

スケジュール設定

情報計算中

アラーム時の動作

保存

表52. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
感度	レベル1~10があり、デフォルトは5です。感度が高いほど、動きのある被写体が結果に録画されやすくなります。
最小サイズ	検出されるオブジェクトの最小サイズを設定するために、画面を描画するか、ピクセル番号を入力します。オブジェクトがこのサイズより小さい場合、検出されません。デフォルトの最小サイズは3*3です。
最大サイズ	画面描画または入力画素数で、検出される物体の最大サイズを設定します。このサイズより大きいオブジェクトは検出されません。デフォルトの最大サイズは320*240です。

[スケジュール設定]

ステップ4：検出スケジュールを設定する。

項目の詳細についてはP. 78 (表39)をご参照ください。

【情報計算中】

ステップ5：カウント情報を設定します。

表53. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
カウントの種類	ユーザーはライブ映像に表示したい情報を表示することができます。
合計数	<p>カウントOSDを設定します。</p> <p>注意： トータルカウントOSDの設定は全ての検出ラインでリンクしています。</p> <p>OSDを表示： ボタンをOSDの表示を有効/無効にします。</p> <p>フォントサイズ： OSDディスプレイのフォントサイズ</p> <p>文字色： OSDディスプレイのフォントカラー</p> <p>ビデオタイトル表示位置： OSD表示のテキスト位置</p>
単一カウント	<p>シングルカウントを設定します。</p> <p>注意： トータルカウントOSDの設定は全ての検出ラインでリンクしています。</p> <p>情報の表示： クリックすると、情報が表示されます。</p> <p>マニュアルリセット： 1行ずつのカウントをリセットします。統計レポートも一緒にリセットするか表示できます。</p>

	<p>自動リセット: シングルカウント情報を自動的にクリアするために使用されます。</p> <p>曜日: オートリセットの日</p> <p>時刻: オートリセットの時間</p>
--	---

[アラーム時の動作]

ステップ6: アラームトリガーとアラームアクションを設定します。

方向: B->A

一般設定

スケジュール設定

情報計算中

アラーム時の動作

アラームトリガー

合計数 | 単一カウント

しきい値

イン 9999 アウト 9999

容量 9999 合計 9999

アラーム時の動作

録画

スナップショット

外部出力

音声再生 (音声スピーカーを有効にしてください)

SIPフォンにアラーム (SIPを開いてください)

HTTP通知

保存

表54. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
アラームトリガー	<p>1~9999の範囲で指定した閾値に達するとアラームが発生します。トータルカウントとシングルカウントがあります。アラームのしきい値は、In/Out/Capacity/Sumのいずれかに設定可能です。</p> <p>注意:</p> <ul style="list-style-type: none"> 合計数の場合、閾値は4つの検出ラインの総数の合計となります。 単一カウントの場合、閾値は表示された検出ラインに対するのです。

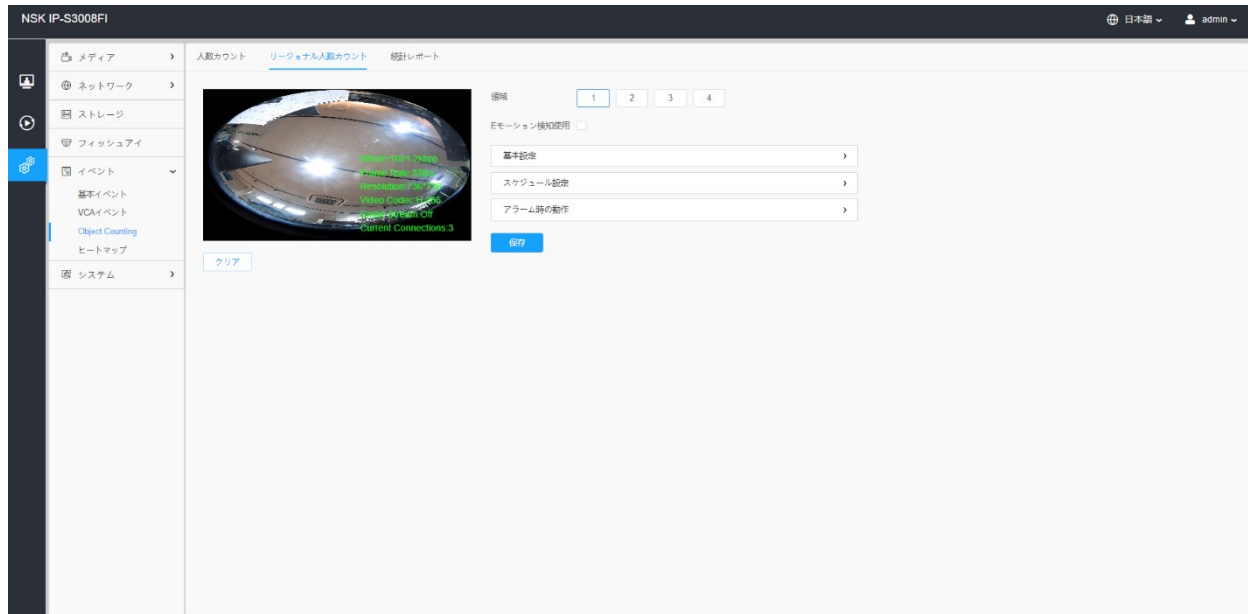
アラーム時の動作	<p>この部分は、通常のアラーム設定と同じです。表3（89ページ）をご参照ください。</p> <p>注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> アラームアクションは、4つの検出ラインに対して同時に有効です。 外部出力を有効にし、外部出力動作時間一定を表示した場合、スレッシュホールドが設定した値に達すると、アラームが解除されるまで外部出力動作のアラームが常に一定になります。
-----------------	---

8.4.3.2 リージョナル人数カウント

リージョナル人数カウントを有効にすると、検知エリアのリアルタイム人数と各人の滞在時間を確認することができます。

注意：

- ・リージョナル人数カウントのため、最大4つの検出エリアをサポートします。
- ・ユーザーは、ライブビュー画面で、検知エリア内の人数と滞在時間をリアルタイムに把握することができます。



設定手順は以下のとおりです。

ステップ1： 検出エリアを表示し、リージョナル人数カウントできるようにします。

注意： 最大4つの検出エリアをサポートします。

[基本設定]

ステップ2：感度とオブジェクトサイズの制限を設定します。

基本設定

基本

感度 5

オブジェクトサイズの制限

編集

● 最小サイズ 3 * 3 Pixels (1*1~320*240)

○ 最大サイズ 320 * 240 Pixels (1*1~320*240)

注意: 画面上をドラッグして設定してください

スケジュール設定

アラーム時の動作

保存

表55. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
感度	レベル1~10があり、デフォルトは5です。感度が高いほど、動きのある被写体が結果に録画されやすくなります。
最小サイズ	検出されるオブジェクトの最小サイズを設定するために、画面を描画するか、ピクセル番号を入力します。オブジェクトがこのサイズより小さい場合、検出されません。デフォルトの最小サイズは3*3です。
最大サイズ	画面描画または入力画素数で、検出される物体の最大サイズを設定します。このサイズより大きいオブジェクトは検出されません。デフォルトの最大サイズは320*240です。

[スケジュール設定]

ステップ4：検出スケジュールを設定する。

項目の詳細についてはP. 78（表39）をご参照ください。

[アラーム時の動作]

ステップ6：アラームトリガーとアラームアクションを設定します。

アラーム時の動作
▼

アラームトリガー

しきい値 最大滞留人数 (1~60)

最小滞留人数 (1~60)

最大滞留期間 s (1~1800)

アラーム時の動作

録画 >

スナップショット >


外部出力 >

音声再生 (音声スピーカーを有効にしてください)

SIPフォンにアラーム (SIPを開いてください)

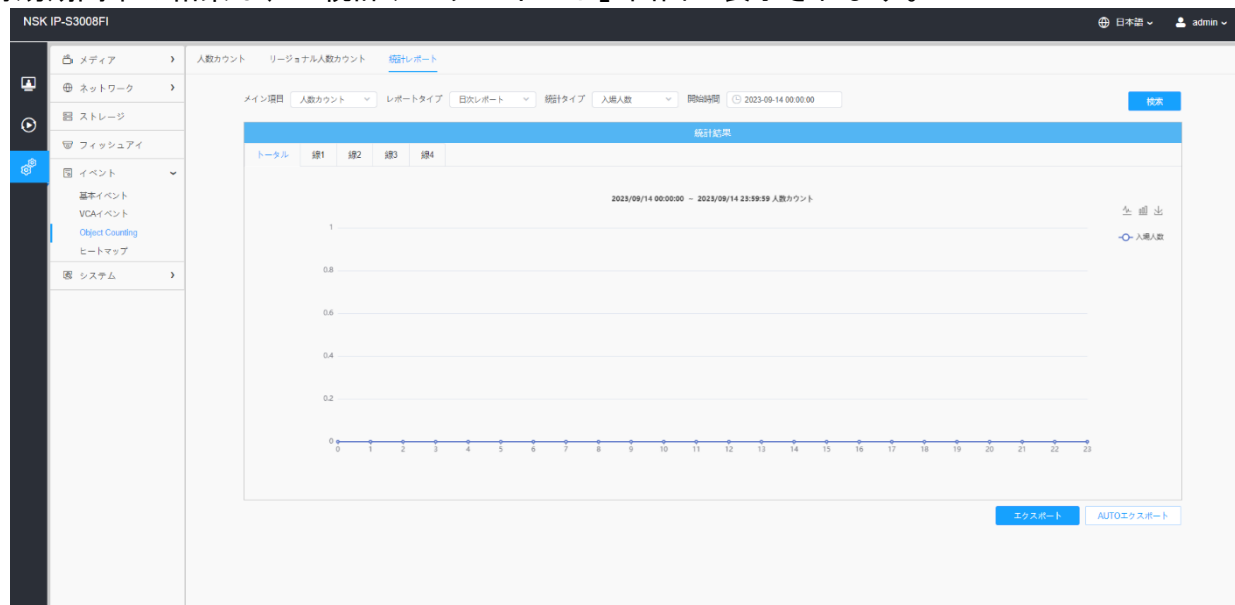
HTTP通知 >

表56. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
アラームトリガー	<p>最大滞留、最小滞留時間が設定のしきい値に達するとアラームが発生します。</p> <p> 注意： 値は1~60の範囲でなければならない。</p>
アラーム時の動作	<p>項目の詳細についてはP. 79（表40）をご参照ください。</p> <p>注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> アラームアクションは、4つの検出エリアで同時に有効です。 外部出力を有効にし、外部出力動作時間一定を表示した場合、スレッシュホールドが設定した値に達すると、アラームが解除されるまで外部出力動作のアラームが常に一定になります。

8.4.3.3 統計レポート

有効期間中の結果は、「統計データレポート」画面に表示されます。



ステップ1: メインタイプを表示します。

ステップ2: 日報、週報、月報、年報など、レポートの種類を表示します。

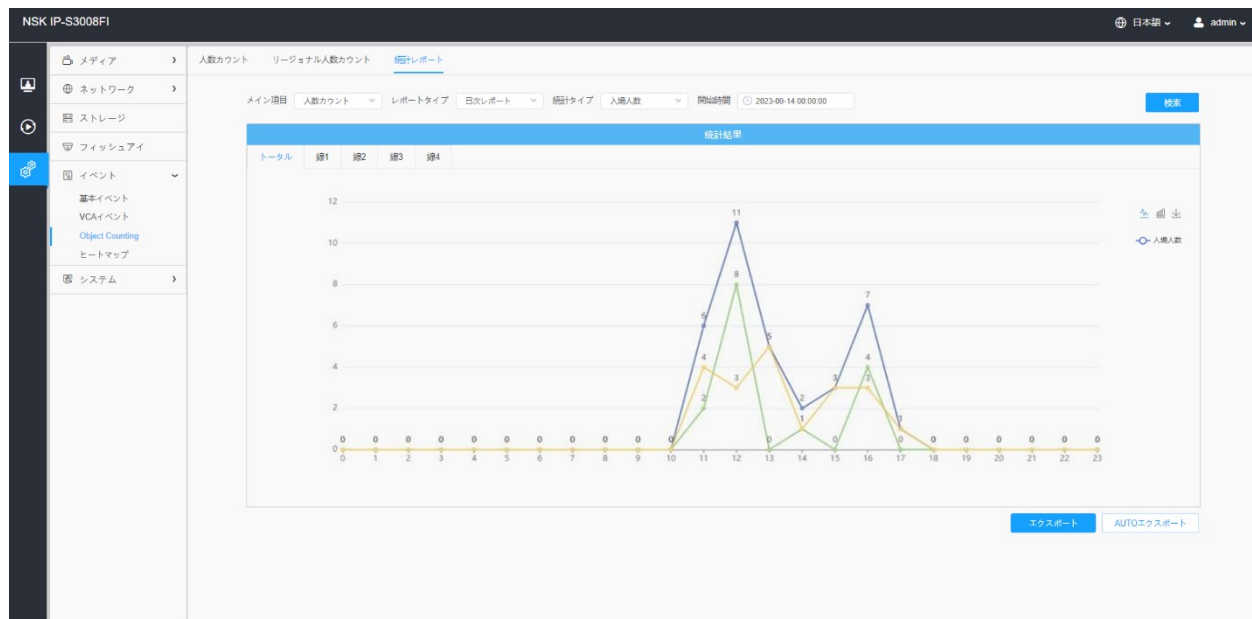
ステップ3: 人数カウントの場合、「入場人数」「退場人数」「合計」などの「統計タイプ」を表示します。エリア別合計では、「滞在時間」を「全て」「それ以上」「それ以下」から表示し、「それ以上」「それ以下」の時間を設定します。

注意: リージョナル人数カウントの場合、チェックボックスにチェックを入れると、必要に応じてリージョナルのレポートを検索することができます。

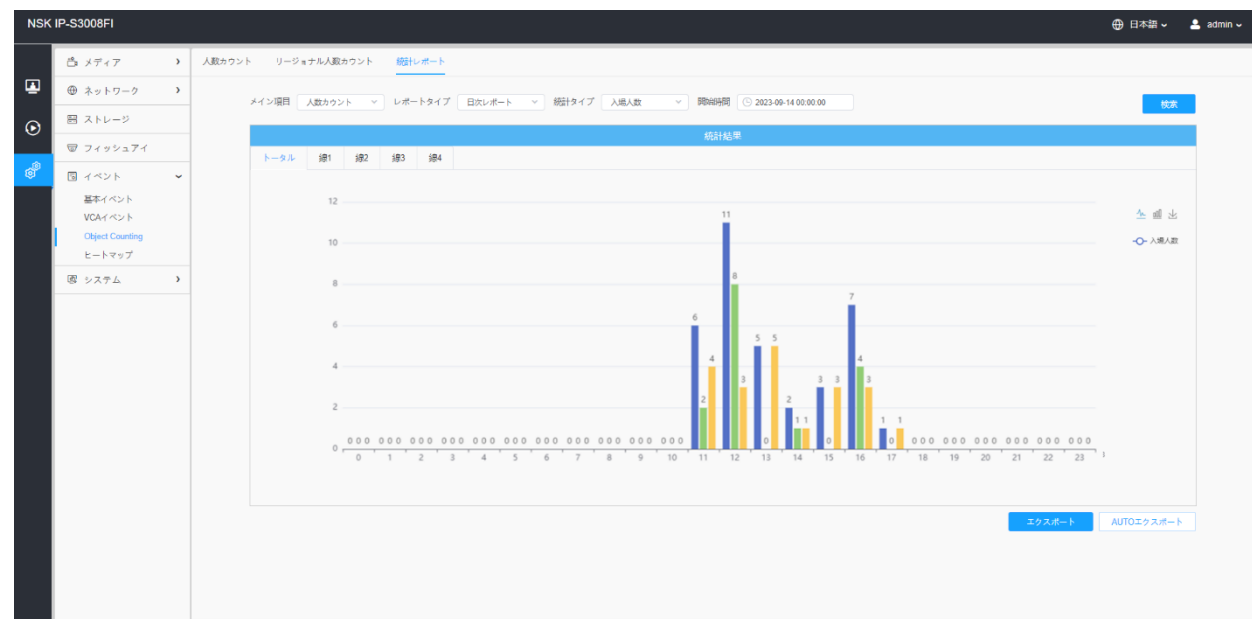
ステップ4: 開始時間を表示し、「検索」ボタンをクリックすると、カメラは自動的に開始時間から日/週/月/年（表示されたレポートタイプに基づく）のデータを数え、対応するレポートを生成します。

ステップ5: さらに、「折れ線グラフ」または「棒グラフ」のボタンを、統計レポートの表示モードを以下のように切り替えることができます。

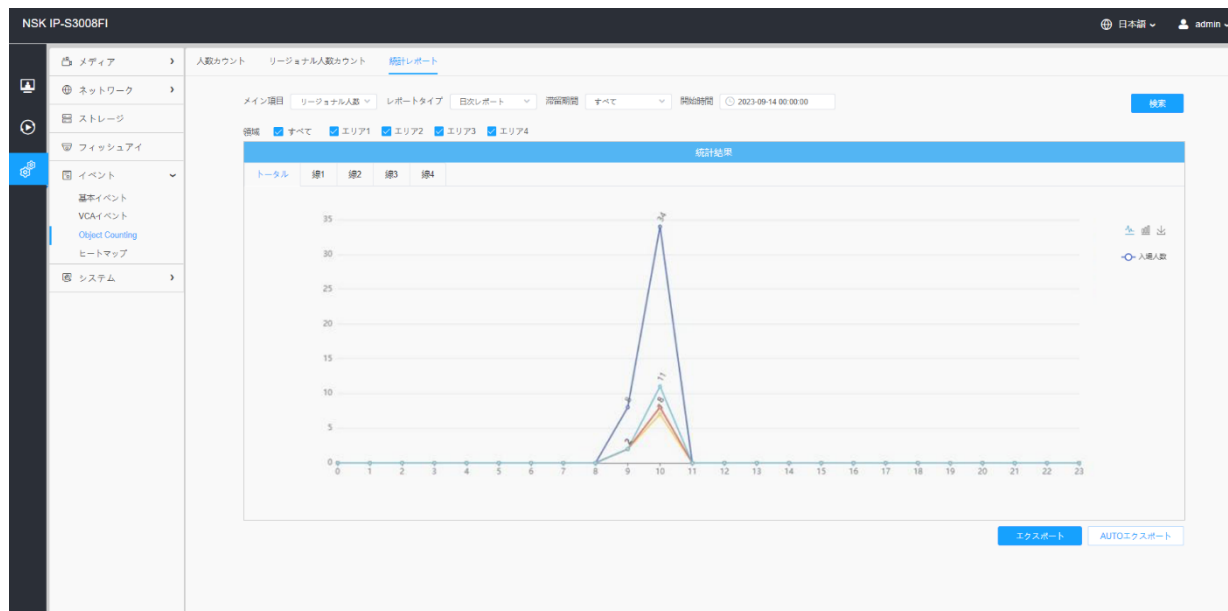
人数カウント-統計レポート (折れ線グラフ)



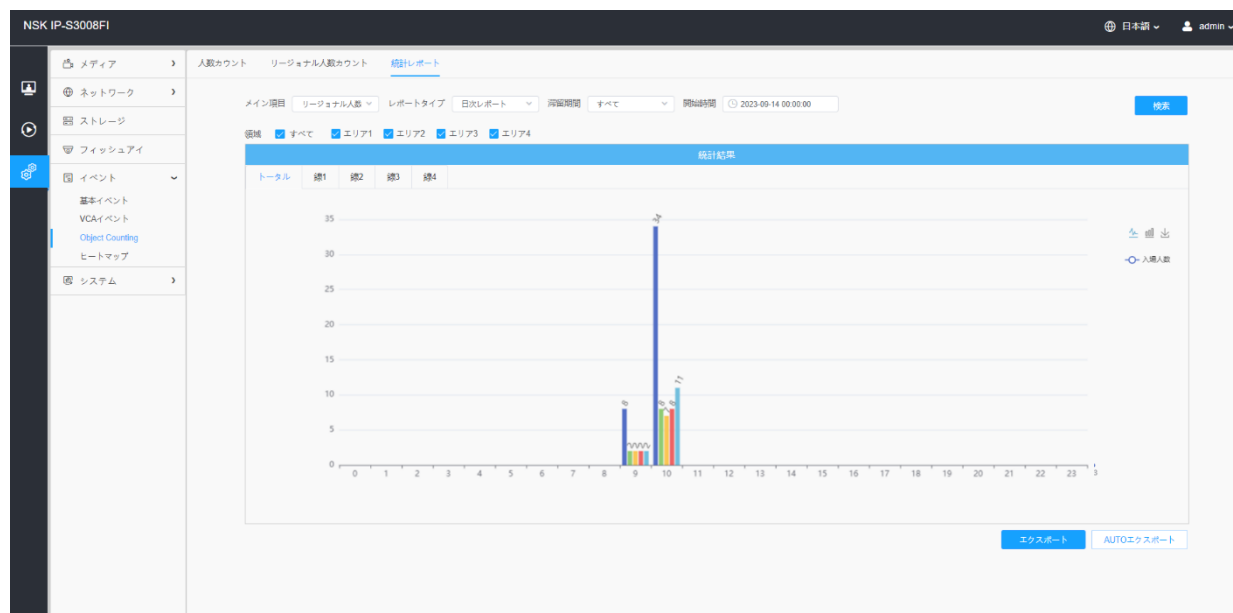
人数カウント-統計レポート (棒グラフ)



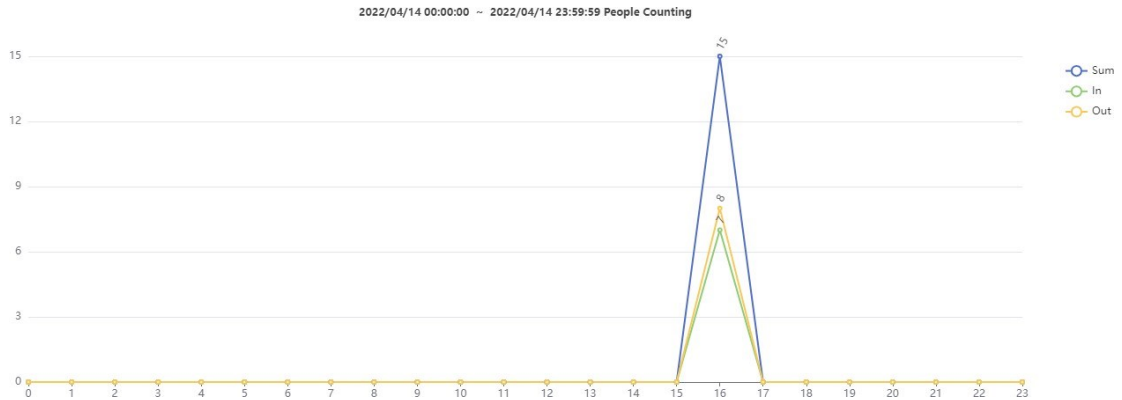
リージョナル人数カウント-統計レポート (折れ線グラフ)



リージョナル人数カウント-統計レポート (棒グラフ)



ステップ6: 「ダウンロード」ボタンを、統計レポートチャートのスクリーンショットをダウンロードします。



ステップ7: 「エクスポート」ボタンをクリックすると、下図のような「エクスポート」ウィンドウがポップアップ表示されます。統計レポートをカウントしている人は、チェックボックスをチェックして、必要に応じて異なる行のレポートをエクスポートすることができます。

エクスポート

エクスポート

ファイル形式 CSV

線 すべて

トータル 線1 線2

線3 線4

ステップ8: 「AUTOエクスポート」ボタンをクリックすると、以下に示すように統計レポート設定がポップアップ表示されます。

人数カウント-AUTOエクスポート

AUTOエクスポート

人数カウント リージョナル人数カウント

有効

線 すべて

トータル 線1 線2

線3 線4

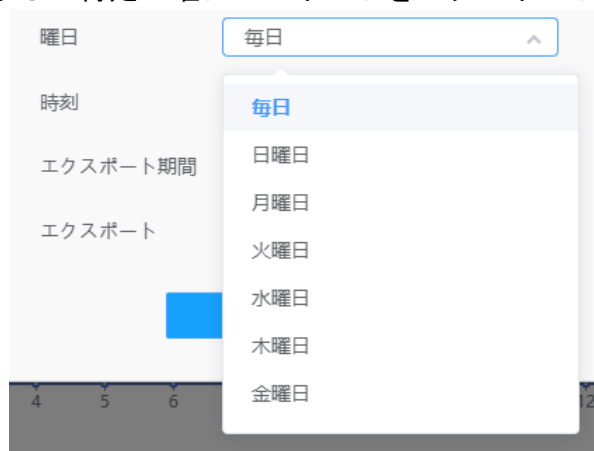
曜日

時刻

エクスポート期間

エクスポート FTP Eメール ストレージ

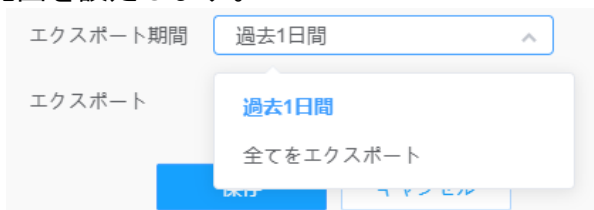
- チェックボックスをオンにして、カウントする人数の自動エクスポートを有効にし、必要に応じて行を表示します。
- 日を設定します。ユーザーは、毎日を表示して日次レポートをエクスポートし、他のユーザーを表示して特定の曜日にレポートをエクスポートできます。



- 時間を設定します。ユーザーは、統計レポートを自動的にエクスポートする時刻を表示できます。カレンダーアイコンを、次のクイック表示をポップアップ表示します。



- エクスポート時間範囲を設定します。



- 自動的にエクスポートされるレポートの宛先パスを設定します。レポートは、設定した曜日、時刻、およびエクスポート時間範囲に従って、Excelスプレッドシートの形式としてFTP/電子メール/ストレージに自動的にエクスポートできます。次に、「保存」をクリックします。

エクスポート FTP Eメール ストレージ

注意：統計レポートが生成される場合、それはcsvフォームとして保存されます。

リージョナル人数カウント-AUTOエクスポート

AUTOエクスポート
×

人数カウント リージョナル人数カウント

有効

曜日

滞留期間

時刻

エクスポート期間

エクスポート FTP Eメール ストレージ

- チェックボックスをオンにすると、リージョナル人数カウントの自動エクスポートが有効になります。
- 日を設定します。ユーザーは、毎日を表示して日次レポートをエクスポートし、他のユーザーを表示して特定の曜日にレポートをエクスポートできます。

曜日

滞留期間

時刻

エクスポート期間

エクスポート

- ・滞在期間を設定します。

The screenshot shows a form with a dropdown menu for '滞り期間' (Stay Period). The dropdown is open, showing options: 'すべて' (All), 'より多い' (More), and 'より少ない' (Less). The 'すべて' option is highlighted in blue.

- ・時間を設定します。統計レポートを自動的にエクスポートする時間帯を表示できます。カレンダーアイコンをクリックすると、以下のクイックセレクションがポップアップ表示されます。

The screenshot shows a form with a time selection dialog. The dialog is open, showing a table of time slots. The '時刻' (Time) field is set to '00:00:00'. The dialog has 'キャンセル' (Cancel) and 'OK' buttons.

00	00	00
01	01	01
02	02	02

- ・エクスポート時間範囲を設定します。

The screenshot shows a form with a dropdown menu for 'エクスポート期間' (Export Period). The dropdown is open, showing options: '過去1日間' (Last 1 day) and '全てをエクスポート' (Export all). The '過去1日間' option is highlighted in blue.

- ・自動的にエクスポートされるレポートの宛先パスを設定します。レポートは、設定した曜日、時刻、およびエクスポート時間範囲に従って、Excelスプレッドシート形式としてFTP/電子メール/ストレージに自動的にエクスポートできます。次に、「保存」をクリックします。

The screenshot shows the 'エクスポート' (Export) section of the form. It has three radio buttons: 'FTP', 'Eメール', and 'ストレージ'. The 'ストレージ' (Storage) option is selected. There are '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

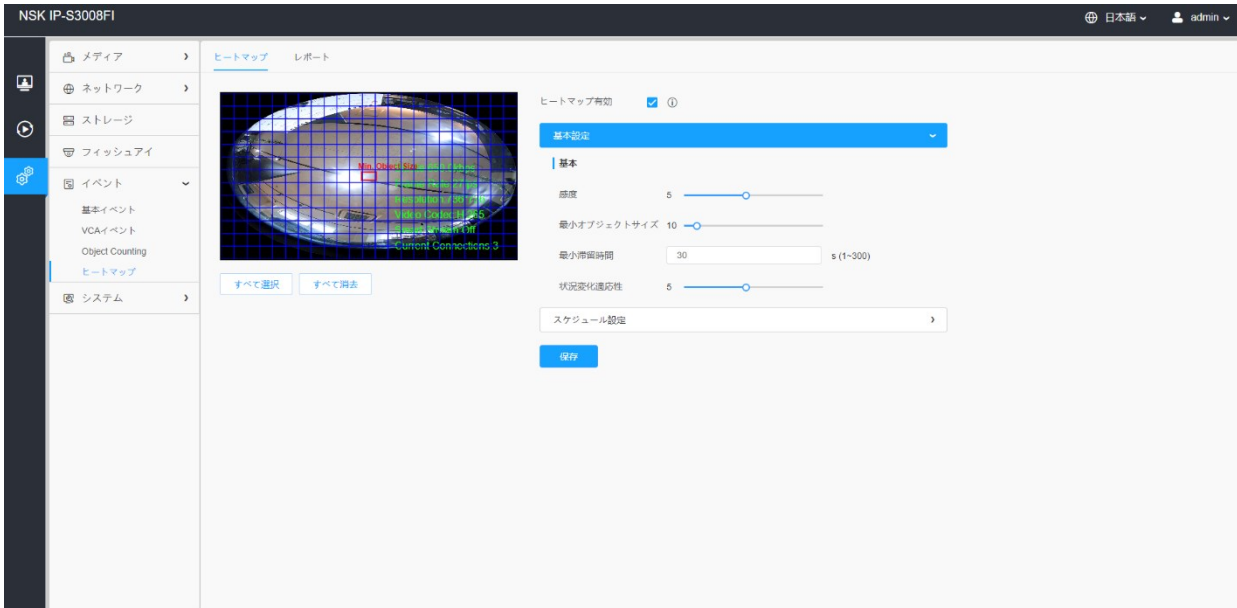
注意：統計レポートが生成される場合、それはcsvフォームとして保存されます。

8.4.4 ヒートマップ

ヒートマップ機能は、顧客の動きを分析し、必要に応じて時間または空間パターンで直感的で正確な統計分析結果を使用して、ビジネス管理を改善するための洞察を明らかにできます。

8.4.4.1 ヒートマップ

- ・SDカードやNASがない場合、7日以内のレポートのみ閲覧可能です。



The screenshot displays the NSK IP-S3008FI Heatmap configuration page. On the left, a sidebar menu lists various system components, with 'Heatmap' selected. The main area is divided into two sections: a heatmap visualization and a configuration panel. The heatmap shows a grid with various colored points and lines, representing customer movement. The configuration panel includes a checkbox for 'Heatmap Enabled', a dropdown for 'Basic Settings', and several sliders for 'Intensity', 'Minimum Object Size', 'Minimum Dwell Time', and 'Status Change Sensitivity'. There is also a 'Schedule Settings' dropdown and a 'Save' button.

ステップ1：ヒートマップ機能を有効にします。

[基本設定]

ヒートマップ有効 ⓘ

基本設定

基本

感度 5

最小オブジェクトサイズ 10

最小滞留時間 30 s (1~300)

状況変化適応性 5

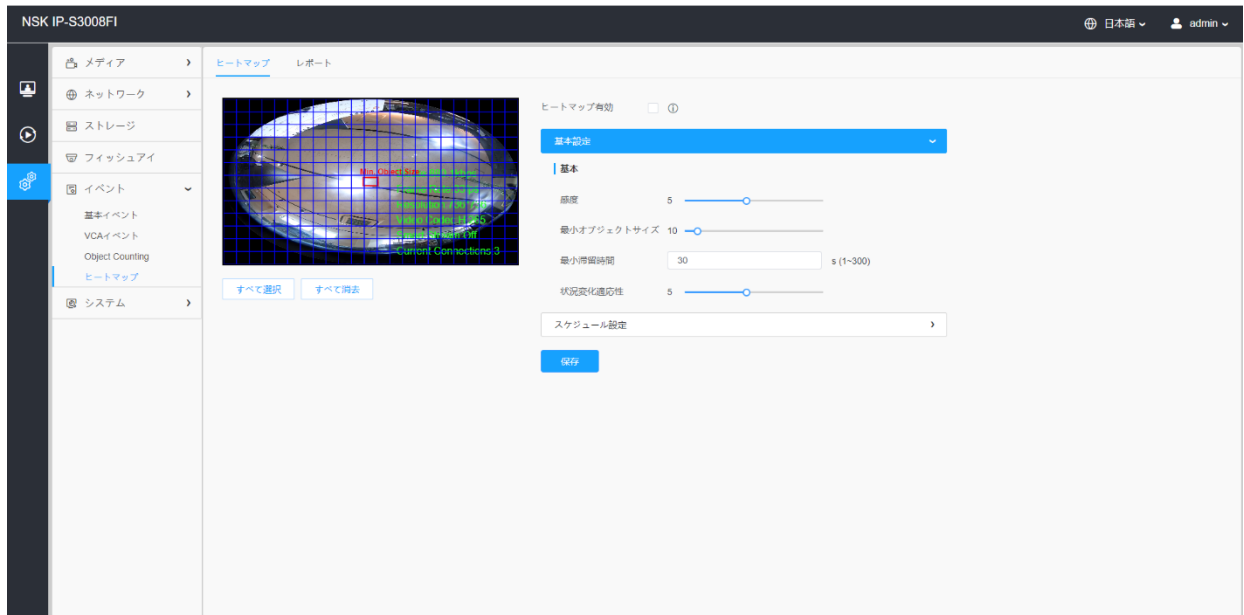
スケジュール設定

保存

表57. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
感度	レベル1~10があり、デフォルトは5です。感度が高いほど、動きのある被写体が結果に録画されやすくなります。
対象物の最小サイズ	オブジェクトの最小サイズを1~100の間で設定します。デフォルト値は10です。この値より小さいオブジェクトは結果に録画されません。
最小滞留時間	最小滞留時間を1~300の間で設定します。初期値は30です。設定した「最小滞留時間」よりも長くオブジェクトが滞在した場合、結果には録画されません。
シーン変化適応性	レベル1~10があり、デフォルトのレベルは5です。シーン変化適応性とは、カメラがシーンの変化に適応し、検出の精度を高めることができることを示します。値が高いほど、カメラはより速く変化するシーンに適応します。

ステップ2：ヒートマップエリアを設定する。画面を描画して、検出エリアを設定します。「すべて表示」ボタンで全エリアを表示し、「すべて消去」ボタンで現在描画しているエリアを削除することができます。



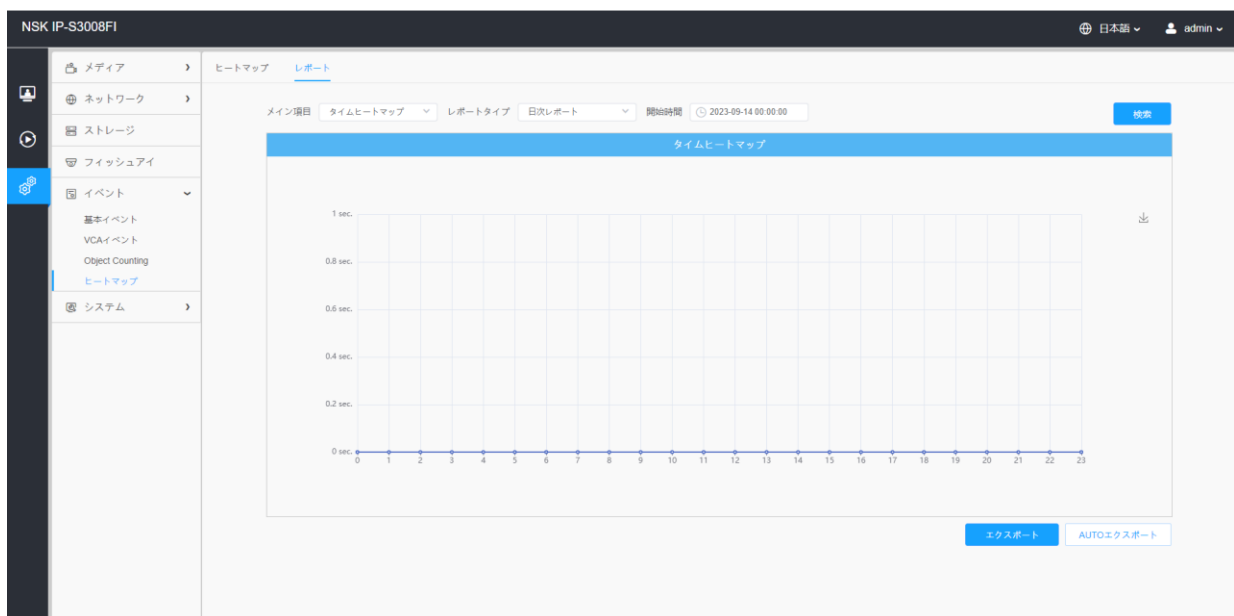
[スケジュール設定]

ステップ3：スケジュール設定を行います。

項目の詳細についてはP. 78（表39）をご参照ください。

8.4.4.2 レポート

ヒートマップの結果は、レポート画面に表示されます。



ステップ1：メインヒートマップタイプを表示します。

[スペースヒートマップ]

スペースヒートマップは、異なる色の画像として表示されます。異なる色は異なる熱の値を表します。赤は最も高く、青は最も低いことを表しています。

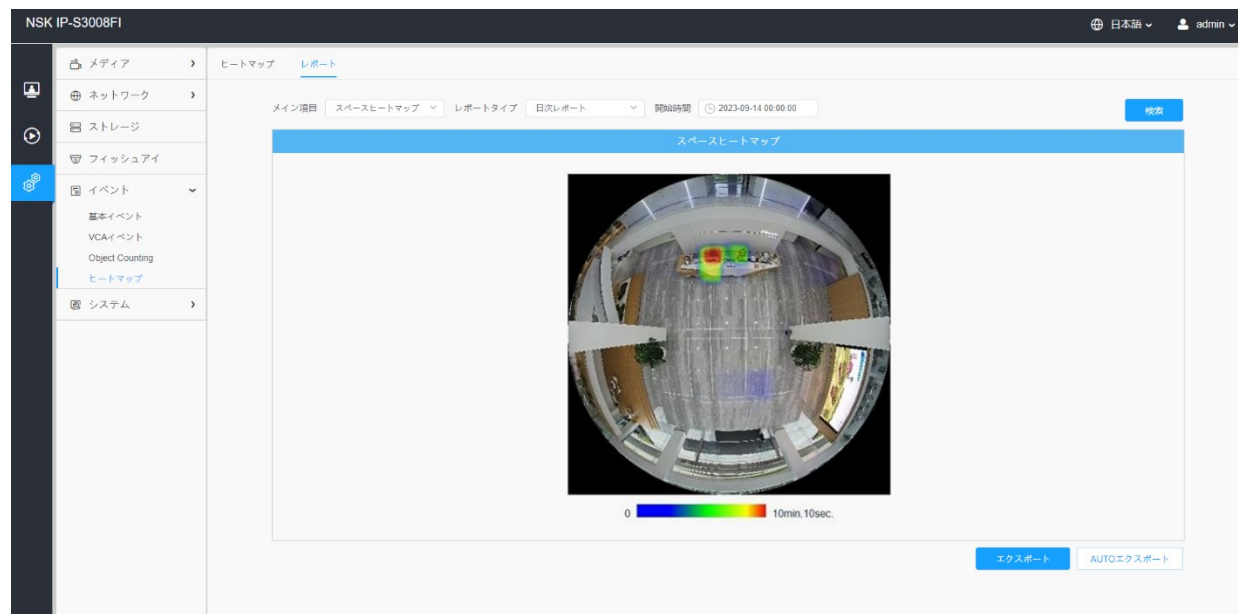
[タイムヒートマップ]

時間ヒートマップは、異なる時間帯の熱量を折れ線グラフで表示します。

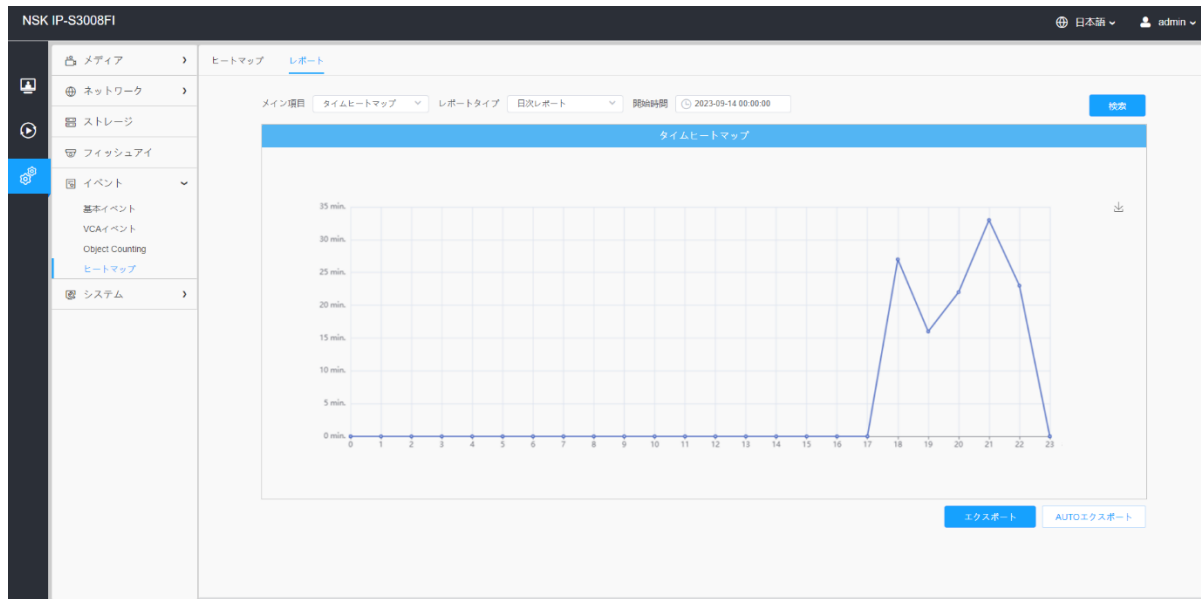
ステップ2：日次、週次、月次、年次など、レポートの種類を表示します。

ステップ3：開始時間を表示し、「検索」ボタンをクリックすると、カメラは自動的に開始時間から日/週/月/年（表示されたレポートタイプに基づく）のデータをカウントし、以下のように対応するレポートを生成します。

スペースヒートマップ



タイムヒートマップ



ステップ4: [エクスポート]ボタンを、レポートをローカルにエクスポートします。

ステップ5: [AUTOエクスポート]ボタンを、以下に示すようにヒートマップレポート設定をポップアップします。

AUTOエクスポート

有効 スペースヒートマップ タイムヒートマップ

デイ

時刻

エクスポート期間

エクスポート FTP Eメール ストレージ

- ・エクスポートタイプを設定します。スペースヒートマップ、タイムヒートマップのいずれか、または両方にチェックを入れることができます。スペースヒートマップ、時間ヒートマップのいずれかにチェックを入れると、以下のようにグレーの項目が編集可能な状態になります。
- ・曜日を設定します。ユーザーは、毎日を表示して毎日のレポートをエクスポートし、他を表示して特定の曜日にレポートをエクスポートすることができます。



- 時間を設定します。ユーザーは、ヒートマップを自動的にエクスポートする時刻を表示し、カレンダーアイコンを、次のクイック表示をポップアップ表示できます。



- エクスポート時間範囲を設定します。



- 自動的にエクスポートされるレポートの宛先パスを設定します。レポートは、設定した曜日、時刻、およびエクスポート時間範囲に応じて、Excelスプレッドシートまたは画像の形式でFTP/電子メール/ストレージに自動的にエクスポートできます。次に、「保存」をクリックします。

スペースヒートマップが生成された場合、png画像として保存されます。
 時間ヒートマップが生成された場合、csv形式として保存されます。

8.5 フィッシュアイ

[PTZ]

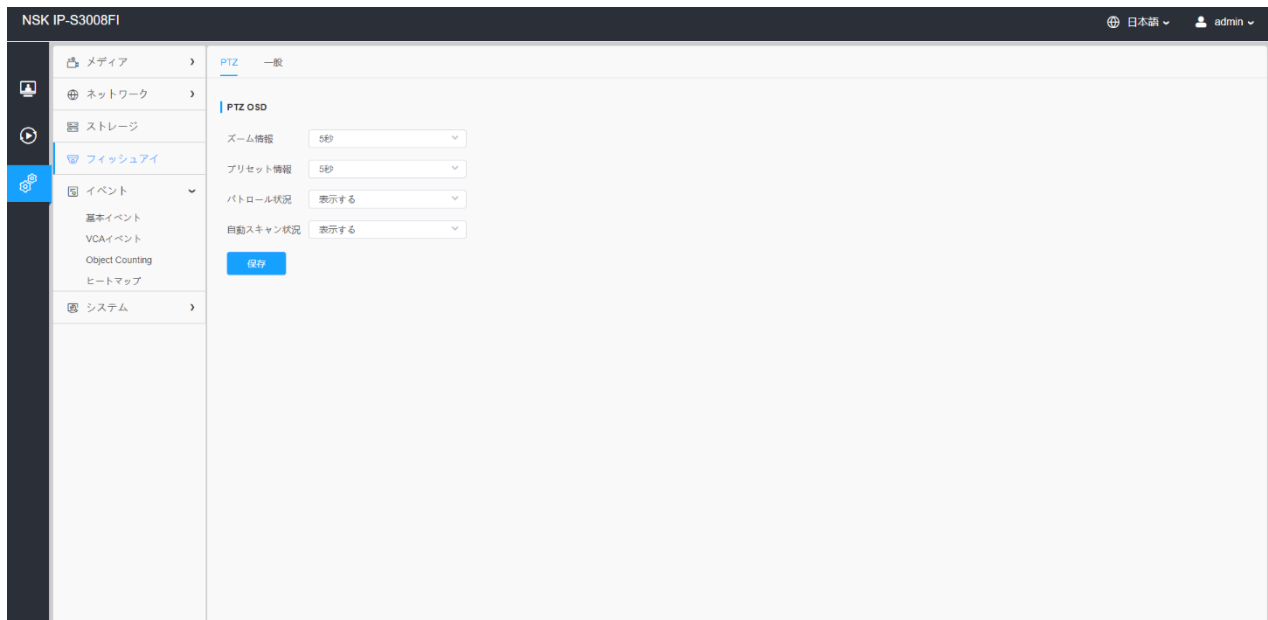


表58. ボタンの説明

パラメーター	機能紹介
ズーム情報	ズームステータスOSDの表示時間設定に対応。 2秒/5秒/10秒/表示する/表示しないが可能です。

プリセット情報	プリセットステータスOSDの表示時間設定に対応。 2秒/5秒/10秒/表示する/表示しないが可能です。
パトロール状況	パトロールステータスOSDの表示時間設定に対応。 表示する/表示しないが可能です。
自動スキャン状況	自動スキャンステータスOSDの表示時間設定に対応。 表示する/表示しないが可能です。

[一般]

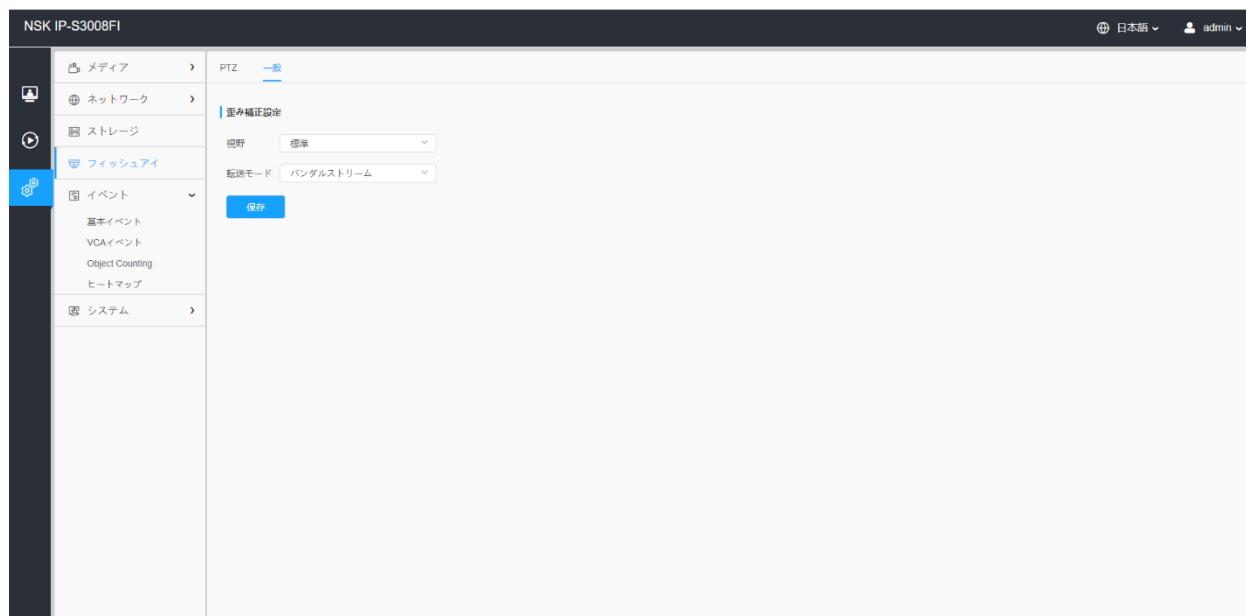


表59. ボタンの説明

パラメーター	機能紹介
視野	<p>フィッシュアイカメラでオプションの視野をサポートします。</p> <p>標準：このオプションを有効にすると、すべてのビューで元の表示角度が維持されます。</p> <p>広く：このオプションを有効にすると、元のビュー（10）の視野角が大きくなり、他のビューでは元の視野角が維持されます。</p> <p>すべて拡大：このオプションを有効にすると、すべてのビューの視野角が大きくなります。</p>

<p style="text-align: center;">転送モード</p>	<p>さまざまなニーズを満たすために、バンドルストリームモードまたはマルチチャンネルモードを表示するためのサポート。</p> <p>バンドルストリーム：バンドルストリームモードは、すべてのチャンネルを1つに結合し、NVRまたはVMSに送信します。これにより、互換性が容易になります。</p> <p>マルチチャンネル：マルチチャンネルモードでは、元のすべてのチャンネルがNVRまたはVMSに送信されるため、チャンネルを個別に変更できます。</p>
---	--

注意：NVRでのバンドルストリームモードをお勧めします。

8.6 システム

ここでは、システム設定、セキュリティ、ログ、およびメンテナンスを設定できます。

8.6.1 システム

ここでは、システム情報と日付と時刻を確認できます。

8.6.1.1 システム情報

カメラのハードウェアとソフトウェアに関するすべての情報は、このページで確認できます。

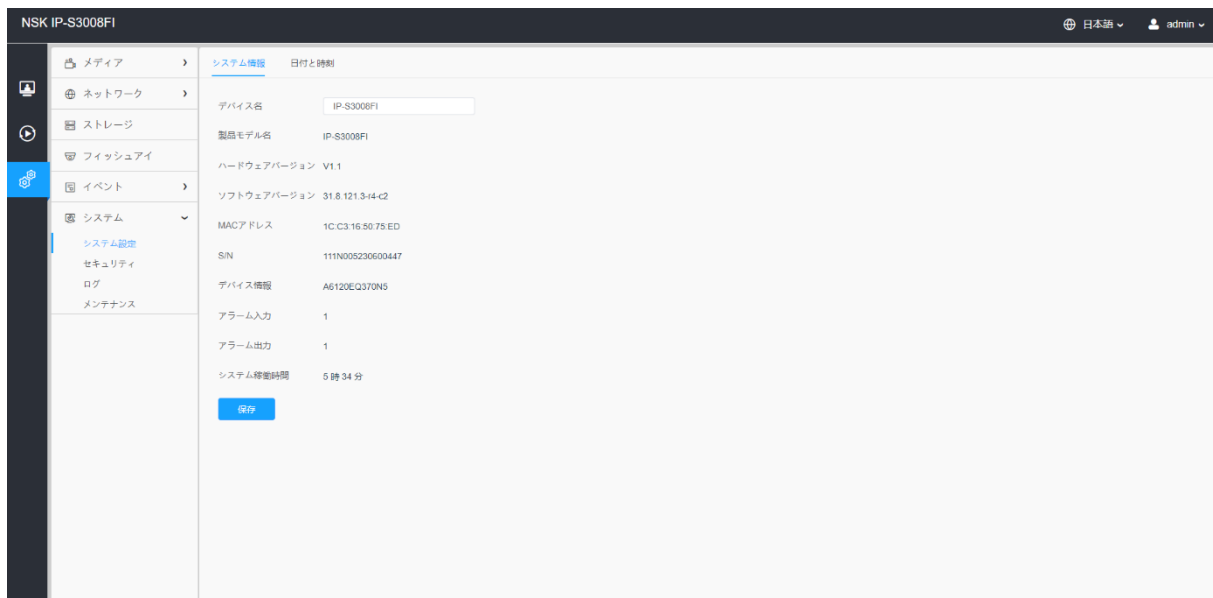


表60. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
デバイス名	デバイス名をカスタマイズすることができます。ビデオファイルのファイル名に表示されます。
製品モデル名	カメラの製品モデルです。
ハードウェアバージョン	カメラのハードウェアバージョンです。
ソフトウェアバージョン	カメラのソフトウェアのバージョンアップが可能です。
MACアドレス	Media Access Controlのアドレス。
S/N	在庫番号
デバイス情報	アラームI/Oやクリッパーチップの情報を含むデバイス情報です。

アラーム入力	アラーム入力画面の数です。 注意： アラーム入力は、カメラにアラーム入力/出力画面がある場合にのみ表示されます。
アラーム出力	アラーム出力画面の数です。 注意： アラーム出力は、カメラにアラーム入出力画面がある場合のみ表示されます。
システム稼働時間	端末の最終再起動からの経過時間

8.6.1.2 日付と時刻

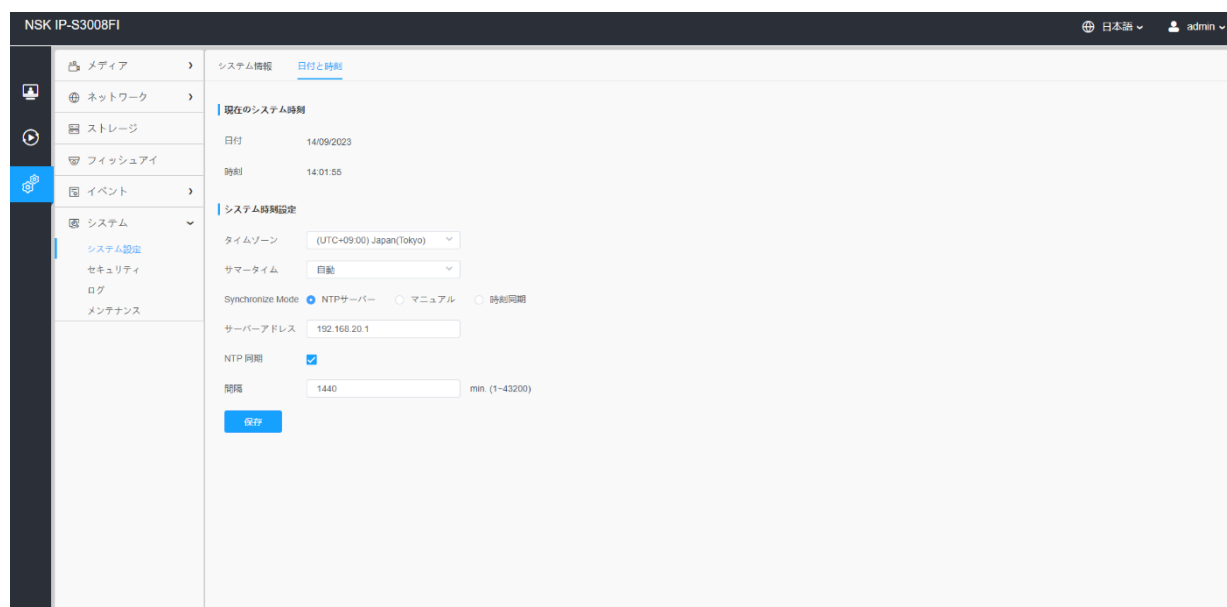


表61. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
現在のシステム時刻	システムの現在の日付と時刻。
システム時刻設定	タイムゾーン： 現在地のタイムゾーンを表示してください。
	サマータイム： サマータイムを有効にします。
	同期モード： NTPサーバー、マニュアル、コンピュータ時刻との同期を表示可能です。
	NTPサーバー： NTPサーバーのアドレスを入力します。
	NTP同期： インターバルタイムに従って、定期的に時刻を更新します。
	マニュアル： システム時刻を手動で設定します。
	時刻同期： 時間をコンピュータと同期させます。

8.6.2 セキュリティ

ここでは、ユーザー、アクセスリスト、セキュリティサービス、ウォーターマークなどを設定できます。

8.6.2.1 ユーザー

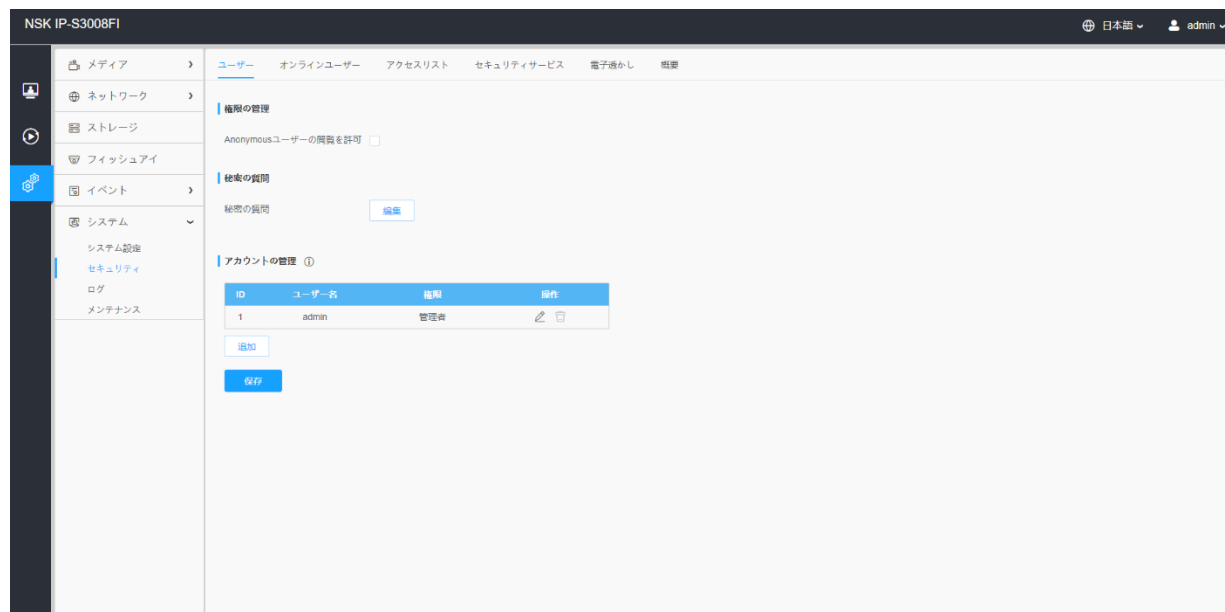
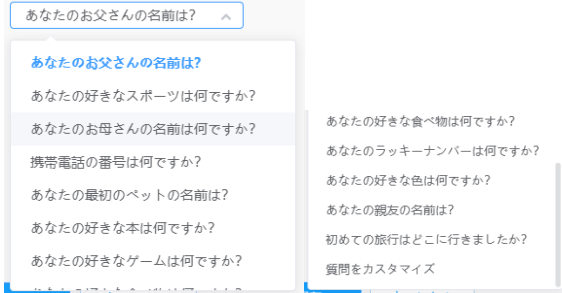



表62. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
権限の管理	<p>ユーザーの閲覧を許可：チェックボックスをオンにすると、端末のアカウントを持っていない人からの訪問を可能にします。</p>
秘密の質問	<p>「編集」ボタンをクリックすると、カメラに3つのセキュリティ質問を設定することができます。パスワードを忘れた場合は、ログイン画面で「パスワードを忘れた場合」ボタンをクリックし、3つのセキュリティ質問に正しく答えることでパスワードを再設定することができます。</p> <div data-bbox="532 1570 959 1923" data-label="Image"> </div> <p>デフォルトの質問は以下の12種類ですが、カスタマイズすることも可能です。</p>

	 <p>あなたのお父さんの名前は? ^</p> <p>あなたのお父さんの名前は?</p> <p>あなたの好きなスポーツは何ですか?</p> <p>あなたのお母さんの名前は何ですか?</p> <p>携帯電話の番号は何ですか?</p> <p>あなたの最初のペットの名前は?</p> <p>あなたの好きな本は何ですか?</p> <p>あなたの好きなゲームは何ですか?</p> <p>あなたの好きな食べ物は何ですか?</p> <p>あなたのラッキーナンバーは何ですか?</p> <p>あなたの好きな色は何ですか?</p> <p>あなたの親友の名前は?</p> <p>初めての旅行はどこに行きましたか?</p> <p>質問をカスタマイズ</p>
<p>アカウントの管理</p>	<p>追加 ボタンをクリックすると、アカウント管理画面が表示されます。管理者パスワード、ユーザーレベル、ユーザー名、新規パスワード、確認、ユーザー権限の編集を入力し、 をクリックするとカメラにアカウントを追加することができます。追加されたアカウントはアカウントリストに表示されます。</p> <p>管理者パスワード：正しい管理者パスワードを入力してから、アカウントを追加することができます。</p> <p>ユーザーレベル：アカウントの権限を設定します。</p> <p>ユーザー名：アカウントを作成するためのユーザー名を入力します。</p> <p>新しいパスワード：アカウントのパスワードを入力します。</p> <p>確認：パスワードを確認します。</p> <p>管理者アカウントの下にあるアカウントリストで、編集と削除ができます。デフォルトの管理者アカウントについては、パスワードの変更のみ可能で、削除はできません。</p> <p> 注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> デフォルトユーザーとカスタムで追加した19人のユーザーを含む、最大20人のユーザーをサポートします。 オペレーター権限は、デフォルトで全てチェックされています。

8.6.2.2 オンラインユーザー

ここでは、カメラにログインしているユーザーのリアルタイムステータスが表示されます。

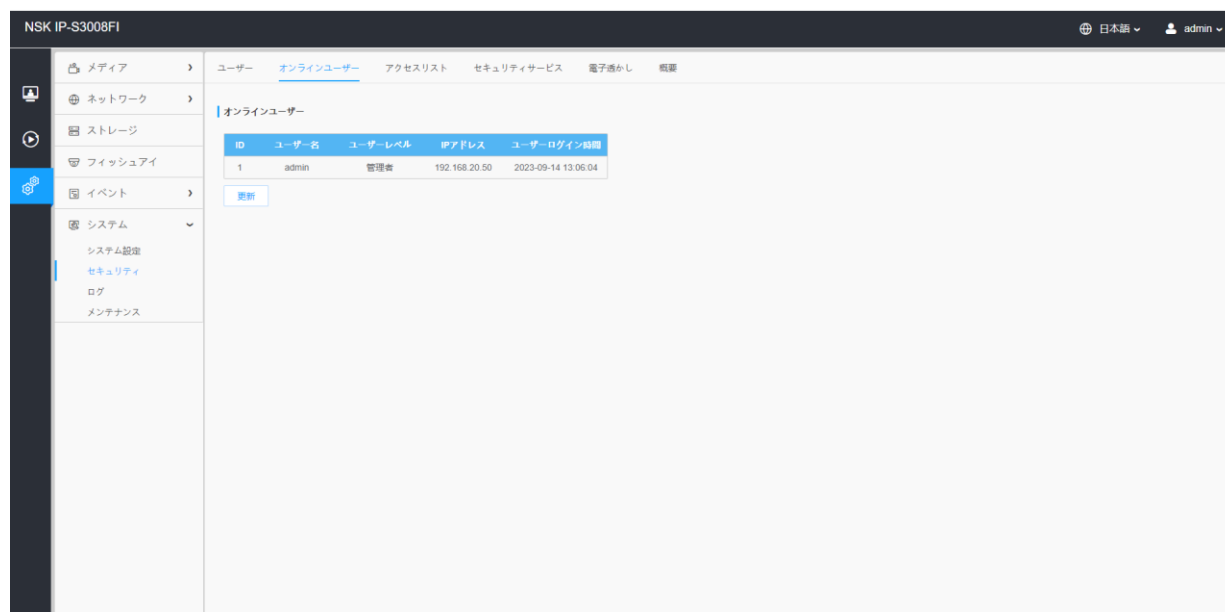


表63. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
更新	クリックすると、カメラにアクセスしているユーザーの最新ステータスが表示されます。
ID	カメラにログインしているユーザーのシリアルナンバーを録画します。 注意： <ul style="list-style-type: none"> 一覧で表示されるレコードは最大30件です。 同じユーザーが同じIPアドレスでカメラにログオンした場合、録画は1つだけです。
ユーザー名	カメラにログインしているユーザー名
ユーザーレベル	カメラにログインしているユーザーのレベル
IPアドレス	カメラにログインしているユーザーがいる端末のIPアドレス
ログイン時間	ユーザーがカメラにログインしたときのカメラシステム時刻

8.6.2.3 アクセスリスト

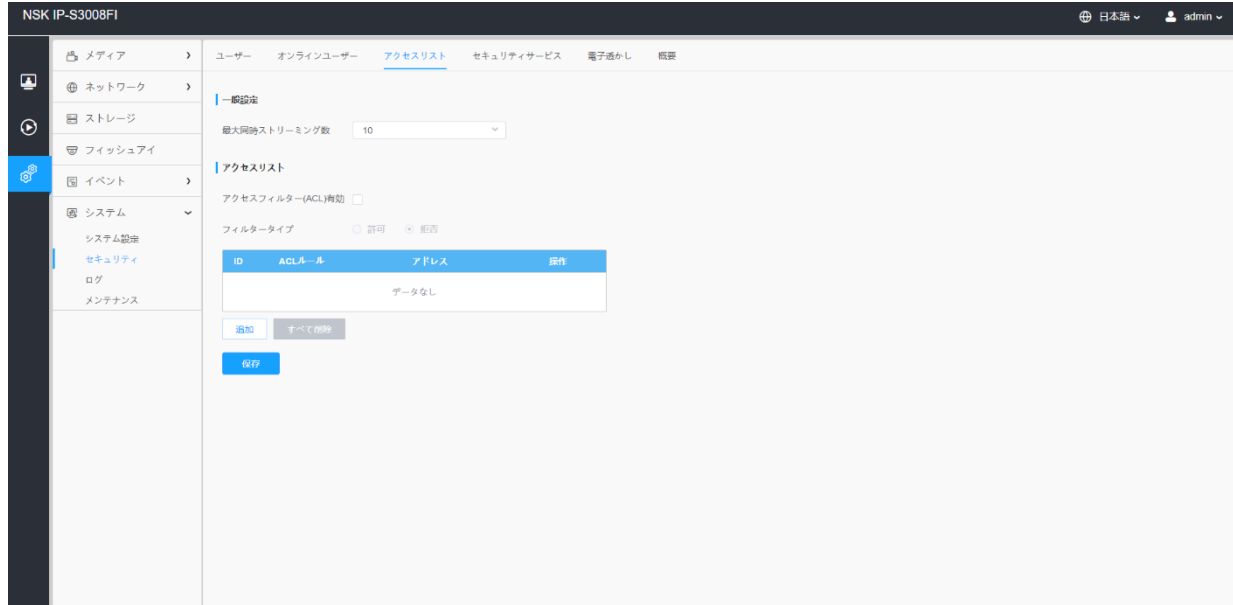




表64. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介	
一般設定	最大同時ストリーミング数：同時ストリーミングの最大数を表示します。オプションは、無制限、1～10です。	
アクセスリスト	アクセスフィルター（ACL）有効：あるIPアドレスに対してのアクセス、またはアクセス制限を可能にします。	
アクセスリスト	フィルターの種類：アクセスを許可または拒否します。	
	追加	ルールSingle、Network、Rangeを表示可能です。 IPアドレスです。機器にアクセスするためのアドレスを入力します。
	すべて削除	アクセスリストをすべて削除します。
		アクセスリストで表示したIPを編集します。
		アクセスリストで表示したIPを削除します。

8.6.2.4 セキュリティー・サービス

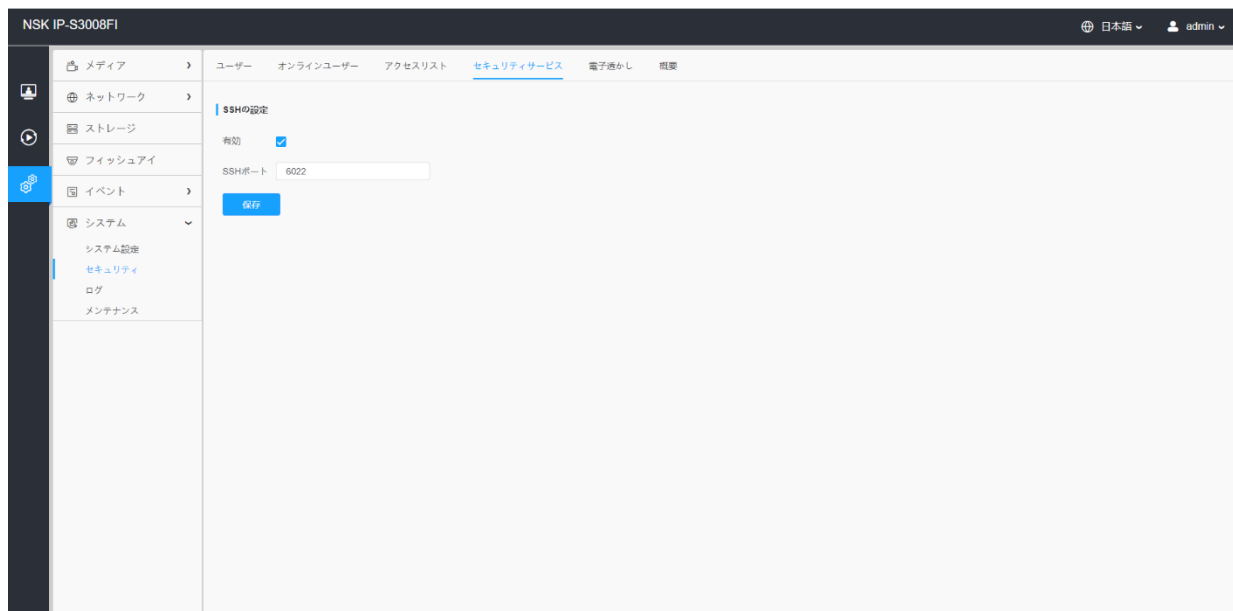
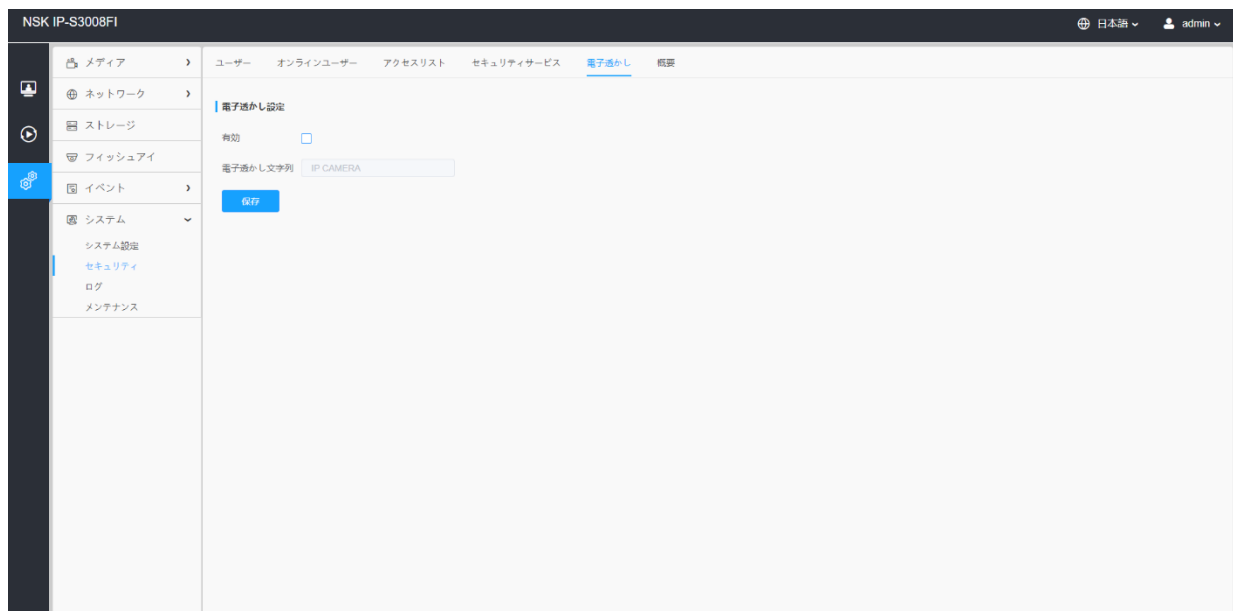


表65. ボタンの説明

パラメーター	機能紹介
SSH設定	セキュアシェル（SSH）には多くの機能があります。Telnetを置き換えることができ、FTP、POP、さらにはPPP用のセキュアチャンネルも提供します。

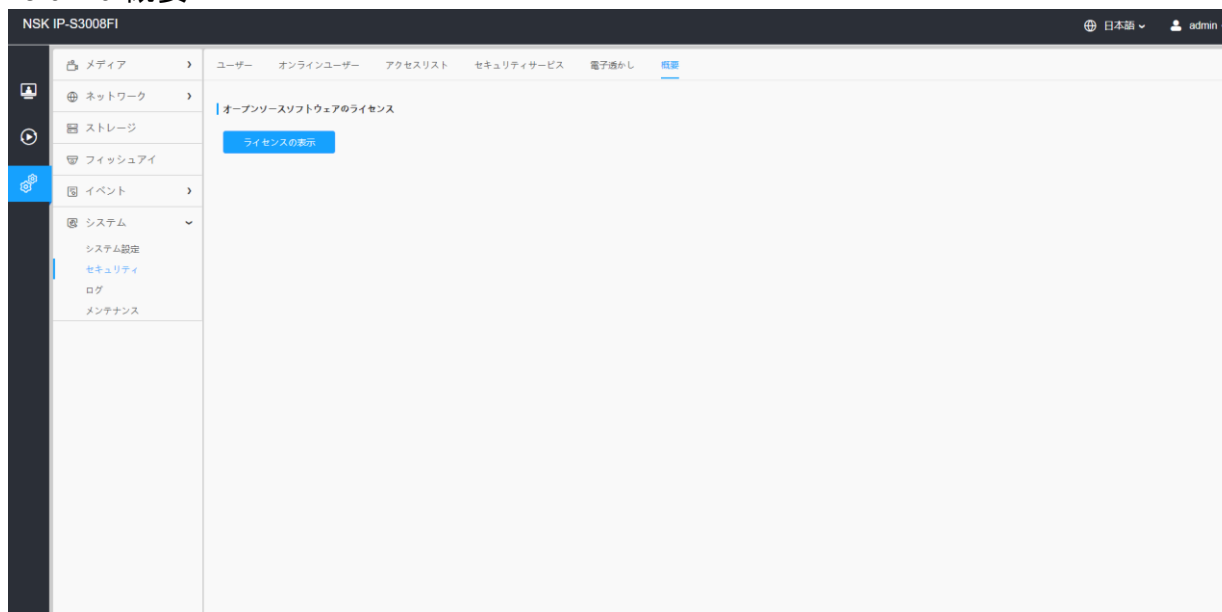
8.6.2.5 電子透かし



ウォーターマークは、情報セキュリティを保護するための効果的な方法であり、偽造防止のトレーサビリティと著作権保護を実現します。ネットワークカメラは、情報セキュ

リティを確保するためのウォーターマーク機能をサポートしています。

8.6.2.6 概要



ライセンス表示ボタンをクリックすると、カメラに関するいくつかのオープンソースソフトウェアのライセンスが表示されます。

8.6.3 ログ

ログには、Web経由でカメラにアクセスした時間やIPの情報が含まれています。

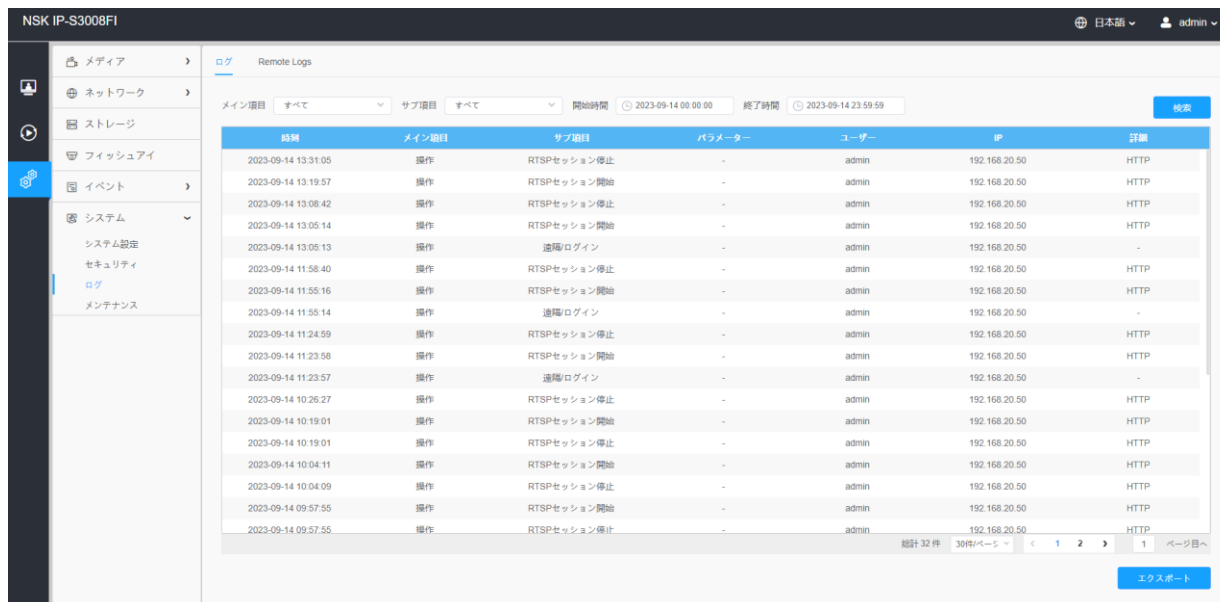


表66. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
メイン項目	ログの種類は大きく分けて5つあります。すべて、イベント、操作、情報、アラームその他、Smartの5種類です。
サブ項目	メインタイプを表示したことを前提に、サブタイプを表示してログの範囲を絞り込みます。
開始時間	タイムログが開始されます。
終了時刻	タイムログが終了します。
検索	ログを検索します。
エクスポート	ログをエクスポートします。
次のページへ	ログのページ数を入力します。

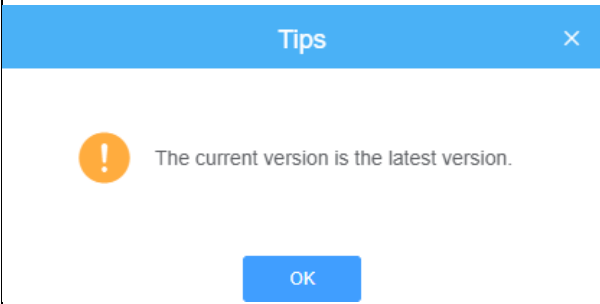
8.6.4 メンテナンス


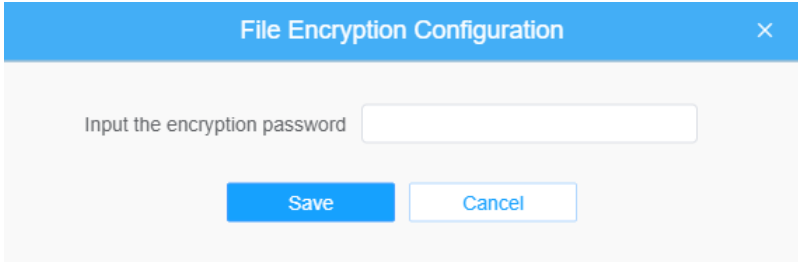
ここで、システムメンテナンスと自動再起動を設定できます。

8.6.4.1 システムメンテナンス

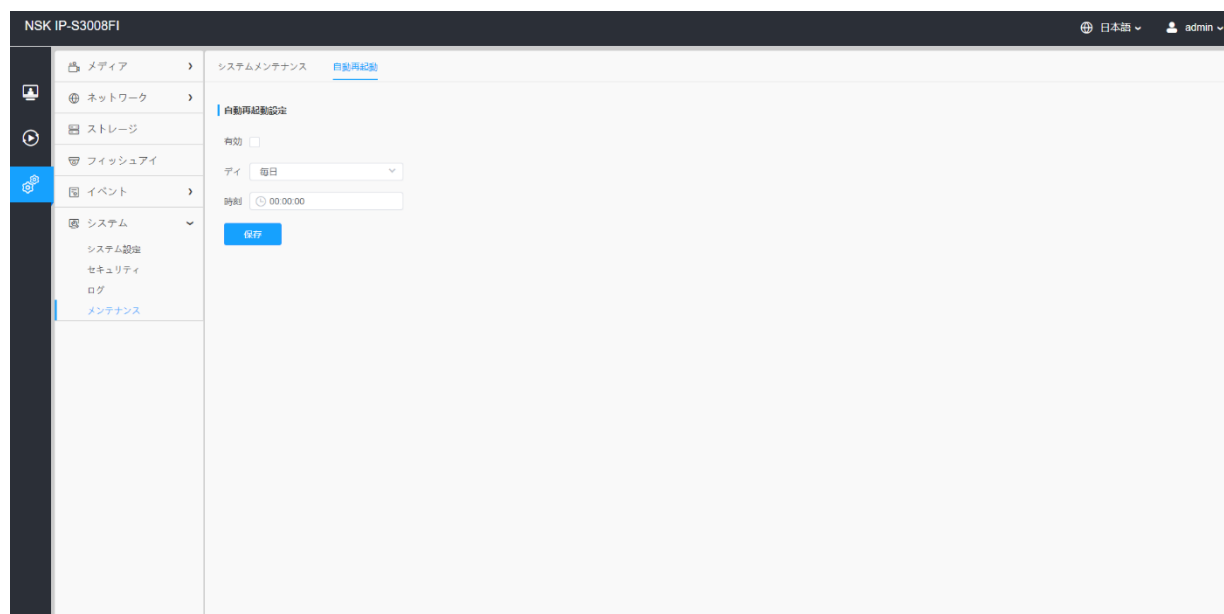
The screenshot displays the 'System Maintenance' settings for the NSK IP-S3008FI device. The interface includes a sidebar with navigation options like 'Media', 'Network', 'Storage', 'FishEye', 'Events', and 'System'. The 'System' menu is expanded to show 'System Settings', 'Security', 'Log', and 'Maintenance'. The 'Maintenance' section is selected, showing options for 'Automatic Restart' and 'Firmware Updates'. Under 'Firmware Updates', there are fields for 'Software Version' (318.121.344.c2) and 'Local Upgrade', with an 'Upgrade...' button. Below this, there are 'Reset' and 'Export' buttons, and checkboxes for 'IP address settings remain' and 'User information is preserved'. The 'Restart' section at the bottom features a 'Restart Device' button.

表67. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
ファームウェア アップデート	<p>ソフトウェアバージョン：カメラのソフトウェアのバージョンです。</p> <p>ローカルアップグレード：「参照」ボタンをボタンを、アップグレードファイルを表示し、「アップグレード」ボタンをボタンを、アップグレードします。システムが正常に再起動した後、アップデートは完了です。</p> <p>アップグレード後にリセット：チェックを入れると、アップグレード後にカメラをリセットすることができます。</p> <p>オンラインアップグレード：ボタンをクリックし、弊社Webサイトで現在の最新ファームウェアのバージョンを確認し、“OK” をクリックすると、このバージョンにアップグレードされます。</p> <p>すでに最新版である場合は、「現在のバージョンは最新版です」と表示されます。</p>  <p>注意：アップデート中は、機器の電源を切らないでください。バージョンアップを完了するために、デバイスが再起動されます。</p>
メンテナンス	<p>リセット：ボタンをクリックすると、カメラが工場出荷時の設定にリセットされます。</p> <p>IP設定は残す：このオプションをオンにすると、カメラをリセットするときにIP設定が保持されます。</p> <p>ユーザー情報を保管する：このオプションをチェックすると、カメラをリセットするときにユーザー情報が保持されます。</p> <p>エクスポート：このボタンをクリックすると、デバイスの動作状態のログとシステム情報がエクスポートされます。</p> <p>注意：ファイル形式は“.txt”です。</p> <p>設定ファイルをエクスポート：このボタンをクリックすると、下図のようなウィンドウが表示されます。</p>

	<div data-bbox="618 184 1398 510">  </div> <p data-bbox="618 548 1455 604">再度パスワードを入力・確認し、保存ボタンをクリックすると、設定ファイルがエクスポートされます。</p> <p data-bbox="618 636 1455 693">設定ファイルをインポート：このボタンをクリックすると、ウィンドウが表示され、「OK」をクリックすると設定が更新されます。</p> <p data-bbox="618 724 1455 810">「設定ファイルのパスワードを入力してください」というウィンドウが表示されますので、パスワードを入力して保存ボタンをクリックすると、設定ファイルがインポートされます。</p> <div data-bbox="618 842 1411 1102">  </div> <p data-bbox="662 1140 727 1165">注意：</p> <p data-bbox="618 1197 1455 1253">同じ設定ファイルをエクスポート、インポートする。パスワードは同じにする必要があります。</p>
再起動	<p data-bbox="667 1293 1328 1318">「再起動」ボタンをクリックすると、すぐに端末が再起動します。</p>

8.6.4.2 自動再起動



自動再起動機能を有効にするには、日付と時刻を設定します。カメラは、長時間実行した後、カメラがオーバーロードした場合に、カスタマイズされた時間に従って自動的に再起動します。